

河川ポンプ設備 点検・整備チェックシート（案）について

○ 管理運転点検

効率的な維持管理の実現には、管理運転を実施し、その中で点検していくことが、効率的である。

点検項目については、運転前・中・後に見るべき項目を、管理運転の作業フローとして図－1に示す。

なお、管理運転前、中、後に点検する項目を整理すると下記の通りとなる。

（1）管理運転前に見るべき項目

管理運転前に見るべき項目は、運転準備として運転操作及び始動に際しての異常、障害の有無を確認するが、管理運転中に連動して運転する機器は、管理運転中に運転確認ができるため省略し、始動インターロック等のような項目について、最低減確認する。

（2）管理運転中に見るべき項目

管理運転中に見るべき項目は、運転中に状態が変化する項目を重点的に確認する。

（3）管理運転後に見るべき項目

管理運転後に見るべき項目は、各機器の異常有無の確認等、次回の運転に支障をきたす恐れが無いかを確認する。

本点検チェックシートは、管理運転中に実施する項目を黄色く網掛けする。

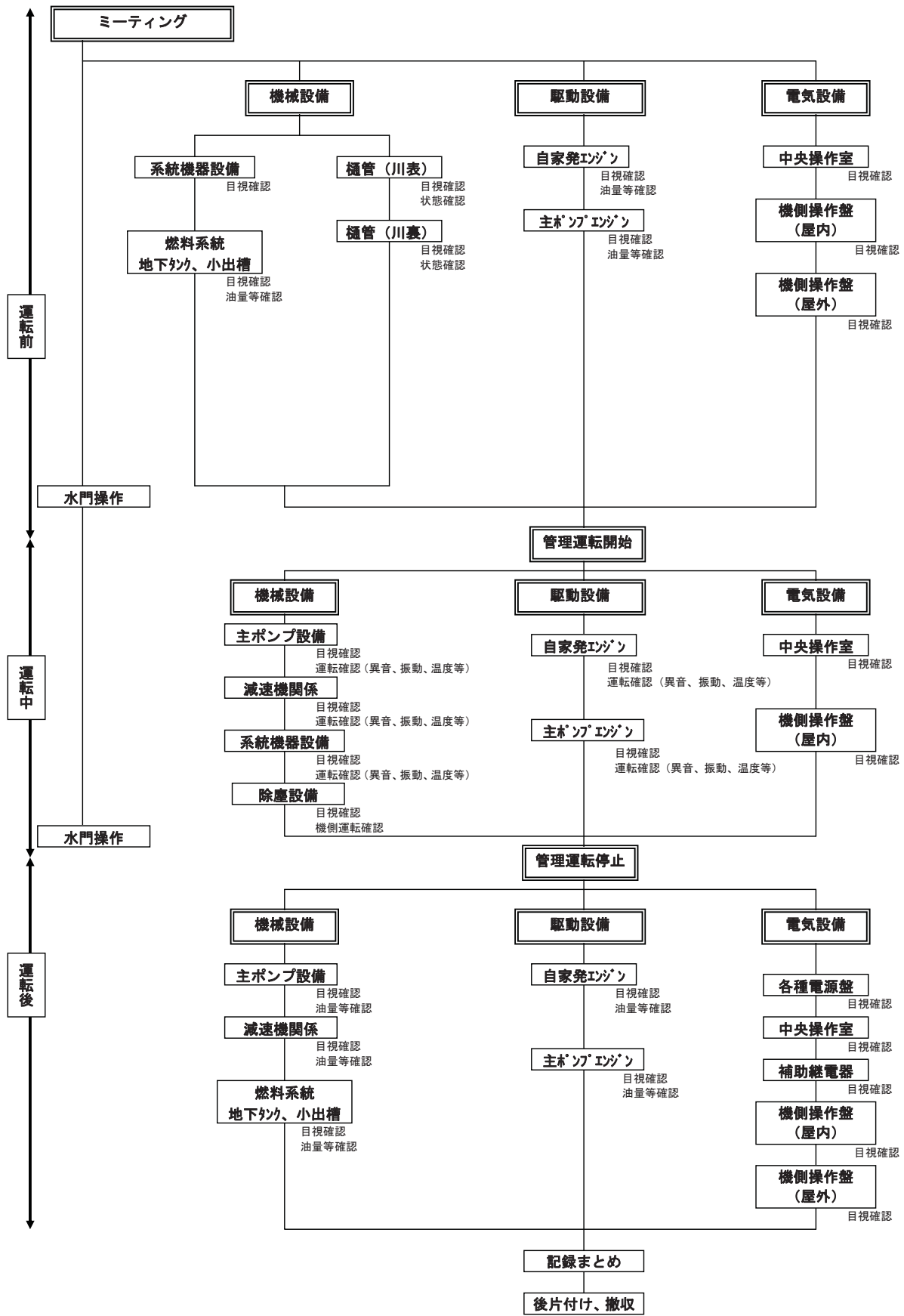


図-1 管理運転の作業フロー

点検・整備チェックシート(案)

設備区分:レベル I

稼動形態:待機系設備

点検・整備チェックシート 監視操作制御設備(1/15) <待機系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

監視操作制御設備(1)
 (遠隔・機場集中監視操作盤)

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認		S	聴覚			

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置 区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備										
	点検部位	施設機器 コード	点検内容	定 期 点 検						運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要
				月 点 検		年 点 検							
				目視点検	管理 運転点検								
遠隔・機場集中監視操作盤 (グラフィック型)	全般		動作確認 * 1	-	D	-		D	-	-	-		
			損傷の有無 * 1	-	E	-		E	-	-	-		
	盤面		発錆、汚損	-	-	E		-	E		E		
			扉の開閉、施錠	-	-	H		-	H		H		
	盤内		汚損、異物	E	E	E		-	E		E		
			絶縁抵抗 * 2	-	-	M		-	-		M	(自)	
			接地抵抗	-	-	M		-	-		M		
			シーケンスチェック	-	E	D		-	-		D		
	盤内器具		取付状態	-	-	E		E	E		E		
			配線状態	-	-	E		E	E		E	(自)	
			端子・端子台の状態	-	-	E		-	E		E		
			端子符号の脱落	-	-	E		-	-		E	(自)	
	操作スイッチ		動作確認	-	H	(H)		H	-		H	(自)	
			取付状態、汚損	E	E	E		-	-		E		
	指示計		動作確認(零点及び指示)	-	E	A (2年毎)		E	-		A	(自)	
			取付状態、汚損	-	-	E		-	-		E		
	表示器・表示灯		点灯状態	E	E	(E)		E	E		E	(自)	
			取付状態、汚損	-	-	E		-	-		E		
	運転時間計		指示状態	-	E	E		E	-		E	(自)	
			取付状態	-	-	E		-	-		E		
	電力量計		指示状態	-	E	(E)		E	-		E	(自)	
			取付状態	-	-	E		-	-		E		
	設定器		設定値の確認	-	-	E		-	-		E		
			取付状態	-	-	E		-	-		E		
	グラフィックパネル		表示灯点灯の確認	-	E	(E)		E	E		E		
			表示器表示の確認	-	E	(E)		E	E		E		
	タイマ		動作確認	-	-	M		-	-		M		
			設定値の確認	-	-	E		-	-		E		
PLC		電源電圧の確認	-	-	M		-	-		M			
		入力信号の確認	-	-	D		-	-		D	シーケンスチェックによる		
		出力信号の確認	-	-	D		-	-		D	シーケンスチェックによる		
		内蔵電池	-	-	-		-	-		×			

特記事項

* 1 致命的機器に該当する場合は実施すること。その内容は網掛け部に示すものである。
 管理運転では、操作することで正常に動作することを確認する。また、管理運転前後には取付状態や汚損などの確認を実施する。

* 2 弱電機器には、絶縁抵抗測定禁止箇所があるので事前に確認すること。

点検・整備チェックシート 監視操作制御設備(2/15) <待機系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

監視操作制御設備(2)
 (遠隔・機場集中監視操作盤)

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置 区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備									
	点検部位	施設機器 コード	点検内容	定 期 点 検			運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要		
				月 点 検	年 点 検	年 点 検						
				目視点検	管理 運転点検	目視点検						
遠 隔 ・ 機 場 集 中 監 視 操 作 盤 (C R T 型)	全般		動作確認 *1	-	D	-	D	-	-	-		
			損傷の有無 *1	-	E	-	E	-	-	-		
	盤面		発錆、汚損	-	-	E	-	E	E			
			扉の開閉、施錠	-	-	H	-	H	H			
	盤内		汚損、異物	E	E	E	-	E	E			
			絶縁抵抗 *2	-	-	M	-	-	M	(自)		
			接地抵抗	-	-	M	-	-	M			
			シーケンスチェック	-	E	D	-	-	D			
	盤内器具		取付状態	-	-	E	E	E	E			
			配線状態	-	-	E	E	E	E	(自)		
			端子・端子台の状態	-	-	E	-	E	E			
			端子符号の脱落	-	-	E	-	-	E	(自)		
	操作スイッチ		動作確認	-	H	(H)	H	-	H	(自)		
			取付状態、汚損	E	E	E	-	-	E			
	指示計		動作確認(零点及び指示)	-	E	A (2年毎)	E	-	A	(自)		
			取付状態、汚損	-	-	E	-	-	E			
	表示器・表示灯		点灯状態	E	E	(E)	E	E	E	(自)		
			取付状態、汚損	-	-	E	-	-	E			
	運転時間計		指示状態	-	E	(E)	E	-	E	(自)		
			取付状態	-	-	E	-	-	E			
	CRTディスプレイ (タッチパネル含む)		表示状態の確認	-	E	E	-	-	E			
			輝度状態の確認	-	-	A	-	-	A			
			電源ケーブル接続状態	-	-	E	-	-	E			
			表示信号ケーブル接続状態	-	-	E	-	-	E			
			電源電圧測定の確認	-	-	M	-	-	M			
			表示面の清掃	-	-	C	-	-	C			
	キーボード		キー入力の確認	-	E	E	-	-	D			
			信号ケーブル接続状態	-	-	E	-	-	E			
			キーボード本体の清掃	-	-	C	-	-	C			
	マウス		動作確認	-	D	D	-	-	D			
		信号ケーブル接続状態	-	-	E	-	-	E				
		マウス本体の清掃	-	-	C	-	-	C				
プリンタ		動作確認	-	-	D	-	-	D				
		印字状態の確認	-	D	D	-	-	D	テスト印字			
		電源電圧の確認	-	-	M	-	-	M				
		電源ケーブル接続状態	-	-	E	-	-	E				
		信号ケーブル接続状態	-	-	E	-	-	E				
中央演算処理装置		電源電圧の確認	-	-	M	-	-	M				
		電源ランプの点灯確認	-	E	E	-	-	E				
		ハードディスクの動作確認	-	D	D	-	-	D				
		FD動作確認	-	-	D	-	-	D				
		CD動作確認	-	-	D	-	-	D				
		MO動作確認	-	-	D	-	-	D				
		ファン動作確認	-	D	D	-	-	D				
		換気用フィルタ	-	E	C	-	-	X				
		電源ケーブル接続状態	-	-	E	-	-	E				
		その他ケーブル接続状態	-	-	E	-	-	E				

特記事項

*1 致命的機器に該当する場合は実施すること。その内容は網掛け部に示すものである。
 管理運転では、操作することで正常に動作することを確認する。また、管理運転前後には取付状態や汚損などの確認を実施する。

*2 弱電機器には、絶縁抵抗測定禁止箇所があるので事前に確認すること。

点検・整備チェックシート 監視操作制御設備(3/15) <待機系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

監視操作制御設備(3)
 (遠隔・機場集中監視盤)

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置 区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備									
	点検部位	施設機器 コード	点検内容	定 期 点 検			運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要		
				月点検	年点検	目視点検						
遠 隔 ・ 機 場 集 中 監 視 盤 (グ ラ フ ィ ッ ク パ ネ ル ・ タ イ マ ・ P L C ・ 変 換 器)	全般		動作確認 * 1	-	D	-	D	-	-	-		
			損傷の有無 * 1	-	E	-	E	-	-	-		
	盤面		発錆、汚損	-	-	E	-	E	E			
			扉の開閉、施錠	-	-	H	-	H	H			
	盤内		汚損、異物	E	E	E	-	E	E			
			絶縁抵抗 * 2	-	-	M	-	-	M	(自)		
			接地抵抗	-	-	M	-	-	M			
			シーケンスチェック	-	E	D	-	-	D			
	盤内器具		取付状態	-	-	E	E	E	E			
			配線状態	-	-	E	E	E	E	(自)		
			端子・端子台の状態	-	-	E	-	E	E			
			端子符号の脱落	-	-	E	-	-	E	(自)		
	指示計		動作確認(零点及び指示)	-	E	A (2年毎)	E	-	A	(自)		
			取付状態、汚損	-	-	E	-	-	E			
	表示器・表示灯		点灯状態	E	E	(E)	E	E	E	(自)		
			取付状態、汚損	-	-	E	-	-	E			
	記録計		記録動作状態	-	-	M	-	-	M			
			取付状態	-	-	E	-	-	E			
	グラフィックパネル		表示灯点灯の確認	-	E	(E)	E	E	E			
			表示器表示の確認	-	E	(E)	E	E	E			
	タイマ		動作確認	-	-	M	-	-	M			
			設定値の確認	-	-	E	-	-	E			
	PLC		電源電圧の確認	-	-	M	-	-	M			
			入力信号の確認	-	-	D	-	-	D	シーケンスチェックによる		
		出力信号の確認	-	-	D	-	-	D	シーケンスチェックによる			
		内蔵電池	-	-	-	-	-	X				
変換器		電源電圧の確認	-	-	M	-	-	M				
		入力信号の確認	-	-	M	-	-	M				
		出力信号の確認	-	-	M	-	-	M				

特記事項

* 1 致命的機器に該当する場合は実施すること。その内容は網掛け部に示すものである。
 管理運転では、操作することで正常に動作することを確認する。また、管理運転前後には取付状態や汚損などの確認を実施する。

* 2 弱電機器には、絶縁抵抗測定禁止箇所があるので事前に確認すること。

点検・整備チェックシート 監視操作制御設備(4/15) <待機系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

監視操作制御設備(4)
 (機側操作盤)

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置 区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備									
	点検部位	施設機器 コード	点検内容	定 期 点 検			運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要		
				月点検	年点検	目視点検						
機 側 操 作 盤	全般		動作確認 * 1	-	D	-	D	-	-	-		
			損傷の有無 * 1	-	E	-	E	-	-	-		
	盤面		発錆、汚損	-	-	E	-	E	E			
			扉の開閉、施錠	-	-	H	-	H	H			
	盤内		汚損、異物	E	E	E	-	E	E			
			絶縁抵抗 * 2	-	-	M	-	-	M	(自)		
			接地抵抗	-	-	M	-	-	M			
			シーケンスチェック	-	E	D	-	-	D			
	盤内器具		取付状態	-	-	E	E	E	E			
			配線状態	-	-	E	E	E	E	(自)		
			端子・端子台の状態	-	-	E	-	E	E			
			端子符号の脱落	-	-	E	-	-	E	(自)		
	操作スイッチ		動作確認	-	H	(H)	H	-	H	(自)		
			取付状態、汚損	E	E	E	-	-	E			
	指示計		動作確認(零点及び指示)	-	E	A (2年毎)	E	-	A	(自)		
			取付状態、汚損	-	-	E	-	-	E			
	表示器・表示灯		点灯状態	E	E	(E)	E	E	E	(自)		
			取付状態、汚損	-	-	E	-	-	E			
	運転時間計		指示状態	-	E	(E)	E	-	E	(自)		
			取付状態	-	-	E	-	-	E			
タイマ		動作確認	-	-	M	-	-	M				
		設定値の確認	-	-	E	-	-	E				
変換器		電源電圧の確認	-	-	M	-	-	M				
		入力信号の確認	-	-	M	-	-	M				
		出力信号の確認	-	-	M	-	-	M				

特記事項

- * 1 全般で点検する事項は網掛け部に示すものである。管理運転では、操作することで正常に動作することを確認する。また、管理運転前後には取付状態や汚損などの確認を実施する。
- * 2 弱電機器には、絶縁抵抗測定禁止箇所があるので事前に確認すること。

点検・整備チェックシート 監視操作制御設備(5/15) <待機系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

監視操作制御設備(5)
 (補助継電器盤)

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、早急に対応すべき状態

装置区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備									
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定期点検			運転時点検	臨時点検	定期整備	摘要		
				月点検	年点検	目視点検						
補助 継電器 盤 (リレー型)	全般		動作確認 *1	-	D	-	D	-	-	-		
			損傷の有無 *1	-	E	-	E	-	-	-		
	盤面		発錆、汚損	-	-	E	-	E	E			
			扉の開閉、施錠	-	-	H	-	H	H			
	盤内		汚損、異物	E	E	E	-	E	E			
			絶縁抵抗 *2	-	-	M	-	-	M	(自)		
			接地抵抗	-	-	M	-	-	M			
			シーケンスチェック	-	E	D	-	-	D			
	盤内器具		取付状態	-	-	E	E	E	E			
			配線状態	-	-	E	E	E	E	(自)		
			端子・端子台の状態	-	-	E	-	E	E			
			端子符号の脱落	-	-	E	-	-	E	(自)		
	操作スイッチ		動作確認	-	H	(H)	H	-	H	(自)		
			取付状態、汚損	E	E	E	-	-	E			
	指示計		動作確認(零点及び指示)	-	E	A (2年毎)	E	-	A	(自)		
			取付状態、汚損	-	-	E	-	-	E			
	表示器・表示灯		点灯状態	E	E	(E)	E	E	E	(自)		
			取付状態、汚損	-	-	E	-	-	E			
	運転時間計		指示状態	-	E	(E)	E	-	E	(自)		
			取付状態	-	-	E	-	-	E			
タイマ		動作確認	-	-	M	-	-	M				
		設定値の確認	-	-	E	-	-	E				
補助継電器		取付状態、汚損、変色	-	-	E	-	-	E				
		動作状態	-	-	D	-	-	D	シーケンスチェックによる			
補助 継電器 盤 (PLC型)	全般		動作確認 *1	-	D	-	D	-	-			
			損傷の有無 *1	-	E	-	E	-	-	-		
	盤面		発錆、汚損	-	-	E	-	E	E			
			扉の開閉、施錠	-	-	H	-	H	H			
	盤内		汚損、異物	E	E	E	-	E	E			
			絶縁抵抗 *2	-	-	M	-	-	M	(自)		
			接地抵抗	-	-	M	-	-	M			
			シーケンスチェック	-	E	D	-	-	D			
	盤内器具		取付状態	-	-	E	E	E	E			
			配線状態	-	-	E	E	E	E	(自)		
			端子・端子台の状態	-	-	E	-	E	E			
			端子符号の脱落	-	-	E	-	-	E	(自)		
	操作スイッチ		動作確認	-	H	(H)	H	-	H	(自)		
			取付状態、汚損	E	E	E	-	-	E			
	指示計		動作確認(零点及び指示)	E	E	A (2年毎)	E	-	A	(自)		
			取付状態、汚損	-	-	E	-	-	E			
	表示器・表示灯		点灯状態	E	E	(E)	E	E	E	(自)		
			取付状態、汚損	-	-	E	-	-	E			
	運転時間計		指示状態	-	E	(E)	E	-	E	(自)		
			取付状態	-	-	E	-	-	E			
PLC		電源電圧の確認	-	-	M	-	-	M				
		入力信号の確認	-	-	D	-	-	D	シーケンスチェックによる			
		出力信号の確認	-	-	D	-	-	D	シーケンスチェックによる			
		内蔵電池	-	-	-	-	-	x				

特記事項

- *1 全般で点検する事項は網掛け部に示すものである。管理運転では、操作することで正常に動作することを確認する。また、管理運転前後には取付状態や汚損などの確認を実施する。
- *2 弱電機器には、絶縁抵抗測定禁止箇所があるので事前に確認すること。

点検・整備チェックシート 監視操作制御設備(6/15) <待機系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

監視操作制御設備(6)
 (高圧電動機制御盤)

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備										
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定 期 点 検			運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要			
				月点検	年点検	目視点検							
高 圧 電 機 制 御 盤	全般		動作確認 * 1	-	D	-	D	-	-	-			
			損傷の有無 * 1	-	E	-	E	-	-	-			
	盤面		発錆、汚損	-	-	E	-	E	E				
			扉の開閉、施錠	-	-	H	-	H	H				
	盤内		汚損、異物	E	E	E	-	E	E				
			絶縁抵抗 * 2	-	-	M	-	-	M	(自)			
			接地抵抗	-	-	M	-	-	M				
			シーケンスチェック	-	E	D	-	-	D				
			保護継電器の動作	-	-	D (2年毎)	-	-	D	(自)			
	盤内器具		取付状態	-	-	E	E	E	E				
			配線状態	-	-	E	E	E	E	(自)			
			端子・端子台の状態	-	-	E	-	E	E				
			端子符号の脱落	-	-	E	-	-	E	(自)			
	操作スイッチ		動作確認	-	H	(H)	H	-	H	(自)			
			取付状態、汚損	E	E	E	-	-	E				
	指示計		動作確認(零点及び指示)	-	E	A (2年毎)	E	-	A	(自)			
			取付状態、汚損	-	-	E	-	-	E				
	表示器・表示灯		点灯状態	E	E	(E)	E	E	E	(自)			
			取付状態、汚損	-	-	E	-	-	E				
	運転時間計		指示状態	-	E	(E)	E	-	E	(自)			
			取付状態	-	-	E	-	-	E				
	タイマ		動作確認	-	-	M	-	-	M				
			設定値の確認	-	-	E	-	-	E				
	動 機 制 御 盤	コンピネーションスタータ		高圧ヒューズの汚損、ひび割れ	-	-	E	-	E	E	(自)		
				ヒューズホルダの汚損、変形、ひび割れ	-	-	E	-	E	E	(自)		
				電磁接触器の変形、変色	-	-	E	-	E	E			
				接続部	-	-	T	-	E	T			
				操作機構	-	-	D	-	D	D	(自)		
機器外箱の接地				-	-	E	-	E	E	(自)			
接触子の接触面状態				-	-	E	-	-	E	(自)真空式はギャップ測定			
遮断動作速度				-	-	-	-	-	M	(自)			
開極・投入時の参照動作				-	-	-	-	-	M	(自)			
電流及び電圧				-	-	-	-	-	-	-			
真空度				-	-	-	-	-	M	(自)真空式の場合			
絶縁抵抗				-	-	M	-	-	M	(自)			
接地抵抗				-	-	M	-	-	M	(自)			
計器用変成器						汚損、腐食、過熱	-	E	E	-	E	E	(自)
	音響	-	S			S	-	-	S	(自)			
	ヒューズの異常	-	E			E	-	E	E	(自)			
	接続部	-	-			T	-	E	T				
	接地線の接続状態	-	-			E	-	E	E	(自)			
	絶縁抵抗	-	-			M	-	-	M	(自)			
	接地抵抗	-	-			M	-	-	M	(自)			
	進相用コンデンサ					汚損、油漏れ、振動、過熱、変形	-	E	E	-	E	E	(自)
						音響	-	S	S	-	-	S	(自)
						機器外箱の接地	-	-	E	-	E	E	(自)
接続部				-	-	T	-	E	T				
			tan δ 容量の測定	-	-	-	-	-	M				
			絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)			
特記事項													
* 1 全般で点検する事項は網掛け部に示すものである。管理運転では、操作することで正常に動作することを確認する。また、管理運転前後には取付状態や汚損などの確認を実施する。													
* 2 弱電機器には、絶縁抵抗測定禁止箇所があるので事前に確認すること。													

点検・整備チェックシート 監視操作制御設備(7/15) <待機系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

監視操作制御設備(7)
 (低圧電動機制御盤)

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置 区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備									
	点検部位	施設機器 コード	点検内容	定 期 点 検			運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要		
				月点検	年点検	目視点検						
低 圧 電 機 制 御 盤	全般		動作確認 *1	-	D	-	D	-	-	-		
			損傷の有無 *1	-	E	-	E	-	-	-		
	盤面		発錆、汚損	-	-	E	-	E	E			
			扉の開閉、施錠	-	-	H	-	H	H			
	盤内		汚損、異物	E	E	E	-	E	E			
			絶縁抵抗 *2	-	-	M	-	-	M	(自)		
			接地抵抗	-	-	M	-	-	M			
			シーケンスチェック	-	E	D	-	-	D			
			保護継電器の動作	-	-	D (2年毎)	-	-	D	(自)		
	盤内器具		取付状態	-	-	E	E	E	E		(自)	
			配線状態	-	-	E	E	E	E		(自)	
			端子・端子台の状態	-	-	E	-	E	E		(自)	
			端子符号の脱落	-	-	E	-	-	E		(自)	
	操作スイッチ		動作確認	-	H	(H)	H	-	H	(自)		
			取付状態、汚損	E	E	E	-	-	E			
	指示計		動作確認(零点及び指示)	-	E	A (2年毎)	E	-	A	(自)		
			取付状態、汚損	-	-	E	-	-	E			
	表示器・表示灯		点灯状態	-	E	(E)	E	E	E	(自)		
			取付状態、汚損	-	-	E	-	-	E			
	運転時間計		指示状態	E	E	(E)	E	-	E	(自)		
			取付状態	-	-	E	-	-	E			
	タイマ		動作確認	-	-	M	-	-	M			
			設定値の確認	-	-	E	-	-	E			
	配線用遮断器		取付状態、汚損	-	E	E	-	E	E			
			変色	-	E	E	-	E	E			
			開閉動作	-	-	D	-	-	D	(自)		
			接続部	-	-	T	-	E	T			
電磁接触器		取付状態、汚損	-	E	E	-	E	E				
		変色	-	E	E	-	E	E				
		音響	-	S	(S)	-	-	S				
		動作状態	-	D	D	-	-	D	(自)			
		接触面の状態	-	-	E	-	-	E	(自)			
		接続部	-	-	T	-	E	T				
配線用漏電遮断器		取付状態、汚損	-	E	E	-	E	E				
		変色	-	E	E	-	E	E				
		開閉動作	-	-	D	-	-	D	(自)テスト釦による動作			
		接続部	-	-	T	-	E	T				
計器用変成器		汚損、腐食、過熱	-	E	E	-	E	E	(自)			
		音響	-	S	S	-	-	S	(自)			
		ヒューズの異常	-	E	E	-	E	E	(自)			
		接続部	-	-	T	-	E	T				
		接地線の接続状態	-	-	E	-	E	E	(自)			
		絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)			
		接地抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)			
		進相用コンデンサ	汚損、油漏れ、振動、過熱、変形	-	E	E	-	E	E	(自)		
進相用コンデンサ		音響	-	S	S	-	-	S	(自)			
		機器外箱の接地	-	-	E	-	E	E	(自)			
		接続部	-	-	T	-	E	T				
		絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)			

特記事項
 *1 全般で点検する事項は網掛け部に示すものである。管理運転では、操作することで正常に動作することを確認する。また、管理運転前後には取付状態や汚損などの確認を実施する。
 *2 弱電機器には、絶縁抵抗測定禁止箇所があるので事前に確認すること。

点検・整備チェックシート 監視操作制御設備(8/15) <待機系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

監視操作制御設備(8)
 (系統機器盤)

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備								
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定 期 点 検			運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要	
				月点検	年点検	目視点検					
系 統 機 器 盤 (リレー型・PLC型)	全般		動作確認 *1	-	D	-	D	-	-	-	
			損傷の有無 *1	-	E	-	E	-	-	-	
	盤面		発錆、汚損	-	-	E	-	E	E		
			扉の開閉、施錠	-	-	H	-	H	H		
	盤内		汚損、異物	E	E	E	-	E	E		
			絶縁抵抗 *2	-	-	M	-	-	M	(自)	
			接地抵抗	-	-	M	-	-	M		
			シーケンスチェック	-	E	D	-	-	D		
	盤内器具		保護継電器の動作	-	-	D (2年毎)	-	-	D	(自)	
			取付状態	-	-	E	E	E	E		
			配線状態	-	-	E	E	E	E	(自)	
			端子・端子台の状態	-	-	E	-	E	E	(自)	
	操作スイッチ		端子符号の脱落	-	-	E	-	-	E	(自)	
			動作確認	-	H	(H)	H	-	H	(自)	
			取付状態、汚損	E	E	E	-	-	E		
	指示計		動作確認(零点及び指示)	-	E	A (2年毎)	E	-	A	(自)	
			取付状態、汚損	-	-	E	-	-	E		
	表示器・表示灯		点灯状態	E	E	(E)	E	E	E	(自)	
			取付状態、汚損	-	-	E	-	-	E		
	運転時間計		指示状態	-	E	(E)	E	-	E	(自)	
			取付状態	-	-	E	-	-	E		
	タイマ		動作確認	-	-	M	-	-	M		
			設定値の確認	-	-	E	-	-	E		
	配線用遮断器		取付状態、汚損	-	E	E	-	E	E		
			変色	-	E	E	-	E	E		
			開閉動作	-	-	D	-	-	D	(自)	
			接続部	-	-	T	-	E	T		
	電磁接触器		取付状態、汚損	-	E	E	-	E	E		
			変色	-	E	E	-	E	E		
			音響	-	S	(S)	-	-	S		
動作状態			-	D	D	-	-	D	(自)		
接触面の状態			-	-	E	-	-	E	(自)		
配線用漏電遮断器		接続部	-	-	T	-	E	T			
		取付状態、汚損	-	E	E	-	E	E			
		変色	-	E	E	-	E	E			
		開閉動作	-	-	D	-	-	D	(自)テスト釦による動作		
計器用変成器		接続部	-	-	T	-	E	T			
		汚損、腐食、過熱	-	E	E	-	E	E	(自)		
		音響	-	S	S	-	-	S	(自)		
		ヒューズの異常	-	E	E	-	E	E	(自)		
		接続部	-	-	T	-	E	T			
		接地線の接続状態	-	-	E	-	E	E	(自)		
		絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)		
		接地抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)		
		絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)		
進相用コンデンサ		汚損、油漏れ、振動、過熱、変形	-	E	E	-	E	E	(自)		
		音響	-	S	S	-	-	S	(自)		
		機器外箱の接地	-	-	E	-	E	E	(自)		
		接続部	-	-	T	-	E	T			
補助継電器		絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)		
		取付状態、汚損、変色	-	-	E	-	-	E			
PLC		動作状態	-	-	D	-	-	D	シーケンスチェックによる		
		電源電圧の確認	-	-	M	-	-	M			
		入力信号の確認	-	-	D	-	-	D	シーケンスチェックによる		
		出力信号の確認	-	-	D	-	-	D	シーケンスチェックによる		
特記事項		内蔵電池	-	-	-	-	-	×			
		*1 全般で点検する事項は網掛け部に示すものである。管理運転では、操作することで正常に動作することを確認する。また、管理運転前後には取付状態や汚損などの確認を実施する。									
*2 弱電機器には、絶縁抵抗測定禁止箇所があるので事前に確認すること。											

点検・整備チェックシート 監視操作制御設備(10/15) <待機系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

監視操作制御設備(10)
 (運転支援システム)

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認	S	聴覚				

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備									
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定期点検			運転時点検	臨時点検	定期整備	摘要		
				月点検	年点検	目視点検						
運 転 支 援 シ ス テ ム	全般		動作確認 *1	-	D	-	D	-	-	-		
			損傷の有無 *1	-	E	-	E	-	-	-		
	盤面		発錆、汚損	-	-	E	-	E	-	E		
			扉の開閉、施錠	-	-	H	-	H	-	H		
	盤内		汚損、異物	E	E	E	-	E	-	E		
			絶縁抵抗 *2	-	-	M	-	-	-	M	(自)	
			接地抵抗	-	-	M	-	-	-	M		
	盤内器具		取付状態	-	-	E	E	E	E	E		
			配線状態	-	-	E	E	E	E	E	(自)	
			端子・端子台の状態	-	-	E	-	E	-	E		
			端子符号の脱落	-	-	E	-	-	-	E	(自)	
	操作スイッチ		動作確認	-	H	(H)	H	-	H	(自)		
			取付状態、汚損	E	E	E	-	-	-	E		
	指示計		動作確認(零点及び指示)	-	E	A (2年毎)	E	-	A	(自)		
			取付状態、汚損	-	-	E	-	-	-	E		
	表示器・表示灯		点灯状態	E	E	(E)	E	E	E	(自)		
			取付状態、汚損	-	-	E	-	-	-	E		
	運転時間計		指示状態	-	E	(E)	E	-	E	(自)		
			取付状態	-	-	E	-	-	-	E		
	CRTディスプレイ (タッチパネル含む)		表示状態の確認	-	E	E	-	-	E			
			輝度状態の確認	-	-	A	-	-	A			
			電源ケーブル接続状態	-	-	E	-	-	E			
			表示信号ケーブル接続状態	-	-	E	-	-	E			
			電源電圧測定の確認	-	-	M	-	-	M			
表示面の清掃			-	-	C	-	-	C				
キーボード		キー入力の確認	-	E	E	-	-	D				
		信号ケーブル接続状態	-	-	E	-	-	E				
		キーボード本体の清掃	-	-	C	-	-	C				
マウス		動作確認	-	D	D	-	-	D				
		信号ケーブル接続状態	-	-	E	-	-	E				
		マウス本体の清掃	-	-	C	-	-	C				
プリンタ		動作確認	-	-	D	-	-	D				
		印字状態の確認	-	D	D	-	-	D	テスト印字			
		電源電圧の確認	-	-	M	-	-	M				
		電源ケーブル接続状態	-	-	E	-	-	E				
		信号ケーブル接続状態	-	-	E	-	-	E				
中央演算処理装置		電源電圧の確認	-	-	M	-	-	M				
		電源ランプの点灯確認	-	E	E	-	-	E				
		ハードディスクの動作確認	-	D	D	-	-	D				
		FD動作確認	-	-	D	-	-	D				
		CD動作確認	-	-	D	-	-	D				
		MO動作確認	-	-	D	-	-	D				
		ファン動作確認	-	D	D	-	-	D				
		換気用フィルタ	-	C	C	-	-	X				
		電源ケーブル接続状態	-	-	E	-	-	E				
その他ケーブル接続状態	-	-	E	-	-	E						

特記事項

*1 致命的機器に該当する場合は実施すること。その内容は網掛け部に示すものである。
 管理運転では、操作することで正常に動作することを確認する。また、管理運転前後には取付状態や汚損などの確認を実施する。

*2 弱電機器には、絶縁抵抗測定禁止箇所があるので事前に確認すること。

点検・整備チェックシート 監視操作制御設備(11/15) <待機系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

監視操作制御設備(11)
 (CCTV設備)

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備									
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定 期 点 検			運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要		
				月点検	年点検	目視点検						
C	全般		動作確認 * 1	-	D	-	D	-	-	-		
			損傷の有無 * 1	-	E	-	E	-	-	-		
	盤面		発錆、汚損	-	-	E	-	E	E			
			扉の開閉、施錠	-	-	H	-	H	H			
	盤内		汚損、異物	E	E	E	-	E	E			
			絶縁抵抗 * 2	-	-	M	-	-	M	(自)		
			接地抵抗	-	-	M	-	-	M			
	盤内器具		取付状態	-	-	E	E	E	E			
			配線状態	-	-	E	E	E	E	(自)		
			端子・端子台の状態	-	-	E	-	E	E			
			端子符号の脱落	-	-	E	-	-	E	(自)		
	操作スイッチ		動作確認	-	H	(H)	H	-	H	(自)		
			取付状態、汚損	E	E	E	-	-	E			
	C	指示計		動作確認(零点及び指示)	-	E	A (2年毎)	E	-	A	(自)	
				取付状態、汚損	-	-	E	-	-	E		
T	表示器・表示灯		点灯状態	-	E	(E)	E	E	E	(自)		
			取付状態、汚損	-	-	E	-	-	E			
V	カメラ		電源電圧の確認	-	-	M	-	-	M			
			映像信号の確認	-	-	A	-	-	A			
			動作確認(カメラ、ヒータ、デフロスタ、ファン、ワイパ)	-	D	D	-	-	D			
			腐食、水漏れの確認	-	-	E	-	-	E			
			内部配線、取付の確認	-	-	E	-	-	E			
			照明装置の確認	-	D	D	-	-	D			
			ケーブル接続状態	-	-	E	-	-	E			
			錆、汚損の確認	-	-	E	-	-	E			
			入力信号の確認	-	-	A	-	-	A			
			歪みの確認	-	-	S	-	-	S			
備	拡声部		ケーブル接続状態	-	-	E	-	-	E			
			録画、再生の確認	-	-	D	-	-	D			
			制御信号の確認	-	-	D	-	-	D			
ビデオ	操作部		ケーブル接続状態	-	-	E	-	-	E			
			電源電圧の確認	-	-	M	-	-	M			
			モニター表示の確認	-	E	E	-	-	E			
モニター		ケーブル接続状態	-	-	E	-	-	E				
		拡音動作の確認	-	S	S	-	-	S				
マイク		ケーブル接続状態	-	-	E	-	-	E				

特記事項

- * 1 致命的機器に該当する場合は実施すること。その内容は網掛け部に示すものである。
 管理運転では、操作することで正常に動作することを確認する。また、管理運転前後には取付状態や汚損などの確認を実施する。
- * 2 弱電機器には、絶縁抵抗測定禁止箇所があるので事前に確認すること。

点検・整備チェックシート 監視操作制御設備(12/15) <待機系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

監視操作制御設備(12)
 (計 装 盤)

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備									
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定 期 点 検			運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要		
				月点検	年点検	目視点検						
計 装 盤	全般		動作確認 * 1	-	D	-	D	-	-	-		
			損傷の有無 * 1	-	E	-	E	-	-	-		
	盤面		発錆、汚損	-	-	E	-	E	E			
			扉の開閉、施錠	-	-	H	-	H	H			
	盤内		汚損、異物	E	E	E	-	E	E			
			絶縁抵抗 * 2	-	-	M	-	-	M	(自)		
			接地抵抗	-	-	M	-	-	M			
	盤内器具		取付状態	-	-	E	E	E	E			
			配線状態	-	-	E	-	E	E	(自)		
			端子・端子台の状態	-	-	E	E	E	E			
			端子符号の脱落	-	-	E	-	-	E	(自)		
	操作スイッチ		動作確認	-	H	(H)	H	-	H	(自)		
			取付状態、汚損	E	E	E	-	-	E			
	指示計		動作確認(零点及び指示)	-	E	A (2年毎)	E	-	A	(自)		
			取付状態、汚損	-	-	E	-	-	E			
	表示器・表示灯		点灯状態	E	E	(E)	E	E	E	(自)		
			取付状態、汚損	-	-	E	-	-	E			
	保護装置		保護リレーの動作	-	-	D	-	-	D	(自)		
			警報装置の異常	-	E	E	-	E	E	(自)		
			避雷器	-	E	E	-	E	M			
	監視用センサ類		温度センサの動作	-	E	(D)	-	-	X			
			圧力センサの動作	-	E	(D)	-	-	X			
			流量センサの動作	-	E	(D)	-	-	X			
			振動センサの動作	-	E	(D)	-	-	X			
速度センサの動作			-	E	(D)	-	-	X				
開度センサの動作			-	E	(D)	-	-	X				
変換器、調節器		電源電圧の確認	-	-	M	-	-	M				
		入力信号の確認	-	-	M	-	-	M				
		出力信号の確認	-	-	M	-	-	M				
		設定値の確認	-	-	D	-	-	A				

特記事項

* 1 致命的機器に該当する場合は実施すること。その内容は網掛け部に示すものである。
 管理運転では、操作することで正常に動作することを確認する。また、管理運転前後には取付状態や汚損などの確認を実施する。

* 2 弱電機器には、絶縁抵抗測定禁止箇所があるので事前に確認すること。

点検・整備チェックシート 監視操作制御設備(13/15) <待機系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

監視操作制御設備(13)
 (入出力装置盤)

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備									
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定期点検			運転時点検	臨時点検	定期整備	摘要		
				月点検	年点検	目視点検						
入出力装置盤	全般		動作確認 * 1	-	D	-	D	-	-	-		
			損傷の有無 * 1	-	E	-	E	-	-	-		
	盤面		発錆、汚損	-	-	E	-	E	E			
			扉の開閉、施錠	-	-	H	-	H	H			
	盤内		汚損、異物	E	E	E	-	E	E			
			絶縁抵抗 * 2	-	-	M	-	-	M	(自)		
			接地抵抗	-	-	M	-	-	M			
			シーケンスチェック	-	E	D	-	-	D			
	盤内器具		取付状態	-	-	E	E	E	E			
			配線状態	-	-	E	E	E	E	(自)		
			端子・端子台の状態	-	-	E	-	E	E			
			端子符号の脱落	-	-	E	-	-	E	(自)		
	操作スイッチ		動作確認	-	H	(H)	H	-	H	(自)		
			取付状態、汚損	E	E	E	-	-	E			
	指示計		動作確認(零点及び指示)	-	E	A (2年毎)	E	-	A	(自)		
			取付状態、汚損	-	-	E	-	-	E			
	表示器・表示灯		点灯状態	E	E	(E)	E	E	E	(自)		
			取付状態、汚損	-	-	E	-	-	E			
	タイマ		動作確認	-	-	M	-	-	M			
			設定値の確認	-	-	E	-	-	E			
	PLC		電源電圧の確認	-	-	M	-	-	M			
			入力信号の確認	-	-	D	-	-	D			
			出力信号の確認	-	-	D	-	-	D			
			内蔵電池	-	-	-	-	-	×			
変換器		電源電圧の確認	-	-	M	-	-	M				
		入力信号の確認	-	-	M	-	-	M				
		出力信号の確認	-	-	M	-	-	M				

特記事項

- * 1 致命的機器に該当する場合は実施すること。その内容は網掛け部に示すものである。
 管理運転では、操作することで正常に動作することを確認する。また、管理運転前後には取付状態や汚損などの確認を実施する。
- * 2 弱電機器には、絶縁抵抗測定禁止箇所があるので事前に確認すること。

点検・整備チェックシート 監視操作制御設備(14/15) <待機系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

監視操作制御設備(14)
 (変換器盤)

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置 区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備								
	点検部位	施設機器 コード	点検内容	定 期 点 検			運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要	
				月 点 検	年 点 検	目 視 点 検					
変 換 器 盤	全般		動作確認 *1	-	D	-	D	-	-	-	
			損傷の有無 *1	-	E	-	E	-	-	-	-
	盤面		発錆、汚損	-	-	E	-	E	E		
			扉の開閉、施錠	-	-	H	-	H	H		
	盤内		汚損、異物	E	E	E	-	E	E		
			絶縁抵抗 *2	-	-	M	-	-	M	(自)	
			接地抵抗	-	-	M	-	-	M		
			シーケンスチェック	-	E	D	-	-	D		
	盤内器具		取付状態	-	-	E	E	E	E		
			配線状態	-	-	E	E	E	E	(自)	
			端子・端子台の状態	-	-	E	-	E	E		
			端子符号の脱落	-	-	E	-	-	E	(自)	
	操作スイッチ		動作確認	-	H	(H)	H	-	H	(自)	
	指示計		取付状態、汚損	E	E	E	-	-	E		
			動作確認(零点及び指示)	-	E	A (2年毎)	E	-	A	(自)	
	表示器・表示灯		取付状態、汚損	-	-	E	-	-	E		
			点灯状態	-	E	(E)	E	E	E	(自)	
	タイマ		取付状態、汚損	-	-	E	-	-	E		
			動作確認	-	-	M	-	-	M		
	変換器		設定値の確認	-	-	E	-	-	E		
電源電圧の確認			-	-	M	-	-	M			
入力信号の確認			-	-	M	-	-	M			
		出力信号の確認	-	-	M	-	-	M			

特記事項

- *1 致命的機器に該当する場合は実施すること。その内容は網掛け部に示すものである。
 管理運転では、操作することで正常に動作することを確認する。また、管理運転前後には取付状態や汚損などの確認を実施する。
- *2 弱電機器には、絶縁抵抗測定禁止箇所があるので事前に確認すること。

点検・整備チェックシート 監視操作制御設備(15/15) <待機系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

監視操作制御設備(15)
(データ伝送盤)

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置 区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備									
	点検部位	施設機器 コード	点検内容	定 期 点 検			運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要		
				月 点 検		年 点 検						
デ ー タ 伝 送 盤	全般		動作確認 * 1	-	D		-	D	-	-	-	
			損傷の有無 * 1	-	E	-	E	-	-	-		
	盤面		発錆、汚損	-	-	E	-	E	E			
			扉の開閉、施錠	-	-	H	-	H	H			
	盤内		汚損、異物	E	E	E	-	E	E			
			絶縁抵抗 * 2	-	-	M	-	-	M	(自)		
			接地抵抗	-	-	M	-	-	M			
			シーケンスチェック	-	E	D	-	-	D			
	盤内器具		取付状態	-	-	E	E	E	E			
			配線状態	-	-	E	E	E	E	(自)		
			端子・端子台の状態	-	-	E	-	E	E			
			端子符号の脱落	-	-	E	-	-	E	(自)		
	表示器・表示灯			点灯状態	E	E	(E)	E	E	(自)		
	変換器		取付状態、汚損	-	-	E	-	-	E			
			電源電圧の確認	-	-	M	-	-	M			
			入力信号の確認	-	-	M	-	-	M			
	伝送装置		出力信号の確認	-	-	M	-	-	M			
電源電圧の確認			-	-	M	-	-	M				
信号レベルの測定			-	-	M	-	-	M				
接続部の確認			-	-	E	-	E	E				
			警報動作の確認	-	-	D	-	D	2ヶ月ごと			

特記事項

- * 1 致命的機器に該当する場合は実施すること。その内容は網掛け部に示すものである。
 管理運転では、操作することで正常に動作することを確認する。また、管理運転前後には取付状態や汚損などの確認を実施する。
- * 2 弱電機器には、絶縁抵抗測定禁止箇所があるので事前に確認すること。

点検・整備チェックシート 主ポンプ (1/3) <待機系設備>

機 場 名: _____
 点検実施 _____
 年 月 日: _____

主ポンプ(1)
(立 軸)

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備								
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定 期 点 検		運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要		
				月 点 検	年 点 検						
全般	主ポンプ全般		運転に支障のある異常が発生していないかを確認 *1	-	E	-	-	E	-	-	軸受温度、軸封部の封水量、油漏れなどを確認
本体	吐出しベンド		ケーシングを主体とする本体振動	-	H	(M)	-	-	-	M	(据付部、吸込口、案内羽根を含む)
	インペラ		腐食	-	-	-	-	-	-	E	
			摩耗	-	-	-	-	-	-	E	
主軸及び軸受	主軸及び軸継手全般		芯出し	-	-	-	-	-	-	M	
			錆	-	-	E	-	-	-	C	
			摩耗	-	-	E	-	-	-	M	
			締め具合	-	-	T	-	-	-	T	
			カップリングゴムの摩耗	-	-	E	-	-	-	M	
	外側軸受		温度	-	H	(M)	H	-	-	M	
			振動	-	H	(M)	H	-	-	M	
			摩耗	-	-	-	-	-	-	M	
			油脂量(質)	E	E	E	E	-	-	X	
	水中軸受(セラミックス軸受)		油漏れ	E	E	(E)	E	-	-	E	
			摩耗	-	-	-	-	-	-	M	
	水中軸受(ゴム軸受)		傷、割れ	-	-	-	-	-	-	M	
			通水状況	-	E	(E)	E	-	-	E	
	グラッドバックン		摩耗	-	-	-	-	-	-	M	
			フローサイト	-	-	C	-	-	-	C	
		温度	-	H	(H)	H	H	H	H		
無給水軸封装置		封水量	-	E	(E)	E	-	-	E		
		劣化	-	-	-	-	-	-	X		
		温度	-	H	(H)	H	H	H	H		
計装機器	フロースイッチ		漏水	-	E	(E)	E	-	-	E	
			劣化	-	-	-	-	-	-	X	
			作動	-	E	W (M)	E	-	-	X	(M)は導通チェック
			圧力計指示	-	E	(E)	E	-	-	X	
その他	計器類(圧力、温度、水位他)		圧力計の零指針	E	E	E	-	-	-	X	
			温度計指示	-	E	(E)	E	-	-	E	
			水位計指示	E	E	(E)	E	-	-	A	
水槽	吸込水槽		塗装	-	-	-	-	-	-	X	
			土砂の堆積	-	-	M	-	-	-	C	
			水位	E	E	M	E	-	-	M	

特記事項

- *1 全般で点検する事項は網掛け部に示す事項である。管理運転では、動作時にケーシング振動や軸受温度や封水量、油漏れなどを確認する。また、管理運転前後には油脂量などの確認を実施する。
- * ポンプ本体の内部状況については、設置場所の水質や環境を考慮して点検する。

点検・整備チェックシート 主ポンプ(2/3) <待機系設備>

機 場 名: _____
 点検実施 _____
 年 月 日: _____

主ポンプ(2)
 (横 軸)

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点 検 整 備			設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備									
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定 期 点 検		運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要				
				月 点 検	年 点 検								
全般	主ポンプ全般		運転に支障のある異常が発生していないかを確認 *1	-	E	-	-	E	-	-	-	軸受温度、軸封部の封水量、油漏れなどを確認	
	ケーシング		ケーシングを主体とする本体振動	-	H	(M)	-	-	-	M	-	(据付部、吸込口、案内羽根を含む)	
主軸及び軸受	インペラ		腐食	-	-	-	-	-	-	E	-		
			摩耗	-	-	-	-	-	-	E	-		
			欠損	-	-	-	-	-	-	E	-		
	主軸及び軸継手全般		芯出し	-	-	-	-	-	-	-	M	-	
			錆	-	-	E	-	-	-	C	-		
			摩耗	-	-	E	-	-	-	M	-		
			締り具合	-	-	T	-	-	-	T	-		
			カップリングゴムの摩耗	-	-	E	-	-	-	M	-		
	外側軸受		温度	-	H	(M)	H	-	-	M	-		
			振動	-	H	(M)	H	-	-	M	-		
			摩耗	-	-	-	-	-	-	M	-		
			油脂量(質)	E	E	E	E	-	-	X	-		
		油漏れ	E	E	(E)	E	-	-	E	-			
水中軸受(セラミックス軸受)		摩耗	-	-	-	-	-	-	M	-			
		傷、割れ	-	-	-	-	-	-	M	-			
水中軸受(すべり軸受)		摩耗	-	-	-	-	-	-	M	-			
グランドパッキン		温度	-	H	(H)	H	H	-	H	-			
		封水量	-	E	(E)	E	-	-	E	-			
		劣化	-	-	-	-	-	-	X	-			
		無給水軸封装置	温度	-	H	(H)	H	H	-	H	-		
潤滑油系統	軸受用グリースポンプ		手動の給油	-	-	E	-	-	-	E	-		
			油脂量	E	E	E	E	-	-	X	-		
			ベルトの張具合	-	-	A	-	-	-	X	-		
			運転状況	-	E	(E)	E	-	-	-	-		
呼水	満水検知器		作動	-	E	C	E	-	-	X	-		
			満水維持の確認	-	E	-	E	-	-	-	-		
計装機器	フロースイッチ		作動	-	E	W (M)	-	-	-	X	-	(M)は導通チェック	
		計器類(圧力、温度、水位他)		圧力計指示	-	E	(E)	E	-	-	X	-	
				圧力計の零指針	E	E	E	-	-	-	X	-	
				温度計指示	-	E	(E)	E	-	-	E	-	
その他	全般		水位計指示	E	E	(E)	E	-	-	A	-		
			塗装	-	-	-	-	-	-	X	-		
水槽	吸込水槽		土砂の堆積	-	-	M	-	-	-	C	-		
			水位	E	-	M	E	-	-	M	-		

特記事項
 *1 全般で点検する事項は網掛け部に示す事項である。管理運転では、動作時にケーシング振動や軸受温度や封水量、油漏れなどを確認する。
 また、管理運転前後には油脂量などの確認を実施する。

点検・整備チェックシート 主ポンプ (3/3) <待機系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

主ポンプ(3)
(水 中)

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備							摘 要	
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定 期 点 検		運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備			
				月 点 検	年 点 検						
			目視点検	管理 運転点検							
全般	主ポンプ全般		運転に支障のある異常が発生していないかを確認 *1	-	E	-	E	-	-	-	異音などを確認
水中ポンプ本体	ケーシング、インペラ		腐食	-	-	-	-	-	-	S	
			摩耗	-	-	-	-	-	-	W	
			吊り金具	-	-	-	-	-	-	E	
	メカニカルシール		油量、質	-	-	-	-	-	-	X	
			摩耗	-	-	-	-	-	-	X	
	電動機		絶縁抵抗	-	-	M	-	-	-	M	(自)盤にて測定
			接地抵抗	-	-	M	-	-	-	M	
			腐食	-	-	-	-	-	-	W	
			入力電流	-	M	(M)	M	M	-	M	
	軸受		油量、質	-	-	-	-	-	-	X	
			摩耗	-	-	-	-	-	-	X	
	軸		腐食	-	-	-	-	-	-	W	
			摩耗(スリーブ)	-	-	-	-	-	-	M	
		キャブタイヤケーブル		損傷、劣化	-	-	-	-	-	X	
	ケーブルホルダ		シール状態	-	-	-	-	-	X		
	サーマルプロテクタ		導通	-	-	M	-	-	X		
	浸水検知器		導通	-	-	M	-	-	X		
計装機器	計器類 (圧力、水位他)		圧力計指示	-	E	(E)	E	-	-	X	
			圧力計の零指針	E	E	E	-	-	-	X	
			水位計指示	E	E	(E)	E	-	-	A	
その他	全般		発錆、汚損	-	-	-	-	-	-	C	
			振動	-	-	-	-	-	-	M	
			塗装	-	-	-	-	-	-	X	
水槽	吸込水槽		土砂の堆積	-	-	M	-	-	-	C	
			水位	E	E	M	E	-	-	M	

特記事項

*1 全般で点検する事項は網掛け部に示す事項である。管理運転では、動作時の入力電流値や異音などを確認する。

点検・整備チェックシート 吐出し弁 <待機系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

吐出し弁

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点 検 整 備			設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備							
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定 期 点 検			運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要	
				目視点検	管理 運転点検	年点検					
手 動 式 弁	全般		動作確認 *1	-	D	-	D	-	-	-	
			損傷の有無 *1	-	E	-	E	-	-	-	
	弁箱		水抜き	-	-	-	-	-	-	-	寒冷地実施
			腐食	-	-	E	-	-	E	-	
			劣化	-	-	E	-	-	E	-	
			塗装	-	-	-	-	-	X	-	
	水密ゴム		劣化	-	-	-	-	-	X	-	
	グランドパッキン		水漏れ	-	-	A	-	-	X	-	
	減速機構及び スピンドル部		潤滑油量	-	-	E	-	-	X	-	
			回転体の滑らかさ	-	H	H	H	-	H	-	
電 動 式 弁	全般		動作確認 *1	-	D	-	D	-	-	-	
			損傷の有無 *1	-	E	-	E	-	-	-	
	弁箱		水抜き	-	-	-	-	-	-	-	寒冷地実施
			腐食	-	-	E	-	-	E	-	
			劣化	-	-	E	-	-	E	-	
			塗装	-	-	-	-	-	X	-	
	水密ゴム		劣化	-	-	-	-	-	X	-	
	グランドパッキン		水漏れ	-	-	A	-	-	X	-	
	減速機構及び スピンドル部		潤滑油量	-	-	E	-	-	X	-	
			音	-	S	(S)	S	-	S	-	
開度計		零指針	-	-	E	E	-	A	-		
		作動	-	-	(E)	-	-	E	-		
リミットスイッチ		作動	-	E	(M)	E	-	X	-		
トルクスイッチ		作動	-	-	-	-	-	X	-		
電動機		絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	-	(自)盤にて測定	
		温度	-	H	(H)	-	-	H	-		

特記事項

*1 致命的機器に該当する場合は実施すること。全般で点検する事項は網掛け部に示す事項である。
 管理運転では、操作することで正常に動作することを確認する。

点検・整備チェックシート 逆流防止弁 <待機系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

逆流防止弁

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置 区分	点 検 整 備			設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備									
	点検部位	施設機器 コード	点検内容	定 期 点 検				運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要		
				月 点 検		年 点 検							
				目視点検	管理 運転点検								
逆 流 防 止 弁	全般		動作確認 *1	-	D	-	-	D	-	-	-		
			損傷の有無 *1	-	E	-	-	E	-	-	-		
	弁箱		腐食	-	-	-	-	-	-	-	E		
			塗装	-	-	-	-	-	-	-	X		
	弁体		腐食	-	-	-	-	-	-	-	E		
			塗装	-	-	-	-	-	-	-	X		
			変形	-	-	-	-	-	-	-	E		
	弁軸		腐食	-	-	-	-	-	-	-	E		
			回転の滑らかさ	-	-	-	-	-	-	-	D		

特記事項

*1 致命的機器に該当する場合は実施すること。
 管理運転では、操作することで正常に動作することを確認する。

点検・整備チェックシート 主原動機(ディーゼル機関) (1/5) <待機系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

**主原動機(1)
(ディーゼル機関)(1)**

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備								
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定期点検		年点検	運転時点検	臨時点検	定期整備	摘 要	
				目視点検	管理運転点検						
全般	ディーゼル機関全般		運転に支障のある異常が発生していないかを確認 *1	-	E	-	E	-	-	-	異音、漏れ、センサ動作などを確認
機 本 体 係	台板		締まり具合、損傷	-	E	E	E	-	-	-	
	シリンダヘッド		ヘッドガスケットの劣化	-	-	-	-	-	-	X	
			弁の摩耗パネのへたり	-	-	-	-	-	-	W	
			タペットの間隙	-	-	A	-	-	-	A	ピストン圧縮・TOPでチェック
	クランク室		シリンダライナの摩耗	-	-	-	-	-	-	M	(連結棒本体、歯車、ピストンブッシュを含む)
			コンロッドメタルの摩耗	-	-	-	-	-	-	M	
			クランクシャフトの摩耗	-	-	-	-	-	-	M	
			クランクシャフトメタルの摩耗	-	-	-	-	-	-	M	
			ボルトの緩み	-	-	T	-	-	-	T	
			カム軸の摩耗	-	-	-	-	-	-	M	
	過給機		フィルタの状況	-	-	E	-	-	-	X	
			振動	-	H	(H)	H	-	-	H	
			音	-	S	(S)	S	-	-	S	
			油量 *2	-	E	E	E	-	-	X	油ダメ付のみ
	ピストン		本体	-	-	-	-	-	-	W	
		ピストンの摩耗	-	-	-	-	-	-	M	(ピストンピン、排気弁装置部、排気弁本体含む)	
	ピストンリング摩耗	-	-	-	-	-	-	M			
调速機		調整	-	-	-	-	-	-	W	(ガバナパネ、速度設定ハンドル、軸受け、潤滑油、燃料ラック、駆動歯車を含む)	
外部軸受		油量	E	E	E	E	-	-	X		
		振動	-	H	(H)	H	-	-	M	(フライホイール含む)	
		温度	-	H	(H)	H	-	-	M		
		摩耗	-	-	-	-	-	-	M		
遠心クラッチ		動作確認	-	E	(E)	E	-	-	E		
		油量	E	E	E	E	-	-	X	給油式の場合	
		磨耗	-	-	-	-	-	-	M		
内部潤滑油ポンプ		振動	-	H	(H)	H	-	-	H	(潤滑油系統含む)	
		作動	-	S	(S)	S	-	-	W		
		配管漏れ	E	E	E	E	E	E	E		
初期潤滑油ポンプ		作動	-	S	(S)	S	-	-	W	(圧力調整弁、電動機含む)	
		配管漏れ	E	E	E	E	E	E	E		
		絶縁抵抗	-	-	M	-	-	-	M		
機関オイルパン		振動	-	H	(H)	H	-	-	H		
		オイルパン油量 *2	E	E	E	E	-	-	X	油交換時はタンク内清掃のこと	
潤滑油濾過器		オイルパン内腐食	-	-	-	-	-	-	E		
		性状分析	-	-	M	-	-	-	M		
クランク軸		内部清掃	-	-	C	-	-	-	C		
		エレメント	-	-	-	-	-	-	X	ペーパータイプは油交換時に交換	
		固着(ターニング)	-	D	-	-	-	-	-	(歯車、軸受けを含む)	
潤滑油冷却器		漏れ	-	E	(E)	E	-	-	W		
		腐食(エレメント)	-	-	-	-	-	-	W		
		劣化(エレメント)	-	-	-	-	-	-	W		
		防蝕亜鉛の消耗	-	-	E	-	-	-	E		
	ドレン	-	-	A	-	-	-	A	漏水の確認		

特記事項

*1 全般で点検する事項は網掛け部に示す事項である。
 管理運転では、動作時に振動や異音および油漏れやセンサ類の動作などを確認する。また、管理運転前後には油量や配管漏れなどの確認を実施する。

*2 2年毎に交換。

点検・整備チェックシート 主原動機(ディーゼル機関) (2/5) <待機系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

**主原動機(2)
 (ディーゼル機関)(2)**

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備							摘 要		
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定期点検		年点検	運転時点検	臨時点検	定期整備			
				目視点検	管理運転点検							
燃 料 系 統	燃料噴射ポンプ		ラックの動作、継手	—	H	H	H	—	H	(空気混入、タペット、カム軸、燃料ラック、吸気弁本体を含む)		
			エア抜き	—	—	A	—	—	A			
			ブランジャ・吐出し弁劣化	—	—	—	—	—	—		W	
			漏れ	—	E	(E)	E	—	—		E	
			油量 * 1	E	E	E	E	—	—		X	油ダメ付のみ
			異物混入	—	—	E	—	—	—		—	—
			突始め調整ボルト緩み	—	—	T	—	—	—		T	—
	噴射時期	—	—	M	—	—	—	M	—			
	燃料濾過器			内部清掃	—	—	C	—	—	—	水分チェック	
				エア抜き	—	—	A	—	—	A	—	
				エレメント	—	—	E	—	—	X	付着物点検、ペーパータイプは2年毎に交換	
	燃料弁			噴霧テスト	—	—	A	—	—	A	噴口詰り、後タレチェック	
				摩耗	—	—	—	—	—	—	W	—
				漏れ	—	E	(E)	E	—	—	E	—
	高圧管			管内エア抜き	—	—	A	—	—	A	—	
漏れ(亀裂)				—	E	(E)	E	E	—	X	—	
振動				—	H	(H)	H	—	—	H	—	
燃料供給ポンプ 配管			摩耗	—	—	—	—	—	—	W	—	
			腐食	—	—	E	—	—	—	E	—	
			漏れ	E	E	(E)	E	E	—	E	—	
			振動	—	H	(H)	H	—	—	H	—	
冷 却 水 系 統	内部冷却水ポンプ		振動	—	H	(H)	H	—	—	H	—	
			摩耗、劣化	—	—	—	—	—	—	—	W	—
			配管漏れ	E	E	(E)	E	E	—	E	—	
			配管腐食	—	—	—	—	—	—	—	W	—
			配管振動	—	H	(H)	H	—	—	H	—	
			バルブ開閉	—	—	E	E	—	—	E	—	
			バルブ劣化	—	—	—	—	—	—	—	W	—
	空気抜き	—	E	(E)	E	—	—	E	—			
	温調弁			作動	—	E	(E)	E	—	—	W	—
				漏れ	—	E	(E)	E	—	—	E	—
水質検査 * 2				—	—	—	—	—	—	M	—	
空 気 系 統	分配弁・塞止弁・操縦弁		作動	—	E	(E)	E	—	—	W	—	
			漏れ	—	E	(E)	E	—	—	E	—	
			配管劣化	—	—	E	—	—	—	E	—	
			配管漏れ	—	E	E	E	E	—	E	—	
			配管腐食	—	—	E	—	—	—	E	—	
始 動 系 統	電磁弁・減圧弁		作動	—	E	(E)	E	—	—	X	30k用電磁弁は年点検で分解	
			劣化	—	—	E	—	—	—	X	—	
			エア漏れ	—	E	E	E	—	—	X	—	
始 動 系 統	始動弁		エア漏れ * 3	—	H	(H)	H	—	—	H	始動15分後接続配管にて	
			動作確認	—	—	W	—	—	—	W	機関装着後弁棒動き確認	
			TPO始動(エアラン)	—	—	D	—	—	—	D	全シリンダ	
始 動 系 統	停止用エアピストン		作動	—	D	W	D	—	—	W	—	
			空気漏れ	—	E	(E)	E	—	—	E	—	

特記事項

- * 1 2年毎に交換。
- * 2 不凍液、腐食防止剤を使用している場合の濃度管理は1年毎。
- * 3 高温変色している場合は火傷に注意すること。

点検・整備チェックシート 主原動機(ディーゼル機関) (3/5) <待機系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

**主原動機(3)
 (ディーゼル機関)(3)**

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備									
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定 期 点 検			運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要		
				月点検	年点検	目視点検						
電気始動系統	セルモータ		ブラシの状態	-	-	E	-	-	X			
			作動	-	E	(E)	E	-	W			
			劣化	-	-	E	-	-	E			
	予熱栓		作動	-	E	(E)	-	-	X	付属の場合		
			劣化	-	E	E	-	-	X	付属の場合		
	電磁スイッチ		作動	-	E	(E)	E	-	W	(ケーブル、切替開閉器、操作開閉器、補助継電器、限時継電器、制御電源、配線用遮断器を含む)		
			劣化	-	-	E	-	-	E			
	停止ソレノイド		作動	-	D	(D)	D	-	D			
			劣化	-	-	E	-	-	E			
	計装器	センサ類 (温度、圧力、流れ)		水温スイッチ作動	-	E	M	-	-	X		
油温スイッチ作動				-	E	(E)	-	-	X			
油圧スイッチ作動				-	E	M	-	-	X			
空気圧スイッチ作動				-	E	(E)	-	-	X			
フロースイッチ作動				-	E	W (M)	-	-	X			
速度スイッチ作動				-	E	A	-	-	X			
速度スイッチ作動				-	E	A	-	-	X			
計装器	ゲージ類 (温度、圧力、回転他)		冷却水温度計指示	-	E	(E)	E	-	E			
			潤滑油温度計指示	-	E	(E)	E	-	E			
			排気温度計指示	-	E	(E)	E	-	E	バラツキチェック		
			冷却水圧力計指示	-	E	(E)	E	-	X			
			冷却水圧力計の零指針	E	E	E	-	-	X			
			潤滑油圧力計指示	-	E	(E)	E	-	X			
			潤滑油圧力計のゼロ指針	E	E	E	-	-	X			
			回転計指示	-	E	(E)	E	-	M	変動チェック		
消音器・排気管	消音器		腐食	-	-	E	-	-	E			
			劣化	-	-	E	-	-	E			
			漏れ	-	E	(E)	E	-	E			
			ドレン抜き	-	-	A	-	-	A			
消音器・排気管	排気管		腐食	-	-	E	-	-	E			
			劣化	-	-	E	-	-	E			
			漏れ	-	E	(E)	E	-	E			
			排気口の閉塞	-	-	E	-	-	E			
冷却装置	ラジエータ		水量	-	E	E	E	-	E			
			漏れ	-	E	E	E	-	E			
			キャップ耐圧	-	E	(E)	E	-	X	圧力キャップの場合		
			劣化	-	-	E	-	-	E			
			ホース劣化	-	-	H	-	-	X			
			ファンベルト	-	E	E	-	-	X	ベルト駆動の場合		
冷却装置	清水冷却器		漏れ	-	E	(E)	E	-	W			
			腐食(エレメント)	-	-	-	-	-	W			
			劣化(エレメント)	-	-	-	-	-	W			
			防蝕亜鉛の消耗	-	-	E	-	-	E			
冷却装置	空気冷却器		腐食、劣化	-	-	-	-	-	W			
			ドレン	-	E	(E)	E	-	E			
			塗装	-	-	-	-	-	X			
その他	全般											

特記事項

点検・整備チェックシート 主原動機(ディーゼル機関) (4/5) <待機系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

**主原動機(4)
(ディーゼル機関)(4)**

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備									
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定 期 点 検				運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要	
				月 点 検		年 点 検						
				目視点検	管理運転点検							
作業準備及び組立	作業準備		アイソレーションの確認	-	-	-	-	-	-	E		
			弁状態の確認	-	-	-	-	-	-	E		
			電源の確認	-	-	-	-	-	-	E		
			取替部品の確認	-	-	-	-	-	-	E		
	分解前作業		デフレクション計測	-	-	-	-	-	-	M		
			水抜きの確認	-	-	-	-	-	-	E		
			残油なしの確認	-	-	-	-	-	-	E		
			LO・FOタンク弁閉の確認	-	-	-	-	-	-	H		
	分解点検・手入れ・組立		始動空気槽元弁閉の確認	-	-	-	-	-	-	H		
			主軸受	-	-	-	-	-	-	W	代表の主軸受1ヶ所のみ	
		連接棒	-	-	-	-	-	-	W			
		給・排気弁	-	-	-	-	-	-	W			
		シリンダ安全弁	-	-	-	-	-	-	X			
		給・排気レバー	-	-	-	-	-	-	W			
整備後の確認		動弁装置	-	-	-	-	-	-	W			
	整備後の確認		デフレクション計測	-	-	-	-	-	-	M		
			オイルパン油量の確認	-	-	-	-	-	-	E		
			LO補給タンク油量の確認	-	-	-	-	-	-	E		
			過給機潤滑油量の確認	-	-	-	-	-	-	E		
			调速機潤滑油量の確認	-	-	-	-	-	-	E		
			動弁装置への注油	-	-	-	-	-	-	E		
			シリンダヘッドの異物混入確認	-	-	-	-	-	-	E		
			クランクケースの異物混入確認	-	-	-	-	-	-	E		
			継手部締付状況の確認	-	-	-	-	-	-	E		
			冷却水通水、エア抜き	-	-	-	-	-	-	A		
	整備後の運転準備		FO通油、FO噴射ポンプのエア抜き	-	-	-	-	-	-	A		
			シリンダヘッド内の潤滑油量の確認	-	-	-	-	-	-	E		
			カム・ピストンメタル部のターニング装置の注油	-	-	-	-	-	-	E		
			グリスアップ	-	-	-	-	-	-	A		
		ガバナリング注油	-	-	-	-	-	-	A			
		始動空気槽の充気	-	-	-	-	-	-	A			
整備後の運転		各部漏れなしの確認	-	-	-	-	-	-	E			
		アイソレーション解除の確認	-	-	-	-	-	-	E			
		ターニングエアラン	-	-	-	-	-	-	A	LOプライミングポンプ運転		
		始動状況確認	-	-	-	-	-	-	D			
		低速摺合運転	-	-	-	-	-	-	D			
		摺合運転	-	-	-	-	-	-	D			
		各部漏れなしの確認	-	-	-	-	-	-	E			
		発熱状況の確認	-	-	-	-	-	-	H	内部点検		
		注油状況の確認	-	-	-	-	-	-	E	内部点検		
		ライナ摺動部状況の確認	-	-	-	-	-	-	E	内部点検		
	各部締付の確認	-	-	-	-	-	-	E	内部点検			

特記事項

点検・整備チェックシート 主原動機(ディーゼル機関) (5/5) <待機系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

**主原動機(5)
 (ディーゼル機関)(5)**

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置 区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備									
	点検部位	施設機器 コード	点検内容	定 期 点 検			運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要		
				月 点 検		年 点 検						
運 転 状 況	運転状況		音	-	S		(S)	S	-	S		
			排気色	-	E	(E)	E	-	E			
			ミストの状況	-	E	(E)	E	-	E			
			給気管ドレン抜き	-	A	(A)	A	-	A			
			冷却水管エア抜き	-	A	(A)	A	-	A			
			過給機停止所要時間	-	-	(M)	-	-	M			
			燃料消費量	-	-	-	-	-	M			
			発熱	-	-	(H)	H	-	H	各ポンプ軸受部、 クランクケース等		
			ラック目盛	-	M	(M)	M	-	M	全シリンダ		
			振動	-	H	(H)	H	-	M	高圧配管、過給機等		
	保 護 回 路 に よ る 機 関 の 停 止 確 認		断水	-	-	D	-	-	D			
			冷却水温	-	-	D	-	-	M			
			潤滑油圧	-	-	D	-	-	M			
運 転 後 の 確 認		過速度	-	-	D	-	-	D	単独運転にて			
		潤滑油プライミングポンプ運転	-	E	E	E	-	E				
		ターニングによる燃料ガスの 排出	-	A	A	A	-	A	2回転またはエアラン運転後			
		クランクケース内軸受	-	-	H	H	-	M				

特記事項

点検・整備チェックシート 主原動機(ガスタービン機関) (1/4) <待機系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

**主原動機(6)
(ガスタービン)(1)**

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S			聴覚

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備									
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定期点検		年点検	運転時点検	臨時点検	定期整備	摘 要		
				目視点検	管理運転点検							
全般	ガスタービン全般		運転に支障のある異常が発生していないかを確認 *1	—	E	—	—	—	—	—	—	異音、油漏れ、センサ動作などを確認
パッケージ	パッケージ及び外観		表示灯の点灯	E	E	E	—	—	E			
			給気取入口の閉塞有無	E	E	E	—	—	E			
			機器配管の異常な変形	E	E	E	—	—	E			
			発錆	E	E	E	—	—	E			
			燃料漏れ	E	E	E	—	—	E			
			潤滑油漏れ	E	E	E	—	—	E			
			主要機器ボルト緩み	—	—	T	—	—	T			
ガスタービン本体	圧縮機部		ケース割れ、変形	—	—	—	—	—	E			
			静翼割れ、摩耗	—	—	—	—	—	E			
			動翼割れ、変形、摩耗	—	—	—	—	—	E			
			ディスク割れ、摩耗	—	—	—	—	—	E			
			インペラ割れ、摩耗	—	—	—	—	—	E			
			ブリード弁汚れ、損傷	—	—	—	—	—	O			
			軸受摩耗	—	—	—	—	—	E			
		軸受シール変形、摩耗	—	—	—	—	—	E				
	圧縮機タービン部		ケース割れ、変形	—	—	E	—	—	E *2			
			静翼の割れ、摩耗	—	—	E	—	—	E *2			
		動翼割れ、変形、摩耗	—	—	E	—	—	E *2				
		ディスク割れ、摩耗	—	—	E	—	—	E *2				
		軸受摩耗	—	—	—	—	—	E				
燃焼器部		軸受シール変形、摩耗	—	—	—	—	—	E				
	出力タービン部		ライナ汚れ、変形、割れ	—	—	E	—	—	O *2			
			出口ダクト変形、割れ	—	—	E	—	—	E *2			
		燃料ノズル汚れ、詰り	—	—	C *3	—	—	O				
排気ケーシング部	補助減速機部		ケース割れ、変形	—	—	E	—	—	E			
			歯車割れ、変形	—	—	—	—	—	E			
			軸変形、摩耗	—	—	—	—	—	E		(各軸を含む)	
			軸受摩耗	—	—	—	—	—	E			
			軸受シール変形、摩耗	—	—	—	—	—	E			
減速機部		ケース割れ、変形	—	—	E	—	—	E				
		歯車割れ、変形	—	—	E	—	—	E		(各歯車、軸を含む)		
		軸変形、摩耗	—	—	—	—	—	E				
		軸受摩耗	—	—	—	—	—	E				
軸継手	ギヤCPパネ、またはダイヤフラムCP		軸受シール変形、摩耗	—	—	—	—	—	E			
			ボルト緩みの有無	—	—	T	—	—	T			
			ゴム劣化	—	—	E	—	—	X			
			ゴム汚損	—	—	E	—	—	E			
			芯狂い	—	—	—	—	—	M			
	グリス量、漏れ	—	E	E	—	—	X					
	締まり具合	—	—	T	—	—	T					
	摩耗	—	—	E	—	—	E					
	変形、クラック	—	—	E	—	—	E					

特記事項

ガスタービンは、航空機転用型、産業用型等によって点検・整備項目が異なる場合があるため、点検・整備に当たっては各一の取扱説明書を参考にし決定する。

*1 全般で点検する事項は網掛け部に示す事項である。

*2 軽油及び灯油は5年で整備を実施。A重油の場合は運転時間300時間、起動回数150回、5年のいずれか短い時間で実施。

*3 軽油及び灯油は年点検で実施。A重油の場合は運転時間100時間、起動回数50回で実施。

点検・整備チェックシート 主原動機(ガスタービン機関) (2/4) <待機系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

**主原動機(7)
(ガスタービン)(2)**

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認		S				聴覚

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備								
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定期点検			運転時点検	臨時点検	定期整備	摘 要	
				目視点検	管理 運転点検	年点検					
電気始動装置	セルモータ		作動	-	E	(E)	E	-	E	ピニオン歯車部	
			摩耗	-	-	-	-	-	W		
			劣化	-	-	-	-	-	W		
			ブラシの状態	-	-	E	-	-	X		
セルモータ電磁スイッチ			作動	-	E	(E)	E	-	E		
			劣化	-	-	-	-	-	W		
				-	-	-	-	-	W		
				-	-	-	-	-	W		
空気始動装置	エアモータ		作動	-	E	(E)	E	-	E		
			焼付	-	E	(E)	E	-	W		
			摩耗	-	-	-	-	-	W		
			腐食	-	-	-	-	-	W		
	オイル (エアモータ自動給油用)			保油量	-	E	E	E	-	E	
				注油量	-	E	(E)	E	-	E	
	安全弁 起動弁ユニット			作動圧力の確認	-	-	-	-	-	E	
				作動	-	E	(E)	E	-	E	
				フィルタの汚れ	-	-	C	-	-	C	
				ダイヤフラム	-	-	D	-	-	X	
配管			腐食	-	-	E	-	-	E		
			漏れ	-	E	(E)	E	E	E		
			劣化	-	-	E	-	-	E		
油圧始動装置	作動油タンク		油量	E	E	E	E	-	E		
			作動油フィルタ	-	-	E	-	-	X		
	作動油ポンプ・モータ			性状分析	-	-	M	-	-	X	
				発熱	-	-	(H)	-	-	H	
				オイルシール漏れ	-	-	-	-	-	X	
				ケーシング内注油	-	-	-	-	-	A	
	油圧モータ			振動	-	H	(H)	H	-	H	
				軸受温度	-	-	H	-	-	M	
配管・付属品			絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M		
			軸受注油	-	-	E	E	-	X		
制御装置			漏れ	E	E	E	E	E	E		
			機能確認	-	E	(E)	-	-	E		
			接地抵抗	-	-	M	-	-	M		
ガスター			絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	弱電機器は絶縁チェック禁止のものがあるので注意	
			作動確認	-	E	(E)	-	-	E		
			警報、故障の確認	-	-	E	-	-	E		
			表示灯の確認	-	E	(E)	-	-	E		
			指示計の確認	-	E	A	-	-	A		
			接地抵抗	-	-	M	-	-	M		
ピニン 制御 盤	バックアップ制御装置		絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	弱電機器は絶縁チェック禁止のものがあるので注意	
			作動確認	-	-	E	-	-	E		
			警報、故障の確認	-	-	E	-	-	E		
			表示灯の確認	-	-	E	-	-	E		
			指示計の確認	-	-	A	-	-	A		
			接地抵抗	-	-	M	-	-	M		
保護回路 (機関停止確認)			絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	弱電機器は絶縁チェック禁止のものがあるので注意	
			潤滑油圧低下	-	-	D	-	-	D	模擬信号にて	
			潤滑油温度高	-	-	D	-	-	D	模擬信号にて	
			排気温度高	-	-	D	-	-	D	模擬信号にて	
			始動渋滞	-	-	D	-	-	D	模擬信号にて	
特記事項			過速度	-	-	D	-	-	D	模擬信号にて	
			ガスタービンは、航空機転用型、産業用型等によって点検・整備項目が異なる場合があるため、点検・整備に当たっては各一の取扱説明書等を参考にし決定する。								

点検・整備チェックシート 主原動機(ガスタービン機関) (3/4) <待機系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

**主原動機(8)
(ガスタービン)(3)**

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置 区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備									
	点検部位	施設機器 コード	点検内容	定 期 点 検			運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要		
				月点検	年点検	目視点検						
潤 滑 油 系 統	潤滑油ポンプ		発熱	—	—	(H)	H	—	H			
			オイルシール漏れ	—	E	(E)	E	—	X			
			振動	—	H	(H)	H	—	H			
			音	—	S	(S)	S	—	S			
			配管漏れ	E	E	(E)	E	E	E			
	初期潤滑油ポンプ		発熱	—	—	(H)	—	—	H	立軸ガスタービン		
			オイルシール漏れ	—	E	(E)	—	—	X	立軸ガスタービン		
			振動	—	H	(H)	—	—	H	立軸ガスタービン		
			音	—	S	(S)	—	—	S	立軸ガスタービン		
			絶縁抵抗	—	—	—	—	—	M	立軸ガスタービン		
燃 料 系 統	潤滑油濾過器		エレメント汚れ	—	—	E	—	—	X			
			潤滑油冷却器	汚れ	—	—	C	—	—	C		
	調整弁		漏れ	—	E	E	—	—	E			
			保持圧力の確認	—	—	E	—	—	D			
	クーラファン		汚れ	—	—	E	—	—	C			
			振動	—	H	(H)	H	—	H			
			音	—	S	(S)	S	—	S			
	潤滑油			性状分析	—	—	M	—	—	X		
	燃料制御装置(弁)		レバー等の動き	—	—	H	—	—	H			
			漏れ	—	E	E	—	—	E			
燃 料 系 統	燃料ポンプ		発熱	—	—	(H)	H	—	H			
			オイルシール漏れ	—	E	(E)	E	—	X			
			振動	—	H	(H)	H	—	H			
			音	—	S	(S)	S	—	S			
電磁弁		作動	—	E	(E)	E	—	X				
		漏れ	—	E	E	—	—	E				
		配管		腐食	—	—	E	—	—	E		
漏れ	E			E	(E)	E	E	E				
振動	—			H	(H)	H	—	H				
燃 料 系 統	燃料濾過器		エレメントの汚れ	—	—	E	—	—	X			
	高圧フィルタ		エレメントの汚れ	—	—	E	—	—	X			
	点火栓		スパークの確認	—	—	D	—	—	E			
			清掃	—	—	C	—	—	X			
	エキサイタ		スパークの確認	—	—	D	—	—	X			
	安全弁		作動圧力	—	—	M	—	—	M			
	燃料配管ヒータ		作動確認	—	H	H	—	—	H			
	エアアシスト圧縮機		作動	—	E	(E)	E	—	X			
			振動	—	H	(H)	H	—	M			
			音	—	S	(S)	S	—	S			

特記事項

ガスタービンは、航空機転用型、産業用型等によって点検・整備項目が異なる場合があるため、点検・整備に当たっては各一の取扱説明書等を参考にし決定する。

点検・整備チェックシート 主原動機(ガスタービン機関) (4/4) <待機系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

**主原動機(9)
(ガスタービン)(4)**

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認		S	聴覚			

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備									
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定 期 点 検			運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要		
				月点検	年点検	目視点検						
計装機器	センサ類 (温度、圧力、回転)		潤滑油圧カススイッチ作動	-	E	M	-	-	X			
			潤滑油温度センサ作動	-	-	E	-	-	E			
			温度センサ劣化	-	-	-	-	-	X			
			潤滑油温度スイッチ作動	-	-	M	-	-	X			
			回転速度ピックアップ抵抗測定	-	-	M	-	-	M			
			同上、ギャップ計測	-	-	-	-	-	M			
			排気温度センサ	-	-	M	-	-	X			
			絶縁抵抗測定	-	-	-	-	-				
			吸込フィルタ差圧計確認	-	-	M	-	-	M			
			速度変換器特性計測	-	-	M	-	-	M			
	温度変換器特性計測	-	-	M	-	-	M					
	指示計			圧力計零指針	E	E	E	-	-	X		
温度計指示				-	E	E	-	-	A			
差圧計零指針				-	-	E	-	-	X			
回転速度指示計零指針				-	-	E	-	-	A			
吸気・排気系統	換気ファン		振動	-	H	(H)	H	-	H			
			音	-	S	(S)	S	-	S			
	吸気フィルタ 排気ダクト		エレメント汚れ	-	-	E	-	-	X	差圧過大で交換		
			腐食	-	-	E	-	-	E			
排気消音器			劣化	-	-	E	-	-	E			
			漏れ	-	E	(E)	E	-	E			
			腐食	-	-	E	-	-	E			
その他			劣化	-	-	E	-	-	E			
			漏れ	-	E	(E)	E	-	E			
			塗装	-	-	-	-	-	X			
運転状況			振動	-	H	(H)	H	-	M			
			始動時間	-	M	(M)	-	-	M			
			停止時間	-	M	(M)	-	-	M			
			回転速度	-	E	(E)	E	-	E			
			排気温度	-	E	(E)	E	-	E			
			潤滑油温	-	E	(E)	E	-	E			
			潤滑油圧	-	E	(E)	E	-	E			
			圧縮機吐出し圧力	-	E	(E)	E	-	E			
			吸気温度	-	E	(E)	E	-	M			
			始動回数計	-	-	E	-	-	E	累積		
			運転時間計	-	-	E	-	-	E	累積		
燃料消費量	-	-	-	-	-	M						

特記事項
 ガスタービンは、航空機転用型、産業用型等によって点検・整備項目が異なる場合があるため、点検・整備に当たっては各一の取扱説明書等を参考にし決定する。

点検・整備チェックシート 主原動機(電動機) <待機系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

主原動機(10)
 (電動機)

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認		S	聴覚			

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備								
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定期点検		年点検	運転時点検	臨時点検	定期整備	摘 要	
				月点検	目視点検						
全般	電動機全般		運転に支障のある異常が発生していないかを確認 *1	-	E	-	E	-	-	-	異音、温度、振動などを確認
電 機	電動機本体		絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)盤にて測定	
			接地抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)	
			音	-	S	(S)	S	-	S	(自)	
			電流値	-	E	(E)	E	-	E	(自)	
			固定子劣化	-	-	-	-	-	W	(自)	
			回転子劣化	-	-	-	-	-	W	(自)	
			通風装置	-	-	-	-	-	W	(自)	
		センサ類		温度スイッチ	-	-	D	-	-	X	
	軸受			温度	-	H	(H)	H	-	M	(自)
				振動	-	H	(M)	H	-	M	(自)
				油量	E	E	E	E	-	X	
	ブラシ			摩擦	-	-	-	-	-	M	
				摩擦	-	E	E	-	-	X	(自)
				押しバネの状態	-	-	H	-	-	H	
	スリップリング			火花の状況	-	E	(E)	E	-	E	
			摩擦	-	E	E	-	-	X	(自)	
			荒れ	-	E	E	-	-	E		
始動抵抗器・制御器	始動抵抗器・制御器		汚れ	-	E	C	-	-	C		
			損傷	-	-	E	-	-	E		
			動作	-	E	(E)	E	-	E	(自)	
			電解液量	E	E	E	E	-	E	(自)	
			電解液劣化	-	-	-	-	-	X	(自)液体抵抗器の場合	
			液温スイッチの動作	-	-	D	-	-	X	(自)液体抵抗器の場合	
その他	全般		液面レベルスイッチの動作	-	-	D	-	-	X	(自)液体抵抗器の場合	
			塗装	-	-	-	-	-	X		

特記事項

*1 全般で点検する事項は網掛け部に示す事項である。
 管理運転では、動作時に異音や電流値やブラシの火花の状態や温度、振動などを確認する。また、管理運転前後には油量やブラシの摩擦量などの確認を実施する。

点検・整備チェックシート 減速機 (1/2) <待機系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

減速機(1)
(水 冷)

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認		S	聴覚			

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置 区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備											
	点検部位	施設機器 コード	点検内容	定 期 点 検			運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要				
				目視点検	管理 運転点検	年点検								
全般	減速機全般		運転に支障のある異常が発生していないかを確認 *1	—	E	—	E	—	—	—	—	—	—	異音、配管漏れなどを確認
潤滑油系統	オイルシール		漏れ	—	E	(E)	—	—	—	X	—	—	—	
	潤滑油		量(質)	E	E	E	E	—	—	X	—	—	—	
			圧力	—	E	(E)	E	—	—	E	—	—	—	
			温度	—	E	(E)	E	—	—	E	—	—	—	
	潤滑油ポンプ		音	—	S	(S)	S	—	—	S	—	—	—	
			リリーフ弁	—	—	—	—	—	—	W	—	—	—	
		本体	—	—	E	—	—	—	E	—	—	—		
潤滑油濾過器		内部清掃	—	—	C	—	—	—	C	—	—	—		
		エレメント	—	—	—	—	—	—	X	—	—	—	ペーパータイプは油交換時に交換	
配管		漏れ	E	E	(E)	E	E	E	E	—	—	—		
冷却水系統	冷却水		圧力	—	E	(E)	E	—	—	E	—	—	—	
		フローサイト	—	—	C	—	—	—	C	—	—	—	—	
	潤滑油冷却器		漏れ	—	E	(E)	E	—	—	W	—	—	—	
			腐食(エレメント)	—	—	—	—	—	—	W	—	—	—	
			劣化(エレメント)	—	—	—	—	—	—	W	—	—	—	
			防蝕亜鉛の消耗	—	—	E	—	—	—	E	—	—	—	
	ドレン抜き	—	—	A	—	—	—	A	—	—	—	漏水の確認		
配管		漏れ	E	E	(E)	E	E	E	E	—	—	—		
	腐食(内部)	—	—	—	—	—	—	—	W	—	—	—		
減速機本体	振付部		基礎ボルト、ナット、架台	—	E	E	E	—	—	E	—	—	—	
	歯車箱		本体損傷	—	E	E	E	—	—	E	—	—	—	
			温度	—	H	M	H	—	—	M	—	—	—	
			振動	—	H	M	H	—	—	M	—	—	—	
多板クラッチ	軸受		摩耗	—	—	—	—	—	—	M	—	—	—	
			温度	—	H	(M)	H	—	—	M	—	—	—	
			振動	—	H	(M)	H	—	—	M	—	—	—	
	クラッチ		摩耗	—	—	—	—	—	—	M	—	—	—	
			作動	—	D	(D)	D	—	—	D	—	—	—	
			作動油ポンプ	リリーフ弁	—	—	—	—	—	—	W	—	—	—
計装機器	軸継手		本体	—	—	E	—	—	—	E	—	—	—	
			音	—	S	(S)	S	—	—	S	—	—	—	
			圧力	—	E	(E)	E	—	—	E	—	—	—	
	センサ類 (温度、圧力、流れ)		配管	—	E	(E)	E	E	E	E	—	—	—	
			磨耗	—	—	E	—	—	—	T	—	—	—	
			締め具合	—	—	T	—	—	—	T	—	—	—	
ゲージ類 (温度、圧力他)		油圧スイッチ作動	—	E	E (M)	—	—	—	X	—	—	—	(M)は導通チェック	
		油温スイッチ作動	—	E	(E)	—	—	—	X	—	—	—		
		フロースイッチ作動	—	E	W (M)	—	—	—	X	—	—	—	(M)は導通チェック	
		温度計指示	—	—	E	—	—	—	E	—	—	—		
		温度計配管	—	—	E	—	—	—	E	—	—	—		
		圧力計指示	—	E	(E)	E	—	—	X	—	—	—		
その他	全般		圧力計零指針	E	E	E	—	—	X	—	—	—		
			圧力計配管	—	—	E	—	—	—	E	—	—	—	
			音	—	S	(S)	—	—	—	S	—	—	—	
	塗装	—	—	—	—	—	—	X	—	—	—			
特記事項														
*1 全般で点検する事項は網掛け部に示す事項である。管理運転では、動作時に異音や配管漏れおよびセンサ類の動作や温度、振動などを確認する。														

点検・整備チェックシート 減速機 (2/2) <待機系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

減速機(2)
(空 冷)

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備										
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定 期 点 検			運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要			
				月点検	年点検	目視点検							
全般	減速機全般		運転に支障のある異常が発生していないかを確認 *1	-	E	-	E	-	-	-	-	異音、配管漏れなどを確認	
潤滑油系統	オイルシール		漏れ	-	E	(E)	-	-	-	X			
	潤滑油		量(質)	E	E	E	E	-	-	X			
			圧力	-	E	(E)	E	-	-	E			
			温度	-	E	(E)	E	-	-	E			
	潤滑油ポンプ		音	-	S	(S)	S	-	-	S			
			リリーフ弁	-	-	-	-	-	-	W			
		本体	-	-	E	-	-	-	E				
潤滑油濾過器		内部清掃	-	-	C	-	-	-	C				
		エレメント	-	-	-	-	-	-	X		ペーパータイプは油交換時に交換		
	配管		漏れ	E	E	(E)	E	E	E				
減速機本体	据付部		基礎ボルト、ナット、架台	-	E	E	E	-	-	E			
	歯車箱		本体損傷	-	E	E	E	-	-	E			
	軸受		温度	-	H	(M)	H	-	-	M			
			振動	-	H	(M)	H	-	-	M			
			摩耗	-	-	-	-	-	-	M			
多板クラッチ	軸受		温度	-	H	(M)	H	-	-	M			
			振動	-	H	(M)	H	-	-	M			
	クラッチ		摩耗	-	-	-	-	-	-	M			
		作動油ポンプ		作動	-	D	(D)	D	-	-	D		
				リリーフ弁	-	-	-	-	-	-	W		
				本体	-	-	E	-	-	-	E		
軸継手	軸継手		音	-	S	(S)	S	-	-	S			
			圧力	-	E	(E)	E	-	-	E			
			配管	-	E	(E)	E	E	-	E			
		摩 耗	-	-	E	-	-	-	M				
		締め具合	-	-	T	-	-	-	T				
計装機器	センサ類 (温度、圧力他)		油圧スイッチ作動	-	E	E (M)	-	-	-	X		(M)は導通チェック	
			油温スイッチ作動	-	E	(E)	-	-	-	X			
	ゲージ類 (温度、圧力他)		温度計指示	-	-	E	-	-	-	E			
			温度計配管	-	-	E	-	-	-	E			
			圧力計指示	-	E	(E)	E	-	-	X			
			圧力計零指針	E	E	E	-	-	-	X			
機付ファン	ファン		圧力計配管	-	-	E	-	-	-	E			
			音	-	S	(S)	S	(s)	-	S			
			損傷	-	-	-	-	-	-	E			
		腐食	-	-	-	-	-	-	E				
	ラジエーター		腐食	-	-	E	-	-	-	E			
その他	全般		漏れ	-	E	E	E	-	-	E			
			音	-	S	(S)	S	(S)	-	S			
			損傷	-	-	-	-	-	-	E			
	腐食	-	-	-	-	-	-	E					
	音	-	S	(S)	-	-	-	S					
	塗装	-	-	-	-	-	-	X					

特記事項
 *1 全般で点検する事項は網掛け部に示す事項である。管理運転では、動作時に異音や配管漏れおよびセンサ類の動作や温度、振動などを確認する。

点検・整備チェックシート 流体継手 <待機系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

流体継手

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置 区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備									
	点検部位	施設機器 コード	点検内容	定 期 点 検			運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要		
				目視点検	管理 運転点検	年点検						
全般	流体継手全般		運転に支障のある異常が発生していないかを確認 *1	—	E	—	E	—	—	—	異音、配管漏れなどを確認	
作 動 油 ・ 潤 滑 油 系 統	オイルシール 油		漏れ	—	E	(E)	—	—	—	X		
			量(質)	E	E	E	E	—	—	X		
			圧力	—	E	(E)	E	—	—	E		
	作動油ポンプ		振動	—	H	H	H	—	—	H		
			作動	—	S	(S)	S	—	—	W		
			配管漏れ	E	E	E	E	E	—	E		
	潤滑油濾過器		内部清掃	—	—	C	—	—	—	C		
			エレメント	—	—	—	—	—	—	X	ペーパータイプは油交換時に交換	
	配管		漏れ	E	E	(E)	E	E	—	E		
	充排切替弁		作動	—	—	(E)	—	—	—	E		
		劣化	—	—	—	—	—	—	X			
		圧力	—	E	(E)	E	E	—	E			
冷 却 水 系 統	冷却水		フローサイト	—	—	C	—	—	—	C		
			油冷却器	—	—	—	—	—	—	W		
	配管		腐食劣化(エレメント)	—	—	E	—	—	—	E		
			防蝕亜鉛の消耗	—	—	—	—	—	—	E		
流 体 継 手 本 体	据付部		漏れ	E	E	(E)	E	E	—	E		
			腐食(内部)	—	—	—	—	—	—	W		
	軸受		基礎ボルト、ナット、架台	—	—	E	E	—	—	E		
			温度	—	H	(M)	H	—	—	M		
			振動	—	H	(M)	H	—	—	M		
	ブレード		摩耗	—	—	—	—	—	—	M		
			状況	—	—	—	—	—	—	E		
	計 装 機 器	センサ類 (圧力、流れ他)		油圧スイッチ作動	—	E	E (M)	—	—	—	X	(M)は導通チェック
				フロースイッチ作動	—	E	W (M)	—	—	—	X	(M)は導通チェック
		ゲージ類 (温度、圧力他)		温度計指示	—	—	E	—	—	—	E	
			温度計配管	—	—	E	—	—	—	E		
その 他	全般		圧力計指示	—	E	(E)	E	—	—	X		
			音	—	S	(S)	—	—	—	S		
		塗装	—	—	—	—	—	—	X			

特記事項

*1 全般で点検する事項は網掛け部に示す事項である。管理運転では、動作時に異音や配管漏れおよびセンサ類の動作や温度、振動などを確認する。

点検・整備チェックシート 系統機器 (1/6) <待機系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

系統機器設備(1)
 (燃料系統)(1)

点検方法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判定基準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点検整備		設備区分 I : 待機系設備								
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定期点検			運転時点検	臨時点検	定期整備	摘要	
				目視点検	管理運転点検	年点検					
全般	燃料系統全般		動作確認 * 1	-	D	-	D	-	-		
			損傷の有無 * 1	-	E	-	E	-	-		
燃料貯油槽(地下タンク)*3	本体上部スラブ		亀裂	-	-	E	-	E	E	(消)	
			崩没	-	-	E	-	E	E	(消)	
			不等沈下	-	-	E	-	E	E	(消)	
	タンク本体		漏洩の有無	-	-	E	-	E	E	(消)	
			通気管	位置固定の良否	-	-	E	-	E	E	(消)
			腐食	-	-	E	-	-	E	(消)	
			損傷	-	-	E	-	E	E	(消)	
			引火防止網の脱落	-	-	E	-	E	E	(消)	
			腐食	-	-	E	-	-	E	(消)	
			目づまり	-	-	E	-	-	E	(消)	
	計量口		蓋の閉鎖状況	-	-	E	-	E	E	(消)機能試験	
			変形	-	-	E	-	E	E	(消)機能試験	
			損傷	-	-	E	-	E	E	(消)機能試験	
			油量(漏れ) * 2	E	E	E	E	E	E	(消)	
	油面計		取付部の緩み	-	-	T	-	T	T	(消)	
			損傷	-	-	E	-	E	E	(消)	
			汚れ	-	-	-	-	-	C	(消)	
			指示状況	-	E	E	E	-	E	(消)	
	漏洩検知管		変形	-	-	E	-	E	E	(消)	
			損傷	-	-	E	-	E	E	(消)	
土砂等の堆積			-	-	-	-	-	E	(消)		
注入口		蓋の開閉状況	-	-	E	-	E	E	(消)		
		変形	-	-	E	-	E	E	(消)		
		損傷	-	-	E	-	E	E	(消)		
注入ロピット		損傷	-	-	E	-	E	E	(消)		
		亀裂	-	-	E	-	E	E	(消)		
		滞油、滞水	-	-	E	-	-	E	(消)		
		土砂等の堆積	-	-	E	-	-	E	(消)		
		油種別表示の有無	-	-	E	-	-	E	(消)		
配管		漏洩の有無	-	-	E	-	E	E	(消)		
		変形	-	-	E	-	E	E	(消)		
		損傷	-	-	E	-	E	E	(消)		
		塗装状況	-	-	E	-	-	E	(消)		
		腐食	-	-	E	-	-	E	(消)		
		固定の適否	-	-	E	-	E	E	(消)		
配管用バルブ		損傷	-	-	E	-	E	E	(消)		
		漏れ	-	-	E	-	E	E	(消)		
		損傷	-	-	E	-	E	E	(消)		
配管用電気防食設備		開閉機能の適否	-	-	D	-	E	D	(消)		
		端子箱の損傷	-	-	E	-	E	E	(消)		
		土砂の堆積	-	-	E	-	-	E	(消)		
接地		端子の緩み	-	-	E	-	E	E	(消)		
		損傷	-	-	E	-	E	E	(消)		
		結合部の緩み	-	-	E	-	-	E	(消)		
標識表示板		接地抵抗値の適否	-	-	M	-	-	M	(消)		
		記載事項の適否	-	-	E	-	-	E	(消)		
		損傷	-	-	E	-	E	E	(消)		
消火器		汚損	-	-	E	-	E	E	(消)		
		位置	-	-	E	-	-	E			
		設置数	-	-	E	-	-	E			
外観的機能の適否		位置	-	-	E	-	E	E			
		設置数	-	-	E	-	-	E			

特記事項
 * 1 致命的機器に該当する場合は実施すること。その内容は網掛け部に示すものである。
 管理運転では、操作することで正常に動作することを確認する。また、管理運転前後には油量や漏れなどの確認を実施する。
 * 2 燃料貯槽については日常量の記録を要する。 * 3 屋外・屋内タンクは地下タンクに準ずる。

点検・整備チェックシート 系統機器 (2/6) <待機系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

系統機器設備(2)
 (燃料系統)(2)

点検方法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判定基準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点検整備		設備区分 I : 待機系設備									
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定期点検			運転時点検	臨時点検	定期整備	摘要		
				目視点検	管理運転点検	年点検						
燃料小出槽	本体		ドレン抜き	-	-	A	-	-	A		(ストレーナ、燃料流量計を含む)	
			漏れ	E	E	E	E	E	E			
			腐食	-	-	E	-	-	E			
			油量	E	E	E	E	E	E			
			内部清掃	-	-	-	-	-	E			
	塗装	-	-	E	-	-	X					
	油面計			取付部の緩み	-	-	T	-	T	T		
				損傷	-	-	E	-	E	E		
				汚れ	-	-	-	-	-	C		
	配管・弁			指示状況	E	E	E	E	-	E		
漏れ				-	-	E	-	E	E	(消)		
腐食				-	-	E	-	-	E	(消)		
劣化				-	-	E	-	-	E	(消)		
燃料移送ポンプ	ポンプ・電動機 (軸継手、接地を含む)		ケーシング内注油	-	-	-	-	-	A			
			漏れ	-	E	E	E	E	E	(消)		
			振動	-	H	(H)	H	-	H	(消)		
			音	-	S	(S)	S	-	S	(消)		
			軸受温度	-	-	(H)	-	-	M			
			圧力計	-	E	(E)	E	-	X	(消)		
			吐出し量	-	-	E	-	-	E			
			回転の滑らかさ	-	H	H	-	-	H			
			固定ボルトの腐食及び緩み	-	-	E	-	-	E	(消)		
			絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)盤にて測定		
			腐食	-	-	E	-	-	E	(消)		
			塗装	-	-	E	-	-	X	(消)		
			全般	-	E	E	E	-	W	(消)		
			軸継手締り具合	-	-	T	-	-	T			
			軸継手カップリングゴムの摩耗	-	-	E	-	-	M			
	囲い・床・ためます・油分離槽			接地線の断線有無	-	-	E	-	E	E	(消)	
				接地取付部の緩み等の有無	-	-	T	-	T	T	(消)	
				接地抵抗	-	-	M	-	-	M	(消)	
				損傷	-	-	E	-	E	E	(消)	
				亀裂	-	-	E	-	E	E	(消)	
建築及び付属設備			滞水、滞油	-	-	E	-	-	E	(消)		
			土砂堆積	-	-	E	-	-	E	(消)		
			屋根・壁・床・防火戸等損傷	-	-	E	-	E	E	(消)		
			換気・排出設備の損傷 機能の適否	-	-	(E)	-	E	E	(消)		
その他			損傷	-	-	E	-	E	E	(消)		
			滞水、滞油	-	-	E	-	-	E	(消)		
			土砂の堆積	-	-	E	-	-	E	(消)		

特記事項

点検・整備チェックシート 系統機器 (3/6) <待機系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

系統機器設備(3)
 (冷却水系統) (1)

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備								
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定 期 点 検			運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要	
				月点検	年点検	目視点検					
全般	冷却水系統全般		動作確認 *1	-	D	-	D	-	-		
			損傷の有無 *1	-	E	-	E	-	-		
管内クーラ	全般		異物のつまり	-	-	E	-	-	E		
			漏れ	-	E	(E)	E	E	E		
			伝熱管腐食	-	-	-	-	-	E		
			伝熱管劣化(エレメント)	-	-	-	-	-	E		
			伝熱管清掃	-	-	-	-	-	C		
			塗装	-	-	-	-	-	X		
クーリングタワー	本体		汚れ	-	-	C	-	-	C		
			ボールタップ	-	-	C	-	-	X		
			配管・弁	漏れ	-	-	E	-	E	E	
電動機			腐食	-	-	E	-	-	E		
			劣化	-	-	E	-	-	E		
			塗装	-	-	E	-	-	X		
			音	-	S	(S)	S	-	S		
水槽類	本体		絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)盤にて測定	
			振動	-	H	(H)	H	-	H		
			塗装	-	-	E	-	-	X		
			腐食	-	-	E	-	-	E		
			劣化	-	-	E	-	-	E		
	液面計			汚れ	-	-	-	-	-	C	
				ドレン抜き	-	-	A	-	-	A	
				取付部の緩み	-	-	T	-	T	T	
				損傷	-	-	E	-	-	E	
				指示状況	E	E	E	E	-	E	
水中ポンプ	ポンプ・電動機		汚れ	-	-	C	-	-	C		
			絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)盤にて測定	
			メカニカルシールの摩耗	-	-	-	-	-	X		
			締切圧力	-	-	(E)	-	-	E		
	配管・弁			塗装	-	-	-	-	-	X	
				水中ケーブルの劣化	-	-	-	-	-	X	
				漏れ	-	-	E	-	-	E	
				腐食	-	-	E	-	-	E	
立軸ポンプ	ポンプ・電動機 (軸継手を含む)		劣化	-	-	E	-	-	E		
			塗装	-	-	E	-	-	X		
			吸込水槽水位の確認	E	E	E	E	-	E		
			潤滑油量	E	E	E	E	-	X		
			振動	-	H	(H)	H	-	H		
			音	-	S	(S)	S	-	S		
			軸受温度	-	H	(H)	H	-	M		
			グランド温度	-	H	(H)	-	-	X		
	配管・弁			締切圧力	-	-	(E)	-	-	E	
				回転の滑らかさ	-	H	H	-	-	H	(自)盤にて測定
				絶縁抵抗	-	-	-	-	-	M	
				全般	E	E	E	E	-	W	
計器			軸継手締り具合	-	-	T	-	-	T		
			軸継手カップリングゴムの摩耗	-	-	E	-	-	M		
			漏れ	-	-	E	-	E	E		
			腐食	-	-	E	-	-	E		
その他			劣化	-	-	E	-	-	E		
			塗装	-	-	E	-	-	X		
その他			圧力計	-	-	E	-	-	X		
			吸込水槽水位の確認	E	E	E	E	-	E		

特記事項
 *1 致命的機器に該当する場合は実施すること。その内容は網掛け部に示すものである。
 管理運転では、操作することで正常に動作することを確認する。また、管理運転前後には潤滑油量などの確認を実施する。

点検・整備チェックシート 系統機器 (4/6) <待機系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

系統機器設備(4)
 (冷却水系統) (2)

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置 区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備							
	点検部位	施設機器 コード	点検内容	定 期 点 検			運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要
				月 点 検	年 点 検	目 視 点 検				
横 軸 ポン プ	ポンプ・電動機 (軸継手を含む)		潤滑油量	E	E	E	E	-	X	
			振動	-	H	(H)	H	-	H	
			音	-	S	(S)	S	-	S	
			軸受温度	-	H	(M)	H	-	M	
			グランド温度	-	H	A	-	-	X	
			締切圧力	-	-	(E)	-	-	E	
			回転の滑らかさ	-	H	H	H	-	H	
			絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)盤にて測定
			全般	E	E	E	E	-	W	
			軸継手締り具合	-	-	T	-	-	T	
	軸継手カップリングゴムの摩耗	-	-	E	-	-	M			
	配管・弁		漏れ	-	-	E	-	E	E	
			腐食	-	-	E	-	-	E	
			劣化	-	-	E	-	-	E	
	計器		塗装	-	-	E	-	-	X	
圧力計			-	-	E	-	-	X		
その他		真空計	-	-	E	-	-	X		
		吸込水槽水位	E	E	E	E	-	E		
オ ー ト ス ト レ ー ナ	本体		呼水状況	-	E	(E)	E	-	E	
			塗装	-	-	E	-	-	X	
			腐食	-	-	E	-	-	W	
			劣化(エレメント)	-	-	-	-	-	X	
			作動	-	E	(E)	E	-	E	
	電動機		汚れ	-	-	C	-	-	C	
			絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)盤にて測定
	逆洗弁		作動	-	E	(E)	E	-	X	
			腐食	-	-	E	-	-	E	
			絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	
	電磁弁		作動	-	E	(E)	E	-	X	
			腐食	-	-	E	-	-	E	
	電動弁		作動	-	E	(E)	E	-	X	
			腐食	-	-	E	-	-	E	
			絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	

特記事項

点検・整備チェックシート 系統機器 (5/6) <待機系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

系統機器設備(5)
 (始動空気系統)

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置 区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備									
	点検部位	施設機器 コード	点検内容	定 期 点 検			運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要		
				月 点 検	年 点 検	目 視 点 検						
全 般	始動空気系統全般		動作確認 *1	-	D	-	D	-	-	-		
			損傷の有無 *1	-	E	-	E	-	-	-		
空 気 圧 縮 機	圧縮機・電動機 (エンジンを含む)		潤滑油量 *2	E	E	E	E	-	-	X		
			冷却水	-	E	E	E	-	-	E	水冷の場合	
			フィルタ	-	-	C	-	-	-	X		
			Vベルト	-	-	A	-	-	-	X		
			アンローダ弁	-	D	A	D	-	-	X		
			安全弁	-	-	A	-	-	-	A		
			振動	-	H	(H)	H	-	-	H		
			音	-	S	(S)	S	-	-	S		
			圧力	-	E	(E)	E	-	-	E		
			充填時間	-	-	M	-	-	-	M		
			自動ON-OFF圧力スイッチ	-	-	E	E	-	-	X		
			絶縁抵抗	-	-	M	-	-	-	M	(自) 盤にて測定	
			全般	-	E	E	E	-	-	W		
			計器	圧力計	-	-	E	-	-	X		
配管・弁	漏れ	-	-	E	-	-	E					
	腐食	-	-	E	-	-	E					
	劣化	-	-	E	-	-	E					
	塗装	-	-	E	-	-	X					
	本体	漏れ	-	-	E	-	-	E				
始 動 空 気 槽	本体	腐食	-	-	E	-	-	E				
		塗装	-	-	E	-	-	X				
		ドレン抜き	-	A	A	A	-	-	A			
		損傷	-	-	E	E	-	-	X	(劣)		
		ふたの締付ボルトの磨耗	-	-	E	-	-	E	(劣)			
	計器	圧力計	-	E	E	-	-	X				
		圧力スイッチ	-	E	(M)	-	-	X				
	配管・弁	漏れ	-	-	E	-	-	E				
		損傷	-	-	E	-	-	E	(劣)			
		腐食	-	-	E	-	-	E				
	塗装	-	-	E	-	-	X					

特記事項

- *1 致命的機器に該当する場合は実施すること。その内容は網掛け部に示すものである。
 管理運転では、操作することで正常に動作することを確認する。また、管理運転前後には潤滑油量などの確認を実施する。
- *2 2年毎に交換。

点検・整備チェックシート 系統機器 (6/6) <待機系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

系統機器設備(6)
 (満水系統)

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置 区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備										
	点検部位	施設機器 コード	点検内容	定 期 点 検			運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要			
				月点検	年点検	目視点検							
全 般	満水系統全般		動作確認 *1	-	D	-	D	-	-	-			
			損傷の有無 *1	-	E	-	E	-	-	-			
真 空 ポ ン プ	ポンプ・電動機 (軸継手を含む)		潤滑油量	E	E	E	E	-	-	X			
			振動	-	H	H	H	-	-	H			
			音	-	S	S	S	-	-	S			
			軸受温度	-	H	M	-	-	-	M			
			グランド温度	-	E	A	-	-	-	X			
			最大真空度	-	-	E	-	-	-	E			
			回転の滑らかさ	-	H	H	-	-	-	H			
			絶縁抵抗	-	-	M	-	-	-	M	(自)盤にて測定		
			真空計	-	-	E	-	-	-	E			
			塗装	-	-	E	-	-	-	E			
			全般	-	E	E	E	-	-	W			
			軸継手締り具合	-	-	T	-	-	-	T			
			軸継手カップリングゴムの摩耗	-	-	E	-	-	-	M			
			配管・弁			漏れ	-	-	E	-	-	E	
						腐食	-	-	E	-	-	E	
劣化	-	-				E	-	-	-	E			
塗装	-	-				E	-	-	-	X			
全般	-	-				E	-	-	-	E			
電 磁 弁	本体		作動	-	E	E	E	-	-	X			
			腐食	-	-	-	-	-	-	E			
			絶縁抵抗	-	-	-	-	-	-	M			
補 給 水 槽	本体		水位	E	E	E	E	-	-	E			
			ボールタップの損傷	-	-	E	-	-	-	X			
			ボールタップの汚れ	-	-	C	-	-	-	C			
			水槽内部の汚れ	-	-	-	-	-	-	C			
			水槽の腐食	-	-	E	-	-	-	E			
			塗装	-	-	E	-	-	X				

特記事項

*1 致命的機器に該当する場合は実施すること。その内容は網掛け部に示すものである。
 管理運転では、操作することで正常に動作することを確認する。また、管理運転前後には潤滑油量などの確認を実施する。

点検・整備チェックシート 自家発電設備(自家発電機盤) <待機系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

自家発電設備(1)
 (自家発電機盤)

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置 区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備								
	点検部位	施設機器 コード	点検内容	定 期 点 検			運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要	
				月 点 検	年 点 検	目 視 点 検					
全 般	自家発電機盤全般		動作確認 * 1	-	D	-	D	-	-	-	
			損傷の有無 * 1	-	E	-	E	-	-	-	-
盤 面			発錆、汚損	-	-	E	-	E	E		
			扉の開閉、施錠	-	-	H	-	H	H		
盤 内			汚損、異物、変色	E	E	E	-	E	E		
			温度、湿度	-	-	(M)	-	M	M		
			絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)	
			接地抵抗	-	-	M	-	-	M		
盤 内 器 具			取付状態	-	-	E	E	E	E		
			配線状態	-	-	E	E	E	E		
			端子 端子台の状態	-	-	E	-	E	E		
			端子符号の脱落	-	-	E	-	-	E		
操 作 ス イ ッ チ			動作確認	-	H	(H)	H	-	H	(自)	
			取付状態、汚損	-	-	E	-	-	E		
指 示 計			動作確認(零点及び指示)	-	E	A (2年毎)	E	-	A	(自)	
			取付状態、汚損	-	-	E	-	-	A		
表 示 器 ・ 表 示 灯			点灯状態	-	E	(E)	E	E	E	(自)	
			取付状態、汚損	-	-	E	-	-	E		
保 護 装 置			保護リレーの動作	-	-	D (2年毎)	-	-	D	(自)	
			警報装置の異常	-	E	E	-	E	E	(自)	
			センサの動作	-	-	D	-	-	D		
遮 断 器			遮断器の汚損、発錆	E	E	E	-	E	E	(自)	
			端子ひび割れ(外部)	E	E	E	-	E	E	(自)	
			遮断器の油洩れ(外部)	E	E	E	-	E	E	(自)油入りの場合	
			接触子の接触面状態	-	-	E	-	-	E	(自)	
			油量、油の汚れ	-	-	E	-	-	E	(自)油入りの場合	
			遮断動作速度	-	-	M (3年毎)	-	-	M	(自)	
			絶縁油耐圧	-	-	-	-	-	M	(自)油入りの場合	
真空度	-	-	-	-	-	M	(自)真空式の場合				
配線・漏電用遮断器			開閉動作	-	-	(D)	-	D	(自)		
計 器 用 変 成 器			発錆、汚損	-	-	E	-	E	E	(自)	
			過熱	-	H	H	-	H	H	(自)	
			音響	-	S	S		S	S		
AVR			設定器・リレー等	-	-	(D)	-	-	D	(自)	
全 般			接触部の確認	-	-	(D)	-	-	-		
			動作試験	-	D	(D)	-	-	-	(自)	

特記事項

管理運転では、操作することで正常に動作することを確認する。また、管理運転前後には取付状態や汚損などの確認を実施する。

点検・整備チェックシート 自家発電設備(ディーゼル機関) (1/5) <待機系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

**自家発電設備(2)
 (ディーゼル機関)(1)**

点検方法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S			聴覚

判定基準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点検整備		設備区分 I : 待機系設備									
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定期点検			運転時点検	臨時点検	定期整備	摘要		
				月点検	年点検	目視点検						
全般	ディーゼル機関全般		運転に支障のある異常が発生していないかを確認 *1	-	E	-	E	-	-	-	-	異音、漏れ、センサ動作などを確認
機 本 体 系	台板		締まり具合、損傷	-	E	E	E	-	-	-	-	
	シリンダヘッド		ヘッドガスケットの劣化	-	-	-	-	-	-	X	-	
			弁の摩耗パネのへたり	-	-	-	-	-	-	-	W	-
			タペットの間隙	-	-	A	-	-	-	-	A	ピストン圧縮・TOPでチェック
	クランク室		シリンダライナの摩耗	-	-	-	-	-	-	-	M	-
			コンロッドメタルの摩耗	-	-	-	-	-	-	-	M	-
			クランクシャフトの摩耗	-	-	-	-	-	-	-	M	-
			クランクシャフトメタルの摩耗	-	-	-	-	-	-	-	M	(連結棒本体、歯車、ピストンブッシュを含む)
			ボルトの緩み	-	-	T	-	-	-	-	T	-
			カム軸の摩耗	-	-	-	-	-	-	-	M	-
	過給機		フィルタの状況	-	-	E	-	-	-	-	X	-
			振動	-	H	(H)	H	-	-	-	H	-
			音	-	S	(S)	S	-	-	-	S	-
			油量 *2	-	E	E	E	-	-	-	X	油ダメ付のみ
	ピストン		本体	-	-	-	-	-	-	-	W	-
		ピストンの摩耗	-	-	-	-	-	-	-	M	(ピストンピン、排気弁装置部、排気弁本体含む)	
ピストンリング		ピストンリング摩耗	-	-	-	-	-	-	-	M	(ピストンピン、排気弁装置部、排気弁本体含む)	
		調整	-	-	-	-	-	-	-	W	(ガバナパネ、速度設定ハンドル、軸受け、潤滑油、燃料ラック、駆動歯車を含む)	
外部軸受		油量	E	E	E	E	-	-	-	X	-	
		振動	-	H	(H)	H	-	-	-	M	(フライホイール含む)	
		温度	-	H	(H)	H	-	-	-	M	-	
		摩耗	-	-	-	-	-	-	-	M	-	
遠心クラッチ		動作確認	-	E	(E)	E	-	-	-	E	-	
		油量	E	E	E	E	-	-	-	X	給油式の場合	
		磨耗	-	-	-	-	-	-	-	M	-	
内部潤滑油ポンプ		振動	-	H	(H)	H	-	-	-	H	-	
		作動	-	S	(S)	S	-	-	-	W	(潤滑油系統含む)	
		配管漏れ	-	E	E	E	E	E	E	E	-	
初期潤滑油ポンプ		作動	-	S	(S)	S	-	-	-	W	-	
		配管漏れ	E	E	E	E	E	E	E	E	(圧力調整弁、電動機含む)	
		絶縁抵抗	-	-	M	-	-	-	-	M	-	
機関オイルパン		振動	-	H	(H)	H	-	-	-	H	-	
		オイルパン油量 *2	E	E	E	E	-	-	-	X	油交換時はタンク内清掃のこと	
潤滑油濾過器		オイルパン内腐食	-	-	-	-	-	-	-	E	-	
		性状分析	-	-	M	-	-	-	-	M	-	
潤滑油濾過器		内部清掃	-	-	C	-	-	-	-	C	-	
		エレメント	-	-	-	-	-	-	-	X	ペーパータイプは油交換時に交換	
クランク軸		固着(ターニング)	-	D	-	-	-	-	-	-	(歯車、軸受けを含む)	
		潤滑油冷却器										
潤滑油冷却器		漏れ	E	E	(E)	E	-	-	-	W	-	
		腐食(エレメント)	-	-	-	-	-	-	-	W	-	
		劣化(エレメント)	-	-	-	-	-	-	-	W	-	
		防蝕亜鉛の消耗	-	-	E	-	-	-	-	E	-	
	ドレン	-	-	A	-	-	-	-	A	漏水の確認		

特記事項

*1 全般で点検する事項は網掛け部に示す事項である。
 管理運転では、動作時に振動や異音および油漏れやセンサ類の動作などを確認する。また、管理運転前後には油量や配管漏れなどの確認を実施する。

*2 2年毎に交換。

点検・整備チェックシート 自家発電設備(ディーゼル機関) (2/5) <待機系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

**自家発電設備(3)
 (ディーゼル機関)(2)**

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備							摘 要	
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定 期 点 検		運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備			
				月 点 検	年 点 検						
				目視点検	管理 運転点検						
燃 料 系 統	燃料噴射ポンプ		ラックの動作、継手	—	H	H	H	—	H	(空気混入、タペット、カム軸、燃料ラック、吸気弁本体を含む)	
			エア抜き	—	—	A	—	—	A		
			ブランジャ・吐出し弁劣化	—	—	—	—	—	W		
			漏れ	—	E	(E)	E	—	E		
			油量 * 1	—	E	E	E	—	X		油ダメ付のみ
			異物混入	—	—	E	—	—	—		
			突始め調整ボルト緩み	—	—	T	E	—	T		
	噴射時期	—	—	M	—	—	M				
	燃料濾過器		内部清掃	—	—	C	—	—	—	水分チェック	
			エア抜き	—	—	A	—	—	A		
			エレメント	—	—	E	—	—	X	付着物点検、ペーパータイプは2年毎に交換	
	燃料弁		噴霧テスト	—	—	A	—	—	A	噴口詰り、後タレチェック	
摩耗			—	—	—	—	—	W			
高圧管		漏れ	—	E	(E)	E	—	E			
		管内エア抜き	—	—	A	—	—	A			
燃料供給ポンプ 配管		漏れ(亀裂)	—	E	(E)	E	E	X			
		振動	—	H	(H)	H	—	H			
		摩耗	—	—	—	—	—	W			
		腐食	—	—	E	—	—	E			
冷 却 水 系 統	内部冷却水ポンプ		漏れ	E	E	(E)	E	E			
			振動	—	H	(H)	H	—	H		
			ドレン量	—	—	E	—	—	E	多ければ測定	
			振動	—	H	(H)	H	—	H		
			摩耗、劣化	—	—	—	—	—	W		
			配管漏れ	—	E	(E)	E	E	E		
			配管腐食	—	—	—	—	—	W		
温調弁		作動	—	E	(E)	E	—	W			
		漏れ	—	E	(E)	E	—	E			
空 気 系 統	水質検査		水質 * 2	—	—	—	—	—	M		
			作動	—	E	(E)	E	—	W		
			漏れ	—	E	(E)	E	—	E		
			配管劣化	—	—	E	—	—	E		
			配管漏れ	—	E	E	E	E	E		
始 動 系 統	分配弁・塞止弁・操縦弁		配管腐食	—	—	E	—	—	E		
			作動	—	E	(E)	E	—	X	30k用電磁弁は年点検で分解	
			劣化	—	—	E	—	—	X		
始 動 系 統	電磁弁・減圧弁		エア漏れ	—	E	E	E	—	X		
			エア漏れ * 3	—	H	(H)	H	—	H	始動15分後接続配管にて	
			動作確認	—	—	W	—	—	W	機関装着後弁棒動き確認	
			TPO始動(エアラン)	—	—	D	—	—	D	全シリンダ	
始 動 系 統	停止用エアピストン		作動	—	D	W	D	—	W		
			空気漏れ	—	E	(E)	E	—	E		

特記事項
 * 1 2年毎に交換。
 * 2 不凍液、腐食防止剤を使用している場合の濃度管理は1年毎。
 * 3 高温変色している場合は火傷に注意すること。

点検・整備チェックシート 自家発電設備(ディーゼル機関) (3/5) <待機系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

**自家発電設備(4)
(ディーゼル機関)(3)**

点検方法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判定基準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点検整備		設備区分 I : 待機系設備									
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定期点検			運転時点検	臨時点検	定期整備	摘要		
				月点検	年点検	目視点検						
電気始動系統	セルモータ		ブラシの状態	—	—	E	—	—	X			
			作動	—	E	(E)	—	—	W			
			劣化	—	—	E	—	—	E			
	予熱栓		作動	—	E	(E)	—	—	X	付属の場合		
			劣化	—	E	E	—	—	X	付属の場合		
	電磁スイッチ		作動	—	E	(E)	—	—	W	(ケーブル、切替開閉器、操作開閉器、補助継電器、限時継電器、制御電源、配線用遮断器を含む)		
			劣化	—	—	E	—	—	E			
	停止ソレノイド		作動	—	D	(D)	D	—	D			
			劣化	—	—	E	—	—	E			
	計装器	センサ類 (温度、圧力、流れ)		水温スイッチ作動	—	E	M	—	—	X		
油温スイッチ作動				—	E	(E)	—	—	X			
油圧スイッチ作動				—	E	M	—	—	X			
空気圧スイッチ作動				—	E	(E)	—	—	X			
フロースイッチ作動				—	E	W (M)	—	—	X			
速度スイッチ作動				—	E	A	—	—	X			
ゲージ類 (温度、圧力、回転他)					冷却水温度計指示	—	E	(E)	E	—	E	
潤滑油温度計指示	—	E	(E)		E	—	E					
排気温度計指示	—	E	(E)		E	—	E	バラツキチェック				
冷却水圧力計指示	—	E	(E)		E	—	X					
冷却水圧力計の零指針	E	E	E		—	—	X					
潤滑油圧力計指示	—	E	(E)		E	—	X					
潤滑油圧力計の零指針	E	E	E		—	—	X					
回転計指示	—	E	(E)	E	—	M	変動チェック					
消音器・排気管	消音器		腐食	—	—	E	—	—	E			
			劣化	—	—	E	—	—	E			
			漏れ	—	E	(E)	E	—	E			
			ドレン抜き	—	—	A	—	—	A			
ラジエータ	排気管		腐食	—	—	E	—	—	E			
			劣化	—	—	E	—	—	E			
			漏れ	—	E	(E)	E	—	E			
			排気口の閉塞	—	—	E	—	—	E			
冷却装置	ラジエータ		水量	—	E	E	E	—	E			
			漏れ	—	E	E	E	—	E			
			キャップ耐圧	—	E	(E)	E	—	X	圧力キャップの場合		
			劣化	—	—	E	—	—	E			
			ホース劣化	—	—	H	—	—	X			
			ファンベルト	—	E	E	—	—	X	ベルト駆動の場合		
清水冷却器	清水冷却器		漏れ	—	E	(E)	E	—	W			
			腐食(エレメント)	—	—	—	—	—	W			
			劣化(エレメント)	—	—	—	—	—	W			
			防蝕亜鉛の消耗	—	—	E	—	—	E			
空気冷却器	空気冷却器		腐食、劣化	—	—	—	—	—	W			
			ドレン	—	E	(E)	E	—	E			
その他	全般		塗装	—	—	—	—	—	X			
特記事項												

点検・整備チェックシート 自家発電設備(ディーゼル機関) (4/5) <待機系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

**自家発電設備(5)
 (ディーゼル機関)(4)**

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備									
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定 期 点 検				運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要	
				月 点 検		年 点 検						
				目視点検	管理運転点検							
作業準備及び組立	作業準備		アイソレーションの確認	-	-	-	-	-	-	E		
			弁状態の確認	-	-	-	-	-	-	E		
			電源の確認	-	-	-	-	-	-	E		
			取替部品の確認	-	-	-	-	-	-	E		
	分解前作業		デフレクション計測	-	-	-	-	-	-	M		
			水抜きの確認	-	-	-	-	-	-	E		
			残油なしの確認	-	-	-	-	-	-	E		
			LO・FOタンク弁閉の確認	-	-	-	-	-	-	H		
	分解点検・手入れ・組立		始動空気槽元弁閉の確認	-	-	-	-	-	-	H		
			主軸受	-	-	-	-	-	-	W	代表の主軸受1ヶ所のみ	
		連接棒	-	-	-	-	-	-	W			
		給・排気弁	-	-	-	-	-	-	W			
		シリンダ安全弁	-	-	-	-	-	-	X			
		給・排気レバー	-	-	-	-	-	-	W			
整備後の確認		動弁装置	-	-	-	-	-	-	W			
	整備後の確認		デフレクション計測	-	-	-	-	-	-	M		
			オイルパン油量の確認	-	-	-	-	-	-	E		
			LO補給タンク油量の確認	-	-	-	-	-	-	E		
			過給機潤滑油量の確認	-	-	-	-	-	-	E		
			调速機潤滑油量の確認	-	-	-	-	-	-	E		
			動弁装置への注油	-	-	-	-	-	-	E		
			シリンダヘッドの異物混入確認	-	-	-	-	-	-	E		
			クランクケースの異物混入確認	-	-	-	-	-	-	E		
			継手部締付状況の確認	-	-	-	-	-	-	E		
			冷却水通水、エア抜き	-	-	-	-	-	-	A		
	整備後の運転準備		FO通油、FO噴射ポンプのエア抜き	-	-	-	-	-	-	A		
			シリンダヘッド内の潤滑油量の確認	-	-	-	-	-	-	E		
			カム・ピストンメタル部のターニング装置の注油	-	-	-	-	-	-	E		
		グリスアップ	-	-	-	-	-	-	A			
		ガバナリング注油	-	-	-	-	-	-	A			
		始動空気槽の充気	-	-	-	-	-	-	A			
		各部漏れなしの確認	-	-	-	-	-	-	E			
		アイソレーション解除の確認	-	-	-	-	-	-	E			
整備後の運転		ターニングエアラン	-	-	-	-	-	-	A	LOプライミングポンプ運転		
		始動状況確認	-	-	-	-	-	-	D			
		低速摺合運転	-	-	-	-	-	-	D			
		摺合運転	-	-	-	-	-	-	D			
		各部漏れなしの確認	-	-	-	-	-	-	E			
		発熱状況の確認	-	-	-	-	-	-	H	内部点検		
		注油状況の確認	-	-	-	-	-	-	E	内部点検		
		ライナ摺動部状況の確認	-	-	-	-	-	-	E	内部点検		
		各部締付の確認	-	-	-	-	-	-	E	内部点検		

特記事項

点検・整備チェックシート 自家発電設備(ディーゼル機関) (5/5) <待機系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

**自家発電設備(6)
 (ディーゼル機関)(5)**

点検方法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判定基準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点検整備		設備区分 I : 待機系設備									
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定期点検			運転時点検	臨時点検	定期整備	摘要		
				月点検		年点検						
				目視点検	管理運転点検							
運 転 状 況	運転状況		音	-	S	(S)		S	-		S	
			排気色	-	E	(E)		E	-		E	
			ミストの状況	-	E	(E)		E	-		E	
			給気管ドレン抜き	-	A	(A)		A	-		A	
			冷却水管エア抜き	-	A	(A)		A	-		A	
			過給機停止所要時間	-	-	(M)		-	-		M	
			燃料消費量	-	-	-		-	-		M	
			発熱	-	-	(H)		H	-		H	各ポンプ軸受部、クランクケース等
			ラック目盛	-	M	(M)		M	-		M	全シリンダ
			振動	-	H	(H)		H	-		M	高圧配管、過給機等
況	保護回路による機関の停止確認		断水	-	-	D		-	-		D	
			冷却水温	-	-	D		-	-		M	
			潤滑油圧	-	-	D		-	-		M	
			過速度	-	-	D		-	-		D	単独運転にて
運 転 後 の 確 認	運転後の確認		潤滑油プライミングポンプ運転	-	E	E		E	-		E	
			ターニングによる燃料ガスの排出	-	A	A		A	-		A	2回転またはエアラン運転後
			クランクケース内軸受	-	-	H		H	-		M	

特記事項

点検・整備チェックシート 自家発電設備(ガスタービン)(1/4) <待機系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

**自家発電設備(7)
(ガスタービン)(1)**

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S			聴覚

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備										
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定 期 点 検		運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要				
				月 点 検	年 点 検								
全般	ガスタービン全般		運転に支障のある異常が発生していないかを確認 *1	—	E	—	—	—	異音、油漏れ、センサ動作などを確認				
パッケージ及び外観	パッケージ		表示灯の点灯	E	E	E	—	—	E				
			給気取入口の閉塞有無	E	E	E	—	—	E				
			機器配管の異常な変形	E	E	E	—	—	E				
			発錆	E	E	E	—	—	E				
			燃料漏れ	E	E	E	—	—	E				
			潤滑油漏れ	E	E	E	—	—	E				
			主要機器ボルト緩み	—	—	T	—	—	T				
圧縮機部			ケース割れ、変形	—	—	—	—	—	E				
			静翼割れ、摩耗	—	—	—	—	—	E				
			動翼割れ、変形、摩耗	—	—	—	—	—	E				
			ディスク割れ、摩耗	—	—	—	—	—	E				
			インペラ割れ、摩耗	—	—	—	—	—	E				
			ブリード弁汚れ、損傷	—	—	—	—	—	O				
			軸受摩耗	—	—	—	—	—	E				
			軸受シール変形、摩耗	—	—	—	—	—	E				
			圧縮機タービン部			ケース割れ、変形	—	—	E	—	—	E *2	
						静翼の割れ、摩耗	—	—	E	—	—	E *2	
動翼割れ、変形、摩耗	—	—				E	—	—	E *2				
ディスク割れ、摩耗	—	—				E	—	—	E *2				
軸受摩耗	—	—				—	—	—	E				
燃焼器部			軸受シール変形、摩耗	—	—	—	—	—	E				
			ライナ汚れ、変形、割れ	—	—	E	—	—	O *2				
			出口ダクト変形、割れ	—	—	E	—	—	E *2				
			燃料ノズル汚れ、詰り	—	—	O *3	—	—	O				
			軸受摩耗	—	—	—	—	—	E				
出力タービン部			軸受シール変形、摩耗	—	—	—	—	—	E				
			ケース割れ、変形	—	—	E	—	—	E				
			静翼の割れ、摩耗	—	—	E	—	—	E *2				
			動翼割れ、変形、摩耗	—	—	E	—	—	E *2				
			ディスク割れ、摩耗	—	—	—	—	—	E				
			軸受摩耗	—	—	—	—	—	E				
			軸受シール変形、摩耗	—	—	—	—	—	E				
排気ケーシング部			ケース割れ、変形	—	—	E	—	—	E				
			歯車割れ、変形	—	—	—	—	—	E				
			軸変形、摩耗	—	—	—	—	—	E	(各軸を含む)			
			軸受摩耗	—	—	—	—	—	E				
減速機部			軸受シール変形、摩耗	—	—	—	—	—	E				
			ケース割れ、変形	—	—	E	—	—	E				
			歯車割れ、変形	—	—	E	—	—	E				
			軸変形、摩耗	—	—	—	—	—	E	(各歯車、軸を含む)			
			軸受摩耗	—	—	—	—	—	E				
			軸受シール変形、摩耗	—	—	—	—	—	E				
			軸継手		ボルト緩みの有無	—	—	T	—	—	T		
			ゴム劣化		—	—	E	—	—	X			
ゴム汚損	—	—	E		—	—	E						
芯狂い	—	—	—		—	—	M						
ギヤCPパネ、またはダイヤフラムCP			軸継手	—	E	E	—	—	X				
			締まり具合	—	—	T	—	—	T				
			摩耗	—	—	E	—	—	E				
			変形、クラック	—	—	E	—	—	E				

特記事項

ガスタービンは、航空機転用型、産業用型等によって点検・整備項目が異なる場合があるため、点検・整備に当たっては各一の取扱説明書を参考にし決定する。

*1 全般で点検する事項は網掛け部に示す事項である。

*2 軽油及び灯油は5年で整備を実施。A重油の場合は運転時間300時間、起動回数150回、5年のいずれか短い時間で実施。

*3 軽油及び灯油は年点検で実施。A重油の場合は運転時間100時間、起動回数50回で実施。

点検・整備チェックシート 自家発電設備(ガスタービン)(2/4) <待機系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

**自家発電設備(8)
(ガスタービン)(2)**

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備								
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定 期 点 検			運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要	
				目視点検	管理 運転点検	年点検					
電気始動装置	セルモータ		作動	—	E	(E)	E	—	E		
			摩耗	—	—	—	—	—	W	ピニオン歯車部	
			劣化	—	—	—	—	—	W		
			ブラシの状態	—	—	E	—	—	X		
セルモータ電磁スイッチ			作動	—	E	(E)	E	—	E		
			劣化	—	—	—	—	—	W		
			作動	—	E	(E)	E	—	E		
			劣化	—	—	—	—	—	W		
空気始動装置	エアモータ		作動	—	E	(E)	E	—	E		
			焼付	—	E	(E)	E	—	W		
			摩耗	—	—	—	—	—	W		
			腐食	—	—	—	—	—	W		
			かみ合わせ	—	—	—	—	—	W		
	オイル (エアモータ自動給油用)			保油量	—	E	E	E	—	E	
				注油量	—	E	(E)	E	—	E	
	安全弁 起動弁ユニット			作動圧力の確認	—	—	—	—	—	E	
				作動	—	E	(E)	E	—	E	
				フィルタの汚れ	—	—	C	—	—	C	
配管			ダイヤフラム	—	—	D	—	—	X		
			腐食	—	—	E	—	—	E		
			漏れ	—	E	(E)	E	E	E		
油圧始動装置	作動油タンク		油量	E	E	E	E	—	E		
			エレメントの汚れ	—	—	E	—	—	X		
	作動油フィルタ			性状分析	—	—	M	—	—	X	
				発熱	—	—	(H)	—	—	H	
	作動油ポンプ・モータ			オイルシール漏れ	—	—	—	—	—	X	
				ケーシング内注油	—	—	—	—	—	A	
				振動	—	H	(H)	H	—	H	
				軸受温度	—	—	H	—	—	M	
				絶縁抵抗	—	—	M	—	—	M	
	油圧モータ			軸受注油	—	—	E	—	X		
配管・付属品			漏れ	E	E	E	E	E	E		
			機能確認	—	E	(E)	—	—	E		
ガスタービン制御盤	制御装置		接地抵抗	—	—	M	—	—	M		
			絶縁抵抗	—	—	M	—	—	M	弱電機器は絶縁チェック禁止のものがあるので注意	
			作動確認	—	E	(E)	—	—	E		
			警報、故障の確認	—	—	E	—	—	E		
			表示灯の確認	—	E	(E)	—	—	E		
			指示計の確認	—	E	A	—	—	A		
バックアップ制御装置	バックアップ制御装置		接地抵抗	—	—	M	—	—	M		
			絶縁抵抗	—	—	M	—	—	M	弱電機器は絶縁チェック禁止のものがあるので注意	
			作動確認	—	—	E	—	—	E		
			警報、故障の確認	—	—	E	—	—	E		
			表示灯の確認	—	—	E	—	—	E		
			指示計の確認	—	—	A	—	—	A		
保護回路 (機関停止確認)			潤滑油圧低下	—	—	D	—	—	D	模擬信号にて	
			潤滑油温度高	—	—	D	—	—	D	模擬信号にて	
			排気温度高	—	—	D	—	—	D	模擬信号にて	
			始動渋滞	—	—	D	—	—	D	模擬信号にて	
			過速度	—	—	D	—	—	D	模擬信号にて	

特記事項

ガスタービンは、航空機転用型、産業用型等によって点検・整備項目が異なる場合があるため、点検・整備に当たっては各一の取扱説明書を参考にし決定する。
 ガスタービンは、航空機転用型、産業用型等によって点検・整備項目が異なる場合があるため、点検・整備に当たっては各一の取扱説明書を参考にし決定する。

点検・整備チェックシート 自家発電設備(ガスタービン)(3/4) <待機系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

**自家発電設備(9)
 (ガスタービン)(3)**

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置 区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備							
	点検部位	施設機器 コード	点検内容	定 期 点 検			運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要
				月点検	年点検	目視点検				
潤 滑 油 系 統	潤滑油ポンプ		発熱	—	—	(H)	H	—	H	
			オイルシール漏れ	—	E	(E)	E	—	X	
			振動	—	H	(H)	H	—	H	
			音	—	S	(S)	S	—	S	
			配管漏れ	E	E	(E)	E	E	E	
	初期潤滑油ポンプ		発熱	—	—	(H)	—	—	H	立軸ガスタービン
			オイルシール漏れ	—	E	(E)	—	—	X	立軸ガスタービン
			振動	—	H	(H)	—	—	H	立軸ガスタービン
			音	—	S	(S)	—	—	S	立軸ガスタービン
			絶縁抵抗	—	—	—	—	—	M	立軸ガスタービン
	潤滑油濾過器		エレメント汚れ	—	—	E	—	—	X	
			潤滑油冷却器	汚れ	—	—	C	—	—	C
調整弁		漏れ	—	E	E	—	—	E		
		保持圧力の確認	—	—	E	—	—	D		
クーラファン		汚れ	—	—	E	—	—	C		
		振動	—	H	(H)	H	—	H		
		音	—	S	(S)	S	—	S		
潤滑油		性状分析	—	—	M	—	—	X		
燃 料 系 統	燃料制御装置(弁)		レバー等の動き	—	—	H	—	—	H	
			漏れ	E	—	E	—	—	E	
	燃料ポンプ		発熱	—	—	(H)	H	—	H	
			オイルシール漏れ	—	E	(E)	E	—	X	
			振動	—	H	(H)	H	—	H	
			音	—	S	(S)	S	—	S	
	電磁弁		作動	—	E	(E)	E	—	X	
			漏れ	—	E	E	—	—	E	
	配管		腐食	—	—	E	—	—	E	
			漏れ	E	E	(E)	E	E	E	
			振動	—	H	(H)	H	—	H	
	燃料濾過器		エレメントの汚れ	—	—	E	—	—	X	
高圧フィルタ		エレメントの汚れ	—	—	E	—	—	X		
点火栓		スパークの確認	—	—	D	—	—	E		
		清掃	—	—	C	—	—	X		
エキサイタ		スパークの確認	—	—	D	—	—	X		
安全弁		作動圧力	—	—	M	—	—	M		
燃料配管ヒータ		作動確認	—	H	H	—	—	H		
エアアシスト圧縮機		作動	—	E	(E)	E	—	X		
		振動	—	H	(H)	H	—	M		
		音	—	S	(S)	S	—	S		

特記事項

ガスタービンは、航空機転用型、産業用型等によって点検・整備項目が異なる場合があるため、点検・整備に当たっては各一の取扱説明書等を参考にし決定する。

点検・整備チェックシート 自家発電設備(ガスタービン)(4/4) <待機系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

**自家発電設備(10)
(ガスタービン)(4)**

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備									
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定 期 点 検			運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要		
				月点検	年点検	目視点検						
計 装 機 器	センサ類 (温度、圧力、回転)		潤滑油圧カススイッチ作動	-	E	M	-	-	X			
			潤滑油温度センサ作動	-	-	E	-	-	E			
			温度センサ劣化	-	-	-	-	-	X			
			潤滑油温度スイッチ作動	-	-	M	-	-	X			
			回転速度ピックアップ抵抗測定	-	-	M	-	-	M			
			同上、ギャップ計測	-	-	-	-	-	M			
			排気温度センサ	-	-	M	-	-	X			
			絶縁抵抗測定	-	-	-	-	-				
			吸込フィルタ差圧計確認	-	-	M	-	-	M			
			速度変換器特性計測	-	-	M	-	-	M			
	温度変換器特性計測	-	-	M	-	-	M					
	指示計		圧力計零指針	E	E	E	-	-	X			
			温度計指示	-	E	E	-	-	A			
			差圧計零指針	-	-	E	-	-	X			
回転速度指示計零指針			-	-	E	-	-	A				
吸 気 ・ 排 気 系 統	換気ファン		振動	-	H	(H)	H	-	H			
			音	-	S	(S)	S	-	S			
	吸気フィルタ		エレメント汚れ	-	-	E	-	-	X	差圧過大で交換		
			腐食	-	-	E	-	-	E			
	排気ダクト		劣化	-	-	E	-	-	E			
			漏れ	-	E	(E)	E	-	E			
排気消音器		腐食	-	-	E	-	-	E				
		劣化	-	-	E	-	-	E				
		漏れ	-	E	(E)	E	-	E				
その他	全般		塗装	-	-	-	-	-	X			
運 転 状 況	運転状況		振動	-	H	(H)	H	-	M			
			始動時間	-	M	(M)	-	-	M			
			停止時間	-	M	(M)	-	-	M			
			回転速度	-	E	(E)	E	-	E			
			排気温度	-	E	(E)	E	-	E			
			潤滑油温	-	E	(E)	E	-	E			
			潤滑油圧	-	E	(E)	E	-	E			
			圧縮機吐出し圧力	-	E	(E)	E	-	E			
			吸気温度	-	E	(E)	E	-	M			
			始動回数計	-	-	E	-	-	E	累積		
			運転時間計	-	-	E	-	-	E	累積		
			燃料消費量	-	-	-	-	-	M			

特記事項

ガスタービンは、航空機転用型、産業用型等によって点検・整備項目が異なる場合があるため、点検・整備に当たっては各一の取扱説明書等を参考にし決定する。

点検・整備チェックシート 自家発電設備(発電機) <待機系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

自家発電設備(11)
 (発電機)

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備										
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定期点検			運転時点検	臨時点検	定期整備	摘 要			
				月点検	年点検	目視点検							
全般	発電機全般		運転に支障のある異常が発生していないかを確認 *1	-	E	-	-	E	-	-	-	-	異音、温度、振動などを確認
	発電機本体		絶縁抵抗	-	-	M	-	-	-	M	(自)盤にて測定		
発電機			接地抵抗	-	-	M	-	-	-	M	(自)		
			音	-	S	(S)	-	-	-	S	(自)		
			固定子劣化	-	-	-	-	-	-	W	(自)		
			回転子劣化	-	-	-	-	-	-	W	(自)		
			通風装置	-	-	-	-	-	-	W	(自)		
			フレーム・ブラケット各部の変形、錆の有無	E	E	E	-	-	-	E	(自)		
			カップリング・基礎締付ボルトの緩み	E	E	E	-	-	-	E	(自)		
			保護カバー通風口の状態	E	E	E	-	-	-	E	(自)		
			塵埃、油等の付着の有無	E	E	E	-	-	-	E	(自)		
			絶縁診断	-	-	-	-	-	-	M	(自)3KV以上の発電機		
		センサ類		温度スイッチ	-	-	D	-	-	-	X	(自)	
			温度計等付属品の取付状態	-	-	E	-	-	-	E	(自)		
		軸受		温度	-	H	(M)	-	-	-	M	(自)	
			振動	-	H	(H)	-	-	-	H	(自)		
			油量	E	E	E	-	-	-	X			
			摩耗	-	-	-	-	-	-	M			
		ブラシ		摩耗	-	E	E	-	-	-	X	(自)	
		押しバネの状態	-	-	H	-	-	-	H				
		火花の状況	-	E	E	-	-	-	E				
	スリップリング		摩耗	-	E	E	-	-	-	X	(自)		
		荒れ	-	E	E	-	-	-	E				
		汚れ	-	E	C	-	-	-	C				
	端子		口出線の劣化、汚損、損傷の有無	-	-	E	-	-	-	E	(自)		
		端子箱・保護カバーの取付状態	-	-	E	-	-	-	E	(自)			
		接続部・ケーブルヘッド絶縁処理の状態	-	-	E	-	-	-	E	(自)			
その他	全般		塗装	-	-	-	-	-	-	X			

特記事項

*1 致命的機器に該当する場合は実施すること。その内容は網掛け部に示すものである。
 管理運転では、動作時に異音やブラシの火花の状態や温度、振動などを確認する。また、管理運転前後には油量やブラシの摩耗量などの確認を実施する。

点検・整備チェックシート 電源設備(1/6) <待機系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

電源設備(1)
 (高圧受変電)(1)

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、早急に対応すべき状態

装置区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備										
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定 期 点 検			運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要			
				月点検	年点検	目視点検							
全般	電源設備全般		動作確認 * 1	-	D	-	D	-	-				
			損傷の有無 * 1	-	E	-	E	-	-				
受電部	引込柱		汚損、ひび割れ	E	E	E	-	E	E				
			傾斜	E	E	E	-	E	E				
			腕金発錆、変形、腐食	E	E	E	-	E	E				
			碍子の汚損、ひび割れ	E	E	E	-	E	E				
			玉碍子の破損	E	E	E	-	E	E				
			支持クリップの脱落	-	-	E	-	E	E				
			支持の緩み	-	-	H	-	H	H				
	電線・支持物			電線の高さ及び他工作物と樹木との離隔距離	-	-	E	-	E	E	(自)		
				標識・保護柵の状況	-	-	E	-	E	E	(自)		
				支線グリップの脱落	-	-	E	-	E	E	(自)		
ケーブル			電柱・腕木・碍子・支線	-	-	E	-	E	E	(自)			
			保護柵等の損傷、腐食	-	-	E	-	E	E	(自)			
			電線の碍子捕縛状況	-	-	E	-	E	E	(自)			
			絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)			
			ヘッド等端末部の腐食、損傷	-	-	E	-	E	E	(自)			
			コンパウンド油漏れ	-	-	E	-	E	E	(自)			
			露出部の腐食、亀裂、損傷	-	-	E	-	E	E	(自)			
			ピット内浸水、小動物侵入防	-	-	E	-	E	E	(自)			
			絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)			
			母線			たるみ	-	-	E	-	E	E	(自)
他との離隔距離	-	-				E	-	E	E	(自)			
接続部クランプ類の腐食、損傷、過熱	-	-				E	-	E	E	(自)			
碍子類の緩み	-	-				E	-	E	E	(自)			
支持物の腐食	-	-				E	-	E	E	(自)			
母線の損傷、変形、緩み	-	-				E	-	E	E	(自)			
絶縁抵抗	-	-				M	-	-	M	(自)			
高圧引込盤						盤面の状態	-	-	E	-	E	E	
						扉の開閉施錠	-	-	H	-	H	H	
						メータの零点	-	E	A	E	-	A	(自)
			メータの汚れ	-	-	E	-	E	E				
			表示灯点灯状態	-	-	E (E)	E	-	E	(自)			
			配線取付状態	-	-	E	E	-	E	(自)			
			主回路導体の状態	-	-	E	-	E	E				
			配線端子符号の脱落	-	-	E	-	E	E	(自)			
			ケーブル端子の状態	-	-	E	-	E	E				
			警報装置の異常	-	-	E	-	E	E	(自)			
断路器			接続部	-	-	T	-	E	T				
			絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)			
			接地抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)			
			保護継電器の動作	-	-	D (2年毎)	-	-	D	(自)			
			計器校正	-	-	A (2年毎)	-	-	A	(自)			
			受と刃の接触、変形、緩み	-	-	E	E	-	E	(自)			
			碍子の汚損、ひび割れ	-	-	E	E	-	E	(自)			
			止め装置の機能	-	-	D	-	-	D	(自)			
			操作機能	-	-	D	-	-	D	(自)			
			絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)			
避雷器			外部点検(損傷、亀裂、汚損)	E	E	E	-	E	E	(自)			
			絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)			
			接地抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)			

特記事項

* 1 致命的機器に該当する場合は実施すること。全般で点検する事項は網掛け部に示す事項である。

管理運転では、動作時に正常に状態表示されることなどを確認する。また、管理運転前後には汚損や劣化状態などの確認を実施する。

点検・整備チェックシート 電源設備(2/6) <待機系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

電源設備(2)
 (高圧受変電) (2)

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備								
	点検部位	施設機器 コード	点検内容	定 期 点 検			運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要	
				月点検	年点検	目視点検					
受 電 設 備	高圧受電盤		盤面の状態	-	-	E	-	E	E		
			扉の開閉施錠	-	-	H	-	H	H		
			メータの零点	E	E	A	E	-	A	(自)	
			メータの汚れ	-	-	E	-	-	E		
			表示灯点灯状態	-	E	(E)	E	E	E	(自)	
			配線取付状態	-	-	E	E	E	E		
			主回路導体の状態	-	E	E	-	E	E		
			配線端子符号の脱落	-	-	E	-	-	E	(自)	
			ケーブル端子の状態	-	-	E	-	E	E		
			警報装置の異常	-	-	E	-	-	E	(自)	
			接続部	-	-	T	-	E	T		
			絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)	
			接地抵抗	-	-	M	-	-	M		
			保護継電器の動作	-	-	D (2年毎)	-	-	D	(自)	
			計器校正	-	-	A (2年毎)	-	-	A	(自)	
	遮断器			汚損、発錆(外部)	E	E	E	-	E	E	(自)
				碍子ひび割れ(外部)	E	E	E	-	E	E	(自)
				油漏れ(外部)	E	E	E	-	E	E	(自)油入りの場合
				機器外箱の接地	E	E	E	-	E	E	(自)
				表示灯	E	E	E	-	E	E	(自)
				接触子の接触面状態	-	-	E	-	-	E	(自)
				油量、油汚れ	-	-	E	-	-	E	(自)油入りの場合
				付属装置の状態	-	-	E	-	-	E	(自)
				遮断動作速度	-	-	M (3年毎)	-	-	M	(自)
				開極、投入時の最小動作	-	-	M (3年毎)	-	-	M	(自)
				電流及び電圧	-	-	-	-	-	-	
				絶縁油耐圧	-	-	-	-	-	M	(自)油入りの場合
				真空度	-	-	-	-	-	M	(自)真空式の場合
				操作機構	-	-	D	-	-	D	(自)
				絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)
接地抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)				
計器用変成器			接続部	-	-	T	-	E	T		
			汚損、腐食、過熱	-	E	E	-	E	E	(自)	
			音響、ヒューズの異常	-	E	E	-	E	E	(自)	
			接地線の状態	-	-	E	-	E	E	(自)	
			接続部	-	-	T	-	E	T	(自)	
			発錆、配線状態	-	-	E	-	E	E		
			絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)	
接地抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)				

特記事項

点検・整備チェックシート 電源設備(3/6) <待機系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

電源設備(3)
 (高圧受変電)(3)

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備										
	点検部位	施設機器 コード	点検内容	定 期 点 検			運 転 時 間 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要			
				月 点 検	年 点 検	目 視 点 検							
変 圧 器	変圧器盤		盤面の状態	-	-	E	-	E	E				
			扉の開閉施錠	-	-	H	-	H	H				
			メータの零点	E	E	A	E	-	A	(自)			
			メータの汚れ	-	-	E	-	-	E				
			表示灯点灯状態	-	E	(E)	E	E	E	(自)			
			配線取付状態	-	-	E	E	E	E	(自)			
			主回路導体の状態	-	E	E	-	E	E				
			配線端子符号の脱落	-	-	E	-	-	E	(自)			
			ケーブル端子の状態	-	-	E	-	E	E				
			警報装置の異常	-	-	E	-	-	E	(自)			
			接続部	-	-	T	-	E	T				
			絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)			
			接地抵抗	-	-	M	-	-	M				
	保護継電器の動作	-	-	D (2年毎)	-	-	D	(自)					
	計器校正	-	-	A (2年毎)	-	-	A	(自)					
	変圧器			外部点検 (汚損、油漏れ、振動、音響、過熱)	-	E	E	E	E	E	(自)		
				機器外箱の接地	-	E	E	E	E	E	(自)		
				乾燥剤の劣化	-	E	E	-	-	E	(自) 油入で密封してないもの		
				各部の損傷、腐食、発錆 緩み、汚損	-	E	E	-	E	E	(自)		
				接続部	-	-	T	-	E	T			
内部点検(油の汚れ)				-	-	-	-	-	E	(自)			
内部点検(切換タップ)				-	-	-	-	-	E	(自)			
内部点検(リード線)				-	-	-	-	-	E	(自)			
内部点検(鉄心)				-	-	-	-	-	E	(自)			
内部点検(油量)				-	-	-	-	-	E	(自) 油入りの場合			
絶縁油耐圧				-	-	-	-	-	M	(自) 油入りの場合			
配線用遮断器の状態				-	E	E	-	-	E				
配線用遮断器の開閉作動				-	-	D	-	D	D				
絶縁抵抗				-	-	M	-	-	M	(自)			
接地抵抗				-	-	M	-	-	M	(自)			
気中開閉器						受と刃物の接触	-	E	E	-	E	E	(自)
						碍子の汚損、ひび割れ、発錆	-	E	E	-	E	E	(自)
	接地線の緩み、断線	-	-			E	-	E	E	(自)			
	操作機構	-	-			D	-	-	D	(自) 止め装置機能含む			
	接続部	-	-			T	-	E	T				
	絶縁抵抗	-	-			M	-	-	M	(自)			
	接地抵抗	-	-			M	-	-	M	(自)			
低圧配電盤(共通)			盤面の状態	-	-	E	-	E	E				
			扉の開閉施錠	-	-	H	-	H	H				
			メータの零点	E	E	A	E	-	A	(自)			
			メータの汚れ	-	-	E	-	-	E				
			表示灯点灯状態	-	E	(E)	E	E	E	(自)			
			計器・切換開閉器	-	E	E	-	-	E	(自)			
			操作機構	-	D	D	-	D	D	(自)			
			配線取付状態	-	-	E	E	E	E	(自)			
			主回路導体の状態	-	E	E	-	E	E				
			配線端子符号の脱落	-	-	E	-	-	E	(自)			
			ケーブル端子の状態	-	-	E	-	E	E				
			警報装置の異常	-	-	E	-	-	E	(自)			
			接続部	-	-	T	-	E	T				
			絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)			
			接地抵抗	-	-	M	-	-	M				
			保護継電器の動作	-	-	D (2年毎)	-	-	D	(自)			
			計器校正	-	-	A (2年毎)	-	-	A	(自)			

特記事項

点検・整備チェックシート 電源設備(4/6) <待機系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

電源設備(4)
 (高圧受変電) (4)

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認		S	聴覚			

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備									
	点検部位	施設機器 コード	点検内容	定 期 点 検			運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要		
				月点検	年点検	目視点検						
直 流 電 源 設 備	盤面		発錆、汚損	-	-	E	-	E	E			
			扉の開閉、施錠	-	-	H	-	H	H			
	盤内		汚損、異物	E	E	E	-	E	E			
			温度、湿度	-	-	(M)	-	M	M			
			絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)		
			接地抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)		
	盤内器具		取付状態	-	-	E	E	E	E			
			配線状態	-	-	E	E	E	E			
			端子・端子台の状態	-	-	E	-	E	E			
	操作スイッチ		端子符号の脱落	-	-	E	-	-	E			
			動作確認	-	H	(H)	H	-	H	(自)		
	指示計		取付状態、汚損	-	-	E	-	-	E			
			動作確認(零点及び指示)	-	E	A (2年毎)	E	-	A	(自)		
	表示器・表示灯		取付状態、汚損	-	-	E	-	-	E			
			点灯状態	-	E	(E)	E	E	E	(自)		
	保護装置		取付状態、汚損	-	-	E	-	-	E			
			保護リレーの動作	-	-	D (2年毎)	-	-	D	(自)		
			警報装置の異常	-	E	E	-	E	E	(自)		
	蓄電池		センサの動作チェック	-	-	D	-	-	D			
			端子の汚損、緩み、蓄電池液面、沈殿物、極板の汚損、脱落	-	E	E	-	E	E	(自)		
			セパレータの破損	-	E	E	-	E	E	(自)		
			均等充電	-	A	A	-	-	A	均等充電実施		
			支持台の腐食、損傷、耐酸塗装のはくり	-	-	E	-	E	E	(自)		
蓄電池比重、液面、端子電圧			-	M	M	-	-	M	(自)代表電池			
充電装置ヒューズ			-	E	E	-	-	E	(自)			
部屋床面の腐食、損傷			-	-	E	-	-	E	(自)			
充電装置の動作			-	-	D	-	-	D	(自)			
電解コンデンサ			-	-	E	E	E	X				
無 停 電 源 設 備		変圧器、リアクトル外観	-	-	E	E	E	E				
		冷却ファン振動	-	-	E	E	E	E				
		盤面の状態	-	-	E	-	E	E				
		扉の開閉施錠	-	-	H	-	H	H				
		メータの零点	E	E	A	E	-	A	(自)			
		メータの汚れ	-	-	E	-	-	E				
		表示灯点灯状態	-	E	(E)	E	E	E	(自)			
		配線取付状態	-	-	E	E	E	E	(自)			
		主回路導体の状態	-	E	E	-	E	E				
		配線端子符号の脱落	-	-	E	-	-	E	(自)			
		ケーブル端子の状態	-	-	E	-	E	E				
		接続部	-	-	T	-	E	T				
		絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)			
		接地抵抗	-	-	M	-	-	M				
		保護回路、警報回路の動作	-	-	D	-	-	D	(自)			
計器校正	-	-	A (2年毎)	-	-	A	(自)					
蓄電池		端子の汚損、緩み、蓄電池液面、沈殿物、極板の損傷、脱落	-	E	E	-	E	E	(自)			
		均等充電	-	A	A	-	-	A				
		支持台の腐食、損傷、耐酸塗装のはくり	-	-	E	-	E	E	(自)			
		蓄電池比重、液面、端子電圧	-	M	M	-	-	M	(自)			
		電解液にごり	-	E	E	-	E	E				
特記事項												

点検・整備チェックシート 電源設備(5/6) <待機系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

電源設備(5)
 (低圧受変電)(1)

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備									
	点検部位	施設機器 コード	点検内容	定期点検			運転時 点 検	臨時点検	定期整備	摘 要		
				目視点検	管理 運転点検	年点検						
全般	電源設備全般		動作確認 * 1	-	D	-	D	-	-	-		
			損傷の有無 * 1	-	E	-	E	-	-	-		
受電部	引込柱		汚損、ひび割れ	-	-	E	-	E	E			
			傾斜	-	-	E	-	E	E			
			腕金発錆、変形、腐食	-	-	E	-	E	E			
			碍子の汚損、ひび割れ	-	-	E	-	E	E			
			玉碍子の破損	-	-	E	-	E	E			
			支持クリップの脱落	-	-	E	-	E	E			
			支持の緩み	-	-	H	-	H	H			
電線部	電線・支持物		電線の高さ及び他工作物と樹木との離隔距離	-	-	E	-	E	E	(自)		
			標識・保護柵の状況	-	-	E	-	E	E	(自)		
			支線グリップの脱落	-	-	E	-	E	E	(自)		
			電柱・腕木・碍子・支線保護柵等の損傷、腐食	-	-	E	-	E	E	(自)		
			電線の碍子捕縛状況	-	-	E	-	E	E	(自)		
			絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)		
			ケーブル	露出部の腐食、亀裂、損傷	-	-	E	-	E	E	(自)	
	絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)				
配電設備	低圧配電盤(共通)		盤面の状態	-	-	E	-	E	E			
			扉の開閉施錠	-	-	H	-	H	H			
			メータの零点	E	E	A	E	-	A	(自)		
			メータの汚れ	-	-	E	-	-	E			
			表示灯点灯状態	-	E	(E)	E	E	E	(自)		
			計器・切換開閉器	-	E	E	-	-	E	(自)		
			操作機構	-	D	D	-	D	D	(自)		
			配線取付状態	-	-	E	E	E	E	(自)		
			主回路導体の状態	-	E	E	-	E	E			
			配線端子符号の脱落	-	-	E	-	-	E	(自)		
			ケーブル端子の状態	-	-	E	-	E	E			
			警報装置の異常	-	-	E	-	-	E	(自)		
			接続部	-	-	T	-	E	T			
			絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)		
			接地抵抗	-	-	M	-	-	M			
保護継電器の動作	-	-	D (2年毎)	-	-	D	(自)					
計器校正	-	-	A (2年毎)	-	-	A	(自)					

特記事項

* 1 致命的機器に該当する場合は実施すること。全般で点検する事項は網掛け部に示す事項である。
 管理運転では、動作時に正常に状態表示されることなどを確認する。また、管理運転前後には汚損や劣化状態などの確認を実施する。

点検・整備チェックシート 電源設備(6/6) <待機系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

電源設備(6)
 (低圧受変電) (2)

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認		S	聴覚			

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備									
	点検部位	施設機器 コード	点検内容	定 期 点 検			運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要		
				月点検	年点検	目視点検						
直 流 電 源 設 備	盤面		発錆、汚損	-	-	E	-	E	E			
			扉の開閉、施錠	-	-	H	-	H	H			
	盤内		汚損、異物	E	E	E	-	E	E			
			温度、湿度	-	-	(M)	-	M	M			
			絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)		
			接地抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)		
	盤内器具		取付状態	-	-	E	E	E	E			
			配線状態	-	-	E	E	E	E			
			端子・端子台の状態	-	-	E	-	E	E			
	操作スイッチ		端子符号の脱落	-	-	E	-	-	E			
			動作確認	-	H	(H)	H	-	H	(自)		
	指示計		取付状態、汚損	-	-	E	-	-	E			
			動作確認(零点及び指示)	-	E	A (2年毎)	E	-	A	(自)		
	表示器・表示灯		取付状態、汚損	-	-	E	-	-	E			
			点灯状態	-	E	(E)	E	E	E	(自)		
	保護装置		取付状態、汚損	-	-	E	-	-	E			
			保護リレーの動作	-	-	D (2年毎)	-	-	D	(自)		
			警報装置の異常	-	E	E	-	E	E	(自)		
	蓄電池		センサの動作チェック	-	-	D	-	-	D			
			端子の汚損、緩み、蓄電池液面、沈殿物、極板の汚損、脱落	-	E	E	-	E	E	(自)		
			セパレータの破損	-	-	-	-	-	-	-		
			均等充電	-	A	A	-	-	A	均等充電実施		
			支持台の腐食、損傷、耐酸塗装のはくり	-	-	E	-	E	E	(自)		
蓄電池比重、液面、端子電圧			-	M	M	-	-	M	(自)代表電池			
充電装置ヒューズ			-	E	E	-	-	E	(自)			
部屋床面の腐食、損傷			-	-	E	-	-	E	(自)			
充電装置の動作			-	-	D	-	-	D	(自)			
電解コンデンサ			-	-	E	E	E	X				
無 停 電 源 設 備		変圧器、リアクトル外観	-	-	E	E	E	E				
		冷却ファン振動	-	-	E	E	E	E				
		盤面の状態	-	-	E	-	E	E				
		扉の開閉施錠	-	-	H	-	H	H				
		メータの零点	E	E	A	E	-	A	(自)			
		メータの汚れ	-	-	E	-	-	E				
		表示灯点灯状態	-	E	(E)	E	E	E	(自)			
		配線取付状態	-	-	E	E	E	E	(自)			
		主回路導体の状態	-	-	E	-	E	E				
		配線端子符号の脱落	-	-	E	-	-	E	(自)			
		ケーブル端子の状態	-	-	E	-	E	E				
		接続部	-	-	T	-	E	T				
		絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)			
		保護回路、警報回路の動作	-	-	D	-	-	D	(自)			
		計器校正	-	-	A (2年毎)	-	-	A	(自)			
蓄電池		端子の汚損、緩み、蓄電池液面、沈殿物、極板の損傷、脱落	-	E	E	-	E	E	(自)			
		セパレータの破損	-	-	-	-	-	-				
		均等充電	-	A	A	-	-	A				
		支持台の腐食、損傷	-	-	E	-	E	E	(自)			
		耐酸塗装のはくり	-	-	-	-	-	-				
		蓄電池比重、液面、端子電圧	-	M	M	-	-	M	(自)			
電解液にごり	-	E	E	-	E	E						
特記事項												

点検・整備チェックシート 除塵設備 (1/4) <待機系設備>

機 場 名 : _____
 点検実施
 年 月 日 : _____

除塵設備(1)

点検方法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判定基準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点検整備		設備区分 I : 待機系設備							摘要		
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定期点検		年点検	運転時点検	臨時点検	定期整備			
				月点検	目視点検							
スクリーン	全般		運転に支障のある異常が発生していないかを確認 *1	-	E	-	E	-	-	-	腐食、変形などを確認	
	スクリーン		塗装	E	E	E	-	-	X			
			腐食	E	E	E	-	-	E			
			変形	E	E	E	E	E	E			
機	全般		運転に支障のある異常が発生していないかを確認 *2	-	E	-	E	-	-	-	温度、振動、異音などを確認	
	減速機		潤滑油量	E	E	E	-	-	X			
			油漏れ	E	E	E	-	-	E			
			軸受温度	-	H	(H)	H	-	M			
			振動	-	H	(H)	H	-	M			
	電動機		フレーム温度	-	H	(H)	H	-	M			
			軸受温度	-	H	(H)	H	-	M			
			振動	-	H	(M)	H	-	M			
			絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)		
			接地抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)		
			電流値	-	E	(E)	E	-	E			
			運転音	-	S	(S)	S	-	S			
	除塵機	伝導チェーン・スプロット		給油	-	E	E	-	-	A		
				摩耗	-	-	E	-	-	M		
			伸び	-	-	A	-	-	A			
			屈曲	-	-	E	-	-	E			
			損傷	-	-	E	-	-	E			
	粉体継手		起動時スリップ	-	E	(E)	-	-	E			
			温度	-	H	(H)	H	-	M			
			振動	-	H	(H)	H	-	M			
	流体継手		作動油	E	E	E	-	-	X			
			油漏れ	E	E	(E)	-	-	E			
			温度	-	H	(H)	H	-	M			
			振動	-	H	(H)	H	-	M			
	巻上ワイヤ		変形	E	E	E	-	-	E			
			摩耗	-	-	E	-	-	M			
			損傷	-	-	E	-	-	E			
	チェーン・スプロケット		伸び	-	-	A	-	-	A			
			摩耗	-	-	E	-	-	M			
			損傷	-	-	E	-	-	E			
	スクルーテークアップ		作動	-	-	E	-	-	E			
			腐食	-	-	E	-	-	E			
	レーキ及びローラ		変形	E	E	E	-	E	E			
			摩耗	-	-	E	-	-	M			
	レーキ開閉機構		開閉状況	-	E	(E)	-	-	E			

特記事項

- *1 致命的機器に該当する場合は実施すること。全般で点検する事項は網掛け部に示す事項である。管理運転前後に腐食や変形などの確認を実施する。
- *2 致命的機器に該当する場合は実施すること。全般で点検する事項は網掛け部に示す事項である。管理運転では、動作時に異音や振動、温度などを確認する。また、管理運転前後には油量やレーキ類の変形などの確認を実施する。

点検・整備チェックシート 除塵設備 (2/4) <待機系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

除塵設備(2)

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置 区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備							
			定 期 点 検			運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要	
	点検部位	施設機器 コード	点検内容	月 点 検						年 点 検
				目視点検	管理 運転点検					
除	パワーシリンダ		作動	—	E	(E)	—	—	E	
			油漏れ	—	—	(E)	—	—	E	
	油圧ユニット		作動油	—	E	E	—	—	X	
			油圧	—	E	(E)	E	—	E	
			油圧ポンプ	—	E	(E)	E	—	E	
油圧計	—	—	(E)	—	—	X				
シャーペン		錆	—	—	E	—	—	X		
リミットスイッチ		作動	—	E	(D)	—	—	X		
集中給油装置		グリース	E	E	E	—	—	X		
		作動	—	E	(E)	—	—	E		
漏れ		作動	E	E	(E)	—	—	E		
		漏れ	E	E	(E)	—	—	E		
機	ワイパー		作動	—	E	(E)	—	—	X	
			フレーム及び盲板	—	E	E	E	—	E	
			その他構造材	—	E	E	E	—	E	
			その他	—	—	E	—	—	X	

特記事項

点検・整備チェックシート 除塵設備 (3/4) <待機系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

除塵設備(3)

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備									
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定期点検			運転時点検	臨時点検	定期整備	摘 要		
				月点検	年点検	目視点検						
搬送設備	全般		運転に支障のある異常が発生していないかを確認 *1	—	E	—	E	—	—	—	温度、振動、異音などを確認	
	減速機		潤滑油量	E	E	E	—	—	X			
			油漏れ	E	E	(E)	—	—	E			
			軸受温度	—	H	(H)	H	—	M			
			振動	—	H	(H)	H	—	M			
	電動機		フレーム温度	—	H	(H)	H	—	M			
			軸受温度	—	H	(H)	H	—	M			
			振動	—	H	(H)	H	—	M			
			絶縁抵抗	—	—	M	—	—	M	(自)		
			接地抵抗	—	—	M	—	—	M	(自)		
			電流値	—	E	(E)	E	—	E			
			運転音	—	S	(S)	S	—	S			
	伝導チェーン・スプロット		給油	—	E	E	—	—	A			
			摩耗	—	—	E	—	—	M			
			伸び	—	—	A	—	—	A			
			屈曲	—	—	E	—	—	E			
			損傷	—	—	E	—	—	E			
	フレーム		変形	—	—	E	—	E	E			
		ベルト		伸び	—	—	A	—	—	A		
				摩耗	—	—	E	—	—	E		
				損傷	—	—	E	—	—	E		
			回転状況	—	E	(E)	E	—	E			
	各ブリー・軸受		汚れ付着	E	E	E	E	—	E			
			摩耗	—	—	E	—	—	E			
			軸受温度	—	H	(H)	H	—	H			
			腐食	—	—	E	—	—	E			
			変形	—	—	E	—	—	E			
			給油	—	—	E	—	—	E			
			回転状況	—	E	(E)	E	—	E			
	各ローラ・軸受		汚れ付着	E	E	E	E	—	E			
			腐食	—	—	E	—	—	E			
			摩耗	—	—	E	—	—	E			
		劣化	—	—	E	—	—	E				
		回転状況	—	E	(E)	E	—	E				
スカートゴム		変形	—	—	E	—	—	E				
		作動	—	E	(E)	—	—	E				
スクリーテークアップ		劣化	—	—	E	—	—	E				
		作動	—	—	E	—	—	E				
カバー		腐食	—	—	E	—	—	E				
		変形	—	—	E	—	—	E				
その他		腐食	—	—	E	—	—	E				
		塗装	—	—	E	—	—	X				
		総合作動確認	—	D	(D)	D	—	D				

特記事項

*1 致命的機器に該当する場合は実施すること。全般で点検する事項は網掛け部に示す事項である。
 管理運転では、動作時に異音や振動、温度などを確認する。また、管理運転前後には油量などの確認を実施する。

点検・整備チェックシート 除塵設備 (4/4) <待機系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

除塵設備(4)

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置 区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備								
	点検部位	施設機器 コード	点検内容	定 期 点 検		運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要		
				月 点 検	年 点 検						
貯 留 設 備	全般		運転に支障のある異常が発生していないかを確認 *1	—	E	—	E	—	—	—	温度、振動、異音などを確認
	ホッパ		変形	—	—	E	—	E	E		
	カットゲート		腐食	—	—	E	—	—	E		
			給油	—	—	A	—	—	A		
	パワーシリンダ		作動	—	E	(E)	—	—	E		
			変形	—	E	E	—	—	E		
	油圧ユニット		作動	—	E	(E)	—	—	E		
			油漏れ	—	—	(E)	—	—	E		
			作動油	—	E	E	—	—	X		
			油圧	—	E	(E)	E	—	E		
	電動機		油圧ポンプ	—	E	(E)	E	—	E		
			油圧計	—	—	(E)	—	—	X		
			フレーム温度	—	H	(H)	—	—	M		
			軸受温度	—	H	(H)	—	—	M		
			振動	—	H	(H)	—	—	M		
			絶縁抵抗	—	—	M	—	—	M	(自)	
			接地抵抗	—	—	M	—	—	M	(自)	
			電流値	—	—	E	—	—	E		
	その他		運転音	—	S	(S)	S	—	S		
	操 作 制 御 設 備	全般		塗装	—	—	E	—	—	X	
機側操作盤			動作確認 *2	—	D	—	D	—	—	—	
			損傷の有無 *2	—	E	—	E	—	—	—	
			単独の作動確認	—	D	(D)	—	—	D		
			動作表示の確認	—	E	(E)	—	E	E		
			故障表示の確認	—	E	E	—	E	E		
			絶縁抵抗	—	—	M	—	—	M	(自)	
			接地抵抗	—	—	M	—	—	M	(自)	
			タイマの動作確認	—	E	M	—	—	M		
		タイマの設定値	—	—	E	—	—	E			

- *1 致命的機器に該当する場合は実施すること。全般で点検する事項は網掛け部に示す事項である。
 管理運転では、操作することで正常に動作することを確認する。また、管理運転前後には油量などの確認を実施する。
- *2 致命的機器に該当する場合は実施すること。全般で点検する事項は網掛け部に示す事項である。
 管理運転では、操作することで正常に動作することを確認する。また、管理運転前後には表示などの確認を実施する。

点検・整備チェックシート 付属設備 <待機系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

付属設備

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備									
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定期点検			運転時点検	臨時点検	定期整備	摘 要		
				目視点検	管理 運転点検	年点検						
角 落 し 設 備	角 落 し 設 備		保管状況	-	-	E	-	-	E			
天 井 ク レ ー ン	全 般		運転状況	-	-	E	-	-	E	(労)		
			荷重試験	-	-	D	-	-	D	(労)*		
	安 全 装 置		過巻防止装置	-	-	D	-	-	D	(労)		
			横行・走行 リミットスイッチ	-	-	D	-	-	D	(労)		
			過負荷警報装置	-	-	D	-	-	D	(労)		
			ブレーキ装置	-	-	E	-	-	E	(労)		
			クラッチ装置	-	-	E	-	-	E	(労)		
	機 構 部		ワイヤロープの損傷	-	-	E	-	-	E	(労)		
			フックの損傷	-	-	E	-	-	E	(労)		
			ランウェイガータ 及びサドルの状態	-	-	E	-	-	E	(労)		
			横行レールの状態	-	-	E	-	-	E	(労)		
			ロープリンクの装置	-	-	E	-	-	E	(労)		
	電 気 関 係		配線	-	-	E	-	-	E	(労)		
			集電装置	-	-	E	-	-	E	(労)		
			配電盤	-	E	D (2年毎)	-	-	D	(労)、(自)		
開閉器			-	-	E	-	-	E	(労)			
コントローラ			-	-	E	-	-	E	(労)			
絶縁抵抗			-	-	M	-	-	M	(労)盤にて測定			
換 気 設 備	換 気 フ ァ ン	運転状況	-	-	E	-	-	E				
		振動	-	-	H	-	-	M				
		温度	-	-	H	-	-	M				
		絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)			
		接地抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)			
照 明 設 備	全 般	開閉器・点滅器・照明器具 コンセント等の損傷、過熱	-	-	E	-	-	E	(自)			
		器具固定部緩み	-	-	T	-	-	T	(自)			
		電線被覆の損傷	-	-	E	-	-	E	(自)			
		配線箇所の湿気、塵埃	-	-	E	-	-	E	(自)			
		絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)盤にて測定			

特記事項

点検・整備チェックシート ゲート設備(1/2) <待機系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

吐出しゲート設備(1)

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備								
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定期点検		年点検	運転時点検	臨時点検	定期整備	摘 要	
				月点検	目視点検						
全般	ゲート設備全般		運転に支障のある異常が発生していないかを確認 *1	—	E	—	E	—	—	—	振動、異音、温度などを確認
吐 出 し ゲ ー ト 設 備	扉体		構造全体の振動	—	E	(E)	E	—	E		
			構造全体の異常音	—	S	(S)	S	—	S		
			溶接部の割れ	—	—	E	—	—	—	E	
			ボルト・ナットの緩み、脱落	—	—	E	—	—	—	T	
			桁の腐食、板厚の測定	—	—	M	—	—	—	M	
			スキンプレートの腐食、板厚の測定	—	—	M	—	—	—	M	
	支 承 部		主ローラの給油状態	—	E	E	—	—	—	A	
			主ローラの作動	—	E	(E)	E	—	—	E	
			主ローラの異常音	—	S	(S)	S	—	—	S	
			主ローラの損傷、摩耗	—	—	E	—	—	—	E	
			補助ローラの給油状態	—	E	E	—	—	—	A	
			補助ローラの損傷	—	—	E	—	—	—	E	
	水 密 部		ゴム又はメタルの漏水	—	E	E	—	—	E	E	
			ゴム又はメタルの変形、損傷	—	—	E	—	—	—	X	
			ゴム取付ボルト・ナットの緩み、損傷	—	—	E	—	—	—	T	
			ゴム取付ボルト・ナットの脱落	—	—	E	—	—	—	E	
	戸 当 た り		戸当り板の変形	—	—	E (2年毎)	—	—	—	E	
			障害物	—	E	E	—	E	E	E	
			戸当たりの損傷、変形	—	—	E	—	E	E	E	
			主ローラレールの損傷、磨耗	—	—	E	—	—	—	E	
巻 上 式 (ス ピ ン ド ル 式)	巻上式(スピンドル式)		補助ローラレールの損傷、磨	—	—	E	—	—	E		
			スピンドルの変形	—	—	E	—	E	E	E	
			スピンドルの摩耗	—	—	E	—	—	—	M	
			減速機潤滑油量	—	E	E	—	—	—	X	
			減速機振動	—	H	(H)	H	—	—	H	
			減速機音	—	S	(S)	S	—	—	S	
			塗装	—	—	E	—	—	—	X	
			電動機の絶縁抵抗	—	—	M	—	—	—	M	(自)
			電動機の接地抵抗	—	—	M	—	—	—	M	(自)
			電動機の温度	—	H	(H)	H	—	—	M	
巻 上 式 (ラ ック 式)	巻上式(ラック式)		ラックの変形	—	—	E	—	E	E		
			ラックの摩耗	—	—	E	—	—	—	M	
			減速機潤滑油量	—	E	E	—	—	—	X	
			減速機振動	—	H	(H)	H	—	—	H	
			減速機音	—	S	(S)	S	—	—	S	
			塗装	—	—	E	—	—	—	X	
			電動機の絶縁抵抗	—	—	M	—	—	—	M	(自)
			電動機の接地抵抗	—	—	M	—	—	—	M	(自)
	電動機の温度	—	H	(H)	H	—	—	M			

特記事項
 *1 致命的機器に該当する場合は実施すること。全般で点検する事項は網掛け部に示す事項である。
 管理運転では、動作時に振動や異音、温度などを確認する。また、管理運転前後には油量などの確認を実施する。

点検・整備チェックシート ゲート設備(2/2) <待機系設備>

機 場 名：
 点検実施
 年 月 日：

吐出しゲート設備(2)

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備								
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定期点検		年点検	運転時点検	臨時点検	定期整備	摘 要	
				月点検	目視点検						
吐 出 し ゲ ー ト 設 備	開閉装置 (ワイヤロープウインチ式)		ワイヤロープの摩耗	-	-	M	-	-	X		
			ワイヤロープの変形	-	E	E	-	-	E		
			ロープ端末	-	E	E	-	-	E		
			シーブの摩耗	-	-	E	-	-	M		
			シーブ軸の変形	-	-	E	-	-	E		
			シーブ軸受の摩耗	-	-	E	-	-	M		
			ワイヤドラム	-	E	(E)	E	-	E		
			ギヤの摩耗	-	-	-	-	-	M		
			ブレーキシューの摩耗	-	-	-	-	-	M		
			ブレーキドラムの摩耗	-	-	-	-	-	M		
			ブレーキ作動	-	E	(E)	E	-	E		
			各軸受の温度	-	H	(H)	H	-	M		
			各軸受の摩耗	-	-	E	-	-	E		
			フレキシブル軸継手の摩耗	-	-	E	-	-	M		
			減速機潤滑油量	E	E	E	-	-	X		
			減速機振動	-	H	(H)	H	-	H		
			減速機軸受温度	-	H	(H)	H	-	M		
			リミットスイッチ	-	E	(D)	E	-	X		
			電動機の絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)	
			電動機の接地抵抗	-	-	M (2年毎)	-	-	M	(自)	
	電動機の温度	-	H	(H)	H	-	M				
	操作・制御設備			設備全般の外観、清掃状態	E	-	E	-	-	C	
				設備全般の表示ランプ・ヒューズ類	-	E	E	E	E	E	
				設備全般の計測器の指示計指示値	-	E	E	E	E	E	
				設備全般の異常音	-	S	S	S	S	S	
				盤内の湿気、乾燥状態、塵埃	-	-	E	-	-	E	
				盤内のコネクタ接続部、電線被覆	-	-	E	-	-	E	
				操作機能確認	-	-	D	-	-	D	
				制御機能確認	-	-	D	-	-	D	
				水位計	-	-	E	-	-	A	
				自記記録計	-	-	E	-	-	A	
				水位計のセンサと変換器の連動	-	-	E	-	-	D	
水位計コネクタ接続部、端子				-	-	E	-	-	E		
水位計と量水標との水位比較	-	-	E	-	-	A					
開度計のセンサと変換器の連動	-	-	E	-	-	D					
開度計コネクタ接続部・端子	-	-	E	-	-	E					
機器据付状態	-	-	E	-	-	E					
接地状況	-	-	E	E	-	E					
絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)				
接地抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)				
各部電圧・電流の測定	-	-	M	-	-	M					
電動機の軸受部・整流子ブラシ・スリップリング	-	-	E	E	-	E					
電動機の伝達機構、起動制御装置	-	-	E	-	-	E					
電熱乾燥装置	-	-	E	-	-	E					
照明器具	-	-	E	-	-	E					
その他			塗装	-	-	E	-	X			

点検・整備チェックシート(案)

設備区分:レベル I

稼動形態:常用系設備

点検・整備チェックシート 監視操作制御設備(1/15) <常用系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

監視操作制御設備(1)
 (遠隔・機場集中監視操作盤)

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置 区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備									
	点検部位	施設機器 コード	点検内容	定 期 点 検			運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要		
				月点検	年点検	管理 運転点検						
遠隔・機場集中監視操作盤(グラフィック型)	全般		動作確認 * 1	-	D	-	D	-	-	-		
			損傷の有無 * 1	-	E	-	E	-	-	-		
	盤面		発錆、汚損	-	-	E	-	E	E			
			扉の開閉、施錠	-	-	H	-	H	H			
	盤内		汚損、異物	E	E	E	-	E	E			
			絶縁抵抗 * 2	-	-	M	-	-	M	(自)		
			接地抵抗	-	-	M	-	-	M			
			シーケンスチェック	-	E	D	-	-	D			
	盤内器具		取付状態	-	-	E	E	E	E			
			配線状態	-	-	E	E	E	E	(自)		
			端子・端子台の状態	-	-	E	-	E	E			
			端子符号の脱落	-	-	E	-	-	E	(自)		
	操作スイッチ		動作確認	-	H	(H)	H	-	H	(自)		
			取付状態、汚損	-	E	E	-	-	E			
	指示計		動作確認(零点及び指示)	-	E	A (2年毎)	E	-	A	(自)		
			取付状態、汚損	-	-	E	-	-	E			
	表示器・表示灯		点灯状態	-	E	(E)	E	E	E	(自)		
			取付状態、汚損	-	-	E	-	-	E			
	運転時間計		指示状態	-	E	E	E	-	E	(自)		
			取付状態	-	-	E	-	-	E			
	電力量計		指示状態	-	E	(E)	E	-	E	(自)		
			取付状態	-	-	E	-	-	E			
	設定器		設定値の確認	-	-	E	-	-	E			
			取付状態	-	-	E	-	-	E			
	グラフィックパネル		表示灯点灯の確認	-	E	(E)	E	E	E			
			表示器表示の確認	-	E	(E)	E	E	E			
	タイマ		動作確認	-	-	M	-	-	M			
			設定値の確認	-	-	E	-	-	E			
PLC		電源電圧の確認	-	-	M	-	-	M				
		入力信号の確認	-	-	D	-	-	D	シーケンスチェックによる			
		出力信号の確認	-	-	D	-	-	D	シーケンスチェックによる			
		内蔵電池	-	-	-	-	-	×				

特記事項

- * 1 致命的機器に該当する場合は実施すること。その内容は網掛け部に示すものである。
 管理運転では、操作することで正常に動作することを確認する。また、管理運転前後には取付状態や汚損などの確認を実施する。
- * 2 弱電機器には、絶縁抵抗測定禁止箇所があるので事前に確認すること。
- * 3 管理運転点検は、運転時点検で確認できる場合は省略することができる。

点検・整備チェックシート 監視操作制御設備(2/15) <常用系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

監視操作制御設備(2)
 (遠隔・機場集中監視操作盤)

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置 区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備							
	点検部位	施設機器 コード	点検内容	定 期 点 検			運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要
				月点検	年点検	目視点検				
遠 隔 ・ 機 場 集 中 監 視 操 作 盤 (C R T 型)	全般		動作確認 * 1	-	D	-	D	-	-	
			損傷の有無 * 1	-	E	-	E	-	-	
	盤面		発錆、汚損	-	-	E	-	E	E	
			扉の開閉、施錠	-	-	H	-	H	H	
	盤内		汚損、異物	E	E	E	-	E	E	
			絶縁抵抗 * 2	-	-	M	-	-	M	(自)
			接地抵抗	-	-	M	-	-	M	
			シーケンスチェック	-	E	D	-	-	D	
	盤内器具		取付状態	-	-	E	E	E	E	
			配線状態	-	-	E	E	E	E	(自)
			端子・端子台の状態	-	-	E	-	E	E	
			端子符号の脱落	-	-	E	-	-	E	(自)
	操作スイッチ		動作確認	-	H	(H)	H	-	H	(自)
			取付状態、汚損	E	E	E	-	-	E	
	指示計		動作確認(零点及び指示)	-	E	A (2年毎)	E	-	A	(自)
			取付状態、汚損	-	-	E	-	-	E	
	表示器・表示灯		点灯状態	E	E	(E)	E	E	E	(自)
			取付状態、汚損	-	-	E	-	-	E	
	運転時間計		指示状態	-	E	(E)	E	-	E	(自)
			取付状態	-	-	E	-	-	E	
	CRTディスプレイ (タッチパネル含む)		表示状態の確認	-	E	E	-	-	E	
			輝度状態の確認	-	-	A	-	-	A	
			電源ケーブル接続状態	-	-	E	-	-	E	
			表示信号ケーブル接続状態	-	-	E	-	-	E	
			電源電圧測定の確認	-	-	M	-	-	M	
			表示面の清掃	-	-	C	-	-	C	
	キーボード		キー入力の確認	-	E	E	-	-	D	
			信号ケーブル接続状態	-	-	E	-	-	E	
			キーボード本体の清掃	-	-	C	-	-	C	
	マウス		動作確認	-	D	D	-	-	D	
信号ケーブル接続状態			-	-	E	-	-	E		
マウス本体の清掃			-	-	C	-	-	C		
プリンタ		動作確認	-	-	D	-	-	D		
		印字状態の確認	-	D	D	-	-	D	テスト印字	
		電源電圧の確認	-	-	M	-	-	M		
		電源ケーブル接続状態	-	-	E	-	-	E		
		信号ケーブル接続状態	-	-	E	-	-	E		
中央演算処理装置		電源電圧の確認	-	-	M	-	-	M		
		電源ランプの点灯確認	-	E	E	-	-	E		
		ハードディスクの動作確認	-	D	D	-	-	D		
		FD動作確認	-	-	D	-	-	D		
		CD動作確認	-	-	D	-	-	D		
		MO動作確認	-	-	D	-	-	D		
		ファン動作確認	-	D	D	-	-	D		
		換気用フィルタ	-	C	C	-	-	X		
		電源ケーブル接続状態	-	-	E	-	-	E		
その他ケーブル接続状態	-	-	E	-	-	E				

特記事項

- * 1 致命的機器に該当する場合は実施すること。その内容は網掛け部に示すものである。
 管理運転では、操作することで正常に動作することを確認する。また、管理運転前後には取付状態や汚損などの確認を実施する。
- * 2 弱電機器には、絶縁抵抗測定禁止箇所があるので事前に確認すること。
- * 3 管理運転点検は、運転時点検で確認できる場合は省略することができる。

点検・整備チェックシート 監視操作制御設備(3/15) <常用系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

監視操作制御設備(3)
 (遠隔・機場集中監視盤)

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、早急に対応すべき状態

装置区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備									
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定期点検			運転時点検	臨時点検	定期整備	摘 要		
				月点検	年点検	目視点検						
遠隔・機場集中監視盤(グラフィック型)	全般		動作確認 * 1	-	D	-	D	-	-	-		
			損傷の有無 * 1	-	E	-	E	-	-	-		
	盤面		発錆、汚損	-	-	E	-	E	E			
			扉の開閉、施錠	-	-	H	-	H	H			
	盤内		汚損、異物	E	E	E	-	E	E			
			絶縁抵抗 * 2	-	-	M	-	-	M	(自)		
			接地抵抗	-	-	M	-	-	M			
			シーケンスチェック	-	E	D	-	-	D			
	盤内器具		取付状態	-	-	E	E	E	E			
			配線状態	-	-	E	E	E	E	(自)		
			端子・端子台の状態	-	-	E	-	E	E			
			端子符号の脱落	-	-	E	-	-	E	(自)		
	指示計		動作確認(零点及び指示)	-	E	A (2年毎)	E	-	A	(自)		
	表示器・表示灯		取付状態、汚損	-	-	E	-	-	E			
			点灯状態	-	E	(E)	E	E	E	(自)		
	記録計		取付状態、汚損	-	-	E	-	-	E			
			記録動作状態	-	-	M	-	-	M			
	グラフィックパネル		表示灯点灯の確認	-	E	(E)	E	E	E			
			表示器表示の確認	-	E	(E)	E	E	E			
	タイマ		動作確認	-	-	M	-	-	M			
			設定値の確認	-	-	E	-	-	E			
	PLC		電源電圧の確認	-	-	M	-	-	M			
			入力信号の確認	-	-	D	-	-	D	シーケンスチェックによる		
			出力信号の確認	-	-	D	-	-	D	シーケンスチェックによる		
内蔵電池			-	-	-	-	-	×				
変換器		電源電圧の確認	-	-	M	-	-	M				
		入力信号の確認	-	-	M	-	-	M				
		出力信号の確認	-	-	M	-	-	M				

特記事項

- * 1 致命的機器に該当する場合は実施すること。その内容は網掛け部に示すものである。
 管理運転では、操作することで正常に動作することを確認する。また、管理運転前後には取付状態や汚損などの確認を実施する。
- * 2 弱電機器には、絶縁抵抗測定禁止箇所があるので事前に確認すること。
- * 3 管理運転点検は、運転時点検で確認できる場合は省略することができる。

点検・整備チェックシート 監視操作制御設備(4/15) <常用系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

監視操作制御設備(4)
 (機側操作盤)

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置 区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備							
	点検部位	施設機器 コード	点検内容	定期点検			運転時 点 検	臨時点検	定期整備	摘 要
				月点検	年点検	目視点検				
機 側 操 作 盤	全般		動作確認 * 1	-	D	-	D	-	-	
			損傷の有無 * 1	-	E	-	E	-	-	
	盤面		発錆、汚損	-	-	E	-	E	E	
			扉の開閉、施錠	-	-	H	-	H	H	
	盤内		汚損、異物	E	E	E	-	E	E	
			絶縁抵抗 * 2	-	-	M	-	-	M	(自)
			接地抵抗	-	-	M	-	-	M	
			シーケンスチェック	-	E	D	-	-	D	
	盤内器具		取付状態	-	-	E	E	E	E	
			配線状態	-	-	E	E	E	E	(自)
			端子・端子台の状態	-	-	E	-	E	E	
			端子符号の脱落	-	-	E	-	-	E	(自)
	操作スイッチ		動作確認	-	H	(H)	H	-	H	(自)
			取付状態、汚損	-	E	E	-	-	E	
	指示計		動作確認(零点及び指示)	-	E	A (2年毎)	E	-	A	(自)
			取付状態、汚損	-	-	E	-	-	E	
	表示器・表示灯		点灯状態	-	E	(E)	E	E	E	(自)
			取付状態、汚損	-	-	E	-	-	E	
	運転時間計		指示状態	-	E	(E)	E	-	E	(自)
			取付状態	-	-	E	-	-	E	
タイマ		動作確認	-	-	M	-	-	M		
		設定値の確認	-	-	E	-	-	E		
変換器		電源電圧の確認	-	-	M	-	-	M		
		入力信号の確認	-	-	M	-	-	M		
		出力信号の確認	-	-	M	-	-	M		

特記事項

- * 1 全般で点検する事項は網掛け部に示すものである。管理運転では、操作することで正常に動作することを確認する。また、管理運転前後には取付状態や汚損などの確認を実施する。
- * 2 弱電機器には、絶縁抵抗測定禁止箇所があるので事前に確認すること。
- * 3 管理運転点検は、運転時点検で確認できる場合は省略することができる。

点検・整備チェックシート 監視操作制御設備(5/15) <常用系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

監視操作制御設備(5)
 (補助継電器盤)

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、早急に対応すべき状態

装置区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備								
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定期点検			運転時点検	臨時点検	定期整備	摘 要	
				月点検	年点検	管理運転点検					
補助 継電器 盤 (リレー型)	全般		動作確認 *1	-	D	-	D	-	-	-	
			損傷の有無 *1	-	E	-	E	-	-	-	
	盤面		発錆、汚損	-	-	E	-	E	E		
			扉の開閉、施錠	-	-	H	-	H	H		
	盤内		汚損、異物	E	E	E	-	E	E		
			絶縁抵抗 *2	-	-	M	-	-	M	(自)	
			接地抵抗	-	-	M	-	-	M		
			シーケンスチェック	-	E	D	-	-	D		
	盤内器具		取付状態	-	-	E	E	E	E		
			配線状態	-	-	E	E	E	E	(自)	
			端子・端子台の状態	-	-	E	-	E	E		
			端子符号の脱落	-	-	E	-	-	E	(自)	
	操作スイッチ		動作確認	-	H	(H)	H	-	H	(自)	
	指示計		取付状態、汚損	E	E	E	-	-	E		
			動作確認(零点及び指示)	-	E	A (2年毎)	E	-	A	(自)	
	表示器・表示灯		点灯状態	-	E	(E)	E	E	E	(自)	
			取付状態、汚損	-	-	E	-	-	E		
	運転時間計		指示状態	-	-	(E)	E	-	E	(自)	
			取付状態	-	-	E	-	-	E		
	タイマ		動作確認	-	-	M	-	-	M		
設定値の確認			-	-	E	-	-	E			
補助継電器		取付状態、汚損、変色	-	-	E	-	-	E			
		動作状態	-	-	D	-	-	D	シーケンスチェックによる		
補助 継電器 盤 (PLC型)	全般		動作確認 *1	-	D	-	D	-	-		
			損傷の有無 *1	-	E	-	E	-	-	-	
	盤面		発錆、汚損	-	-	E	-	E	E		
			扉の開閉、施錠	-	-	H	-	H	H		
	盤内		汚損、異物	E	E	E	-	E	E		
			絶縁抵抗 *2	-	-	M	-	-	M	(自)	
			接地抵抗	-	-	M	-	-	M		
			シーケンスチェック	-	E	D	-	-	D		
	盤内器具		取付状態	-	-	E	E	E	E		
			配線状態	-	-	E	E	E	E	(自)	
			端子・端子台の状態	-	-	E	-	E	E		
			端子符号の脱落	-	-	E	-	-	E	(自)	
	操作スイッチ		動作確認	-	H	(H)	H	-	H	(自)	
	指示計		取付状態、汚損	E	E	E	-	-	E		
			動作確認(零点及び指示)	-	E	A (2年毎)	E	-	A	(自)	
	表示器・表示灯		点灯状態	-	E	(E)	E	E	E	(自)	
			取付状態、汚損	-	-	E	-	-	E		
	運転時間計		指示状態	-	E	(E)	E	-	E	(自)	
			取付状態	-	-	E	-	-	E		
	PLC		電源電圧の確認	-	-	M	-	-	M		
入力信号の確認			-	-	D	-	-	D	シーケンスチェックによる		
出力信号の確認			-	-	D	-	-	D	シーケンスチェックによる		
内蔵電池			-	-	-	-	-	x			

特記事項

- *1 全般で点検する事項は網掛け部に示すものである。管理運転では、操作することで正常に動作することを確認する。また、管理運転前後には取付状態や汚損などの確認を実施する。
- *2 弱電機器には、絶縁抵抗測定禁止箇所があるので事前に確認すること。
- *3 管理運転点検は、運転時点検で確認できる場合は省略することができる。

点検・整備チェックシート 監視操作制御設備(6/15) <常用系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

監視操作制御設備(6)
 (高圧電動機制御盤)

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備								
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定 期 点 検			運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要	
				月点検	年点検	管理 運転点検					
高 圧 電 機 制 御 盤	全般		動作確認 * 1	—	D	—	D	—	—		
			損傷の有無 * 1	—	E	—	E	—	—		
	盤面		発錆、汚損	—	—	E	—	E	E		
			扉の開閉、施錠	—	—	H	—	H	H		
	盤内		汚損、異物	E	E	E	—	E	E		
			絶縁抵抗 * 2	—	—	M	—	—	M	(自)	
			接地抵抗	—	—	M	—	—	M		
			シーケンスチェック	—	E	D	—	—	D		
			保護継電器の動作	—	—	D (2年毎)	—	—	D	(自)	
	盤内器具		取付状態	—	—	E	E	E	E	(自)	
			配線状態	—	—	E	E	E	E	(自)	
			端子・端子台の状態	—	—	E	—	E	E	(自)	
			端子符号の脱落	—	—	E	—	—	E	(自)	
	操作スイッチ		動作確認	—	H	(H)	H	—	H	(自)	
			取付状態、汚損	E	E	E	—	—	E		
	指示計		動作確認(零点及び指示)	—	E	A (2年毎)	E	—	A	(自)	
			取付状態、汚損	—	—	E	—	—	E		
	表示器・表示灯		点灯状態	E	E	(E)	E	E	E	(自)	
			取付状態、汚損	—	—	E	—	—	E		
	運転時間計		指示状態	—	E	(E)	E	—	E	(自)	
			取付状態	—	—	E	—	—	E		
	電 タ イ マ		動作確認	—	—	M	—	—	M		
			設定値の確認	—	—	E	—	—	E		
	動 機 制 御 盤	コンピネーションスタータ		高圧ヒューズの汚損、ひび割れ	—	—	E	—	E	E	(自)
				ヒューズホルダの汚損、変形 ひび割れ	—	—	E	—	E	E	(自)
				電磁接触器の変形、変色	—	—	E	—	E	E	
				接続部	—	—	T	—	E	T	
				操作機構	—	—	D	—	D	D	(自)
機器外箱の接地				—	—	E	—	E	E	(自)	
接触子の接触面状態				—	—	E	—	—	E	(自)真空式はギャップ測定	
遮断動作速度				—	—	—	—	—	M	(自)	
開極・投入時の参照動作				—	—	—	—	—	M	(自)	
電流及び電圧				—	—	—	—	—	—	—	
真空度				—	—	—	—	—	M	(自)真空式の場合	
絶縁抵抗				—	—	M	—	—	M	(自)	
接地抵抗				—	—	M	—	—	M	(自)	
計 器 用 変 成 器						汚損、腐食、過熱	—	E	E	—	E
	音響	—	S			S	—	—	S	(自)	
	ヒューズの異常	—	E			E	—	E	E	(自)	
	接続部	—	—			T	—	E	T		
	接地線の接続状態	—	—			E	—	E	E	(自)	
	絶縁抵抗	—	—			M	—	—	M	(自)	
	接地抵抗	—	—			M	—	—	M	(自)	
進 相 用 コン デン サ			汚損、油漏れ、振動、過熱、変形	—	E	E	—	E	E	(自)	
			音響	—	S	S	—	—	S	(自)	
			機器外箱の接地	—	—	E	—	E	E	(自)	
			接続部	—	—	T	—	E	T		
			tanδ容量の測定	—	—	—	—	—	M		
絶縁抵抗			絶縁抵抗	—	—	M	—	—	M	(自)	

特記事項
 * 1 全般で点検する事項は網掛け部に示すものである。管理運転では、操作することで正常に動作することを確認する。また、管理運転前後には取付状態や汚損などの確認を実施する。
 * 2 弱電機器には、絶縁抵抗測定禁止箇所があるので事前に確認すること。
 * 3 管理運転点検は、運転時点検で確認できる場合は省略することができる。

点検・整備チェックシート 監視操作制御設備(7/15) <常用系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

監視操作制御設備(7)
 (低圧電動機制御盤)

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、早急に対応すべき状態

装置区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備								
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定 期 点 検			運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要	
				月点検	年点検	目視点検					
低 圧 電 機 制 御 盤	全般		動作確認 *1	-	D	-	D	-	-	-	
			損傷の有無 *1	-	E	-	E	-	-	-	
	盤面		発錆、汚損	-	-	E	-	E	E		
			扉の開閉、施錠	-	-	H	-	H	H		
	盤内		汚損、異物	E	E	E	-	E	E		
			絶縁抵抗 *2	-	-	M	-	-	M	(自)	
			接地抵抗	-	-	M	-	-	M		
			シーケンスチェック	-	E	D	-	-	D		
	盤内器具		保護継電器の動作	-	-	D (2年毎)	-	-	D	(自)	
			取付状態	-	-	E	E	E	E		
			配線状態	-	-	E	E	E	E	(自)	
			端子・端子台の状態	-	-	E	-	E	E	(自)	
	操作スイッチ		端子符号の脱落	-	-	E	-	-	E	(自)	
			動作確認	-	H	(H)	H	-	H	(自)	
	指示計		取付状態、汚損	E	E	E	-	-	E		
			動作確認(零点及び指示)	-	E	A (2年毎)	E	-	A	(自)	
	表示器・表示灯		取付状態、汚損	-	-	E	-	-	E		
			点灯状態	-	E	(E)	E	E	E	(自)	
	運転時間計		取付状態、汚損	-	-	E	-	-	E		
			指示状態	-	E	(E)	E	-	E	(自)	
	タイマ		取付状態	-	-	E	-	-	E		
			動作確認	-	-	M	-	-	M		
	配線用遮断器		設定値の確認	-	-	E	-	-	E		
			取付状態、汚損	-	E	E	-	E	E		
			変色	-	E	E	-	E	E		
			開閉動作	-	-	D	-	-	D	(自)	
	電磁接触器		接続部	-	-	T	-	E	T		
			取付状態、汚損	-	E	E	-	E	E		
			変色	-	E	E	-	E	E		
			音響	-	S	(S)	-	-	S		
配線用漏電遮断器		動作状態	-	D	D	-	-	D	(自)		
		接触面の状態	-	-	E	-	-	E	(自)		
		接続部	-	-	T	-	E	T			
		取付状態、汚損	-	E	E	-	E	E			
計器用変成器		変色	-	E	E	-	E	E			
		開閉動作	-	-	D	-	-	D	(自)テスト釦による動作		
		接続部	-	-	T	-	E	T			
		汚損、腐食、過熱	-	E	E	-	E	E	(自)		
		音響	-	S	S	-	-	S	(自)		
		ヒューズの異常	-	E	E	-	E	E	(自)		
		接続部	-	-	T	-	E	T			
		接地線の接続状態	-	-	E	-	E	E	(自)		
進相用コンデンサ		絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)		
		接地抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)		
		汚損、油漏れ、振動、過熱、変形	-	E	E	-	E	E	(自)		
		音響	-	S	S	-	-	S	(自)		
進相用コンデンサ		機器外箱の接地	-	-	E	-	E	E	(自)		
		接続部	-	-	T	-	E	T			
		絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)		

特記事項

- *1 全般で点検する事項は網掛け部に示すものである。管理運転では、操作することで正常に動作することを確認する。また、管理運転前後には取付状態や汚損などの確認を実施する。
- *2 弱電機器には、絶縁抵抗測定禁止箇所があるので事前に確認すること。
- *3 管理運転点検は、運転時点検で確認できる場合は省略することができる。

点検・整備チェックシート 監視操作制御設備(8/15) <常用系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

監視操作制御設備(8)
 (系統機器盤)

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備							
	点検部位	施設機器 コード	点検内容	定 期 点 検			運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要
				月点検	年点検	目視点検				
系 統 機 器 盤 (リレー型・PLC型)	全般		動作確認 *1	-	D	-	D	-	-	
			損傷の有無 *1	-	E	-	E	-	-	
	盤面		発錆、汚損	-	-	E	-	E	E	
			扉の開閉、施錠	-	-	H	-	H	H	
	盤内		汚損、異物	E	E	E	-	E	E	
			絶縁抵抗 *2	-	-	M	-	-	M	(自)
			接地抵抗	-	-	M	-	-	M	
			シーケンスチェック	-	E	D	-	-	D	
			保護継電器の動作	-	-	D (2年毎)	-	-	D	(自)
	盤内器具		取付状態	-	-	E	-	E	E	
			配線状態	-	-	E	-	E	E	(自)
			端子・端子台の状態	-	-	E	-	E	E	
			端子符号の脱落	-	-	E	-	-	E	(自)
	操作スイッチ		動作確認	-	H	(H)	H	-	H	(自)
			取付状態、汚損	E	E	E	-	-	E	
	指示計		動作確認(零点及び指示)	-	E	A (2年毎)	E	-	A	(自)
			取付状態、汚損	-	-	E	-	-	E	
	表示器・表示灯		点灯状態	E	E	(E)	E	E	E	(自)
			取付状態、汚損	-	-	E	-	-	E	
	運転時間計		指示状態	-	E	(E)	E	-	E	(自)
			取付状態	-	-	E	-	-	E	
	タイマ		動作確認	-	-	M	-	-	M	
			設定値の確認	-	-	E	-	-	E	
	配線用遮断器		取付状態、汚損	-	E	E	-	E	E	
			変色	-	E	E	-	E	E	
			開閉動作	-	-	D	-	-	D	(自)
			接続部	-	-	T	-	E	T	
	電磁接触器		取付状態、汚損	-	E	E	-	E	E	
変色			-	E	E	-	E	E		
音響			-	S	(S)	-	-	S		
動作状態			-	D	D	-	-	D	(自)	
接触面の状態			-	-	E	-	-	E	(自)	
配線用漏電遮断器		取付状態、汚損	-	E	E	-	E	E		
		変色	-	E	E	-	E	E		
		開閉動作	-	-	D	-	-	D	(自)テスト釦による動作	
		接続部	-	-	T	-	E	T		
計器用変成器		汚損、腐食、過熱	-	E	E	-	E	E	(自)	
		音響	-	S	S	-	-	S	(自)	
		ヒューズの異常	-	E	E	-	E	E	(自)	
		接続部	-	-	T	-	E	T		
		接地線の接続状態	-	-	E	-	E	E	(自)	
		絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)	
		接地抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)	
進相用コンデンサ		汚損、油漏れ、振動、過熱、変形	-	E	E	-	E	E	(自)	
		音響	-	S	S	-	-	S	(自)	
		機器外箱の接地	-	-	E	-	E	E	(自)	
		接続部	-	-	T	-	E	T		
補助継電器		絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)	
		取付状態、汚損、変色	-	-	E	-	-	E		
PLC		動作状態	-	-	D	-	-	D	シーケンスチェックによる	
		電源電圧の確認	-	-	M	-	-	M		
		入力信号の確認	-	-	D	-	-	D	シーケンスチェックによる	
		出力信号の確認	-	-	D	-	-	D	シーケンスチェックによる	
内蔵電池			-	-	-	-	-	×		
			-	-	-	-	-	×		

特記事項 *1 全般で点検する事項は網掛け部に示すものである。管理運転では、操作することで正常に動作することを確認する。また、管理運転前後には取付状態や汚損などの確認を実施する。
 *2 弱電機器には、絶縁抵抗測定禁止箇所があるので事前に確認すること。
 *3 管理運転点検は、運転時点検で確認できる場合は省略することができる。

点検・整備チェックシート 監視操作制御設備(9/15) <常用系設備>

機 場 名：
 点検実施
 年 月 日：

**監視操作制御設備(9)
 (コントロールセンタ)**

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備									
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定 期 点 検			運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要		
				月点検	年点検	目視点検						
コ ン ト ロ ル セ ン タ	全般		動作確認 *1	-	D	-	D	-	-	-		
			損傷の有無 *1	-	E	-	E	-	-	-		
	盤面		発錆、汚損	-	-	E	-	E	E			
			扉の開閉、施錠	-	-	H	-	H	H			
	盤内		汚損、異物	E	E	E	-	E	E			
			絶縁抵抗 *2	-	-	M	-	-	M	(自)		
			接地抵抗	-	-	M	-	-	M			
			シーケンスチェック	-	E	D	-	-	D			
			保護継電器の動作	-	-	D (2年毎)	-	-	D	(自)		
	盤内器具		取付状態	-	-	E	-	E	E			
			配線状態	-	-	E	-	E	E	(自)		
			端子・端子台の状態	-	-	E	-	E	E	(自)		
			端子符号の脱落	-	-	E	-	-	E	(自)		
			主回路導体の状態	-	-	E	-	E	E			
	操作スイッチ		ヒューズ	-	-	E	-	-	E	(自)		
			動作確認	-	H	(H)	H	-	H	(自)		
	表示器・表示灯		取付状態、汚損	E	E	E	-	-	E			
			点灯状態	-	E	(E)	E	-	E	(自)		
	配線用遮断器		取付状態、汚損	-	E	E	-	E	E			
			変色	-	E	E	-	E	E			
			開閉動作	-	-	D	-	-	D	(自)		
			接続部	-	-	T	-	E	T			
	電磁接触器		取付状態、汚損	-	E	E	-	E	E			
			変色	-	E	E	-	E	E			
			音響	-	S	(S)	-	-	S			
			動作状態	-	D	D	-	-	D	(自)		
			接触面の状態	-	-	E	-	-	E	(自)		
配線用漏電遮断器		接続部	-	-	T	-	E	T				
		取付状態、汚損	-	E	E	-	E	E				
		変色	-	E	E	-	E	E				
		開閉動作	-	-	D	-	-	D	(自)テスト釦による動作			
計器用変成器		接続部	-	-	T	-	E	T				
		汚損、腐食、過熱	-	E	E	-	E	E	(自)			
		音響	-	E	S	-	-	S	(自)			
		ヒューズの異常	-	S	E	-	E	E	(自)			
		接続部	-	-	T	-	E	T				
		接地線の接続状態	-	-	E	-	E	E	(自)			
		絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)			
		接地抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)			
進相用コンデンサ		汚損、油漏れ、振動、過熱、変形	-	E	E	-	E	E	(自)			
		音響	-	S	S	-	-	S	(自)			
		機器外箱の接地	-	-	E	-	E	E	(自)			
		接続部	-	-	T	-	E	T				
		絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)			

特記事項

- *1 全般で点検する事項は網掛け部に示すものである。管理運転では、操作することで正常に動作することを確認する。また、管理運転前後には取付状態や汚損などの確認を実施する。
- *2 弱電機器には、絶縁抵抗測定禁止箇所があるので事前に確認すること。
- *3 管理運転点検は、運転時点検で確認できる場合は省略することができる。

点検・整備チェックシート 監視操作制御設備(10/15) <常用系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

監視操作制御設備(10)
 (運転支援システム)

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認	S	聴覚				

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備								
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定 期 点 検			運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要	
				月点検	年点検	目視点検					
運 転 支 援 シ ス テ ム	全般		動作確認 *1	-	D	-	D	-	-	-	
			損傷の有無 *1	-	E	-	E	-	-	-	
	盤面		発錆、汚損	-	-	E	-	E	E		
			扉の開閉、施錠	-	-	H	-	H	H		
	盤内		汚損、異物	E	E	E	-	E	E		
			絶縁抵抗 *2	-	-	M	-	-	M	(自)	
			接地抵抗	-	-	M	-	-	M		
	盤内器具		取付状態	-	-	E	E	E	E		
			配線状態	-	-	E	E	E	E	(自)	
			端子・端子台の状態	-	-	E	-	E	E		
			端子符号の脱落	-	-	E	-	-	E	(自)	
	操作スイッチ		動作確認	-	H	(H)	H	-	H	(自)	
			取付状態、汚損	E	E	E	-	-	E		
	指示計		動作確認(零点及び指示)	-	E	A (2年毎)	E	-	A	(自)	
			取付状態、汚損	-	-	E	-	-	E		
	表示器・表示灯		点灯状態	E	E	(E)	E	E	E	(自)	
			取付状態、汚損	-	-	E	-	-	E		
	運転時間計		指示状態	-	-	(E)	E	-	E	(自)	
			取付状態	-	-	E	-	-	E		
	C R Tディスプレイ (タッチパネル含む)		表示状態の確認	-	E	E	-	-	E		
輝度状態の確認			-	-	A	-	-	A			
電源ケーブル接続状態			-	-	E	-	-	E			
表示信号ケーブル接続状態			-	-	E	-	-	E			
電源電圧測定の確認			-	-	M	-	-	M			
表示面の清掃			-	-	C	-	-	C			
キーボード		キー入力の確認	-	E	E	-	-	D			
		信号ケーブル接続状態	-	-	E	-	-	E			
		キーボード本体の清掃	-	-	C	-	-	C			
マウス		動作確認	-	D	D	-	-	D			
		信号ケーブル接続状態	-	-	E	-	-	E			
		マウス本体の清掃	-	-	C	-	-	C			
プリンタ		動作確認	-	-	D	-	-	D			
		印字状態の確認	-	D	D	-	-	D	テスト印字		
		電源電圧の確認	-	-	M	-	-	M			
		電源ケーブル接続状態	-	-	E	-	-	E			
		信号ケーブル接続状態	-	-	E	-	-	E			
		電源ランプの点灯確認	-	E	E	-	-	E			
中央演算処理装置		ハードディスクの動作確認	-	D	D	-	-	D			
		FD動作確認	-	-	D	-	-	D			
		CD動作確認	-	-	D	-	-	D			
		MO動作確認	-	-	D	-	-	D			
		ファン動作確認	-	D	D	-	-	D			
		換気用フィルタ	-	C	C	-	-	×			
		電源ケーブル接続状態	-	-	E	-	-	E			
		その他ケーブル接続状態	-	-	E	-	-	E			

特記事項

- *1 致命的機器に該当する場合は実施すること。その内容は網掛け部に示すものである。
 管理運転では、操作することで正常に動作することを確認する。また、管理運転前後には取付状態や汚損などの確認を実施する。
- *2 弱電機器には、絶縁抵抗測定禁止箇所があるので事前に確認すること。
- *3 管理運転点検は、運転時点検で確認できる場合は省略することができる。

点検・整備チェックシート 監視操作制御設備(11/15) <常用系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

監視操作制御設備(11)
 (CCTV設備)

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備										
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定 期 点 検			運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要			
				月点検	年点検	目視点検							
C	全般		動作確認 * 1	-	D	-	D	-	-	-			
			損傷の有無 * 1	-	E	-	E	-	-	-			
	盤面		発錆、汚損	-	-	E	-	E	E				
			扉の開閉、施錠	-	-	H	-	H	H				
	盤内		汚損、異物	E	E	E	-	E	E				
			絶縁抵抗 * 2	-	-	M	-	-	M	(自)			
			接地抵抗	-	-	M	-	-	M				
	盤内器具		取付状態	-	-	E	E	E	E				
			配線状態	-	-	E	E	E	E	(自)			
			端子・端子台の状態	-	-	E	-	E	E				
			端子符号の脱落	-	-	E	-	-	E	(自)			
	操作スイッチ		動作確認	-	H	(H)	H	-	H	(自)			
			取付状態、汚損	E	E	E	-	-	E				
	C	指示計		動作確認(零点及び指示)	-	E	A (2年毎)	E	-	A	(自)		
				取付状態、汚損	-	-	E	-	-	E			
T	表示器・表示灯		点灯状態	-	E	(E)	E	E	E	(自)			
			取付状態、汚損	-	-	E	-	-	E				
V	カメラ		電源電圧の確認	-	-	M	-	-	M				
			映像信号の確認	-	-	A	-	-	A				
			動作確認(カメラ、ヒータ、デフロスタ、ファン、ワイパ)	-	D	D	-	-	D				
			腐食、水漏れの確認	-	-	E	-	-	E				
			内部配線、取付の確認	-	-	E	-	-	E				
			照明装置の確認	-	D	D	-	-	D				
			ケーブル接続状態	-	-	E	-	-	E				
			錆、汚損の確認	-	-	E	-	-	E				
			備	拡声部		入力信号の確認	-	-	A	-	-	A	
						歪みの確認	-	-	S	-	-	S	
ケーブル接続状態	-	-				E	-	-	E				
ビデオ	操作部		録画、再生の確認	-	-	D	-	-	D				
			制御信号の確認	-	-	D	-	-	D				
モニタ			ケーブル接続状態	-	-	E	-	-	E				
			電源電圧の確認	-	-	M	-	-	M				
			モニタ表示の確認	-	E	E	-	-	E				
マイク			ケーブル接続状態	-	-	E	-	-	E				
			拡音動作の確認	-	S	S	-	-	S				
マイク			ケーブル接続状態	-	-	E	-	-	E				

特記事項

- * 1 致命的機器に該当する場合は実施すること。その内容は網掛け部に示すものである。
 管理運転では、操作することで正常に動作することを確認する。また、管理運転前後には取付状態や汚損などの確認を実施する。
- * 2 弱電機器には、絶縁抵抗測定禁止箇所があるので事前に確認すること。
- * 3 管理運転点検は、運転時点検で確認できる場合は省略することができる。

点検・整備チェックシート 監視操作制御設備(12/15) <常用系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

監視操作制御設備(12)
 (計装盤)

点検方法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判定基準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点検整備		設備区分 I : 待機系設備									
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定期点検			運転時点検	臨時点検	定期整備	摘要		
				月点検	年点検	管理運転点検						
			目視点検									
計装盤	全般		動作確認 *1	-	D	-	D	-	-	-		
			損傷の有無 *1	-	E	-	E	-	-	-		
	盤面		発錆、汚損	-	-	E	-	E	-	E		
			扉の開閉、施錠	-	-	H	-	H	-	H		
	盤内		汚損、異物	E	E	E	-	E	-	E		
			絶縁抵抗 *2	-	-	M	-	-	-	M	(自)	
			接地抵抗	-	-	M	-	-	-	M		
	盤内器具		取付状態	-	-	E	-	E	-	E		
			配線状態	-	-	E	-	E	-	E	(自)	
			端子・端子台の状態	-	-	E	-	E	-	E		
			端子符号の脱落	-	-	E	-	-	-	E	(自)	
	操作スイッチ		動作確認	-	H	(H)	H	-	H	(自)		
			取付状態、汚損	E	E	E	-	-	-	E		
	指示計		動作確認(零点及び指示)	-	E	A (2年毎)	E	-	A	(自)		
			取付状態、汚損	-	-	E	-	-	-	E		
	表示器・表示灯		点灯状態	E	E	(E)	E	-	E	(自)		
			取付状態、汚損	-	-	E	-	-	-	E		
	保護装置		保護リレーの動作	-	-	D	-	-	-	D	(自)	
			警報装置の異常	-	E	E	-	E	-	E	(自)	
			避雷器	-	E	E	-	E	-	M		
監視用センサ類		温度センサの動作	-	E	(D)	-	-	X				
		圧力センサの動作	-	E	(D)	-	-	X				
		流量センサの動作	-	E	(D)	-	-	X				
		振動センサの動作	-	E	(D)	-	-	X				
		速度センサの動作	-	E	(D)	-	-	X				
		開度センサの動作	-	E	(D)	-	-	X				
変換器、調節器		電源電圧の確認	-	-	M	-	-	M				
		入力信号の確認	-	-	M	-	-	M				
		出力信号の確認	-	-	M	-	-	M				
		設定値の確認	-	-	D	-	-	A				

特記事項

- *1 致命的機器に該当する場合は実施すること。その内容は網掛け部に示すものである。
 管理運転では、操作することで正常に動作することを確認する。また、管理運転前後には取付状態や汚損などの確認を実施する。
- *2 弱電機器には、絶縁抵抗測定禁止箇所があるので事前に確認すること。
- *3 管理運転点検は、運転時点検で確認できる場合は省略することができる。

点検・整備チェックシート 監視操作制御設備(13/15) <常用系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

監視操作制御設備(13)
 (入出力装置盤)

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備								
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定期点検			運転時点検	臨時点検	定期整備	摘 要	
				月点検	年点検	目視点検					
入出力装置盤	全般		動作確認 *1	-	D	-	D	-	-	-	
			損傷の有無 *1	-	E	-	E	-	-	-	
	盤面		発錆、汚損	-	-	E	-	E	E		
			扉の開閉、施錠	-	-	H	-	H	H		
	盤内		汚損、異物	E	E	E	-	E	E		
			絶縁抵抗 *2	-	-	M	-	-	M	(自)	
			接地抵抗	-	-	M	-	-	M		
			シーケンスチェック	-	E	D	-	-	D		
	盤内器具		取付状態	-	-	E	E	E	E		
			配線状態	-	-	E	E	E	E	(自)	
			端子・端子台の状態	-	-	E	-	E	E		
			端子符号の脱落	-	-	E	-	-	E	(自)	
	操作スイッチ		動作確認	-	H	(H)	H	-	H	(自)	
	指示計		取付状態、汚損	E	E	E	-	-	E		
			動作確認(零点及び指示)	-	E	A (2年毎)	E	-	A	(自)	
	表示器・表示灯		取付状態、汚損	-	-	E	-	-	E		
			点灯状態	E	E	(E)	E	E	E	(自)	
	タイマ		取付状態、汚損	-	-	E	-	-	E		
			動作確認	-	-	M	-	-	M		
	PLC		設定値の確認	-	-	E	-	-	E		
電源電圧の確認			-	-	M	-	-	M			
入力信号の確認			-	-	D	-	-	D			
出力信号の確認			-	-	D	-	-	D			
変換器		内蔵電池	-	-	-	-	-	×			
		電源電圧の確認	-	-	M	-	-	M			
		入力信号の確認	-	-	M	-	-	M			
		出力信号の確認	-	-	M	-	-	M			

特記事項

- *1 致命的機器に該当する場合は実施すること。その内容は網掛け部に示すものである。
 管理運転では、操作することで正常に動作することを確認する。また、管理運転前後には取付状態や汚損などの確認を実施する。
- *2 弱電機器には、絶縁抵抗測定禁止箇所があるので事前に確認すること。
- *3 管理運転点検は、運転時点検で確認できる場合は省略することができる。

点検・整備チェックシート 監視操作制御設備(14/15) <常用系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

監視操作制御設備(14)
 (変換器盤)

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置 区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備								
	点検部位	施設機器 コード	点検内容	定 期 点 検			運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要	
				目視点検	管理 運転点検	年点検					
変 換 器 盤	全般		動作確認 *1	-	D	-	D	-	-	-	
			損傷の有無 *1	-	E	-	E	-	-	-	
	盤面		発錆、汚損	-	-	E	-	E	E		
			扉の開閉、施錠	-	-	H	-	H	H		
	盤内		汚損、異物	E	E	E	-	E	E		
			絶縁抵抗 *2	-	-	M	-	-	M	(自)	
			接地抵抗	-	-	M	-	-	M		
			シーケンスチェック	-	E	D	-	-	D		
	盤内器具		取付状態	-	-	E	E	E	E		
			配線状態	-	-	E	E	E	E	(自)	
			端子・端子台の状態	-	-	E	-	E	E		
			端子符号の脱落	-	-	E	-	-	E	(自)	
	操作スイッチ		動作確認	-	H	(H)	H	-	H	(自)	
	指示計		取付状態、汚損	E	E	E	-	-	E		
			動作確認(零点及び指示)	-	E	A (2年毎)	E	-	A	(自)	
	表示器・表示灯		取付状態、汚損	-	-	E	-	-	E		
			点灯状態	-	E	(E)	E	E	E	(自)	
	タイマ		取付状態、汚損	-	-	E	-	-	E		
動作確認			-	-	M	-	-	M			
変換器		設定値の確認	-	-	E	-	-	E			
		電源電圧の確認	-	-	M	-	-	M			
		入力信号の確認	-	-	M	-	-	M			
		出力信号の確認	-	-	M	-	-	M			

特記事項

- *1 致命的機器に該当する場合は実施すること。その内容は網掛け部に示すものである。
 管理運転では、操作することで正常に動作することを確認する。また、管理運転前後には取付状態や汚損などの確認を実施する。
- *2 弱電機器には、絶縁抵抗測定禁止箇所があるので事前に確認すること。
- *3 管理運転点検は、運転時点検で確認できる場合は省略することができる。

点検・整備チェックシート 監視操作制御設備(15/15) <常用系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

監視操作制御設備(15)
(データ伝送盤)

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認		S	聴覚			

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、早急に対応すべき状態

装置 区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備									
	点検部位	施設機器 コード	点検内容	定 期 点 検			運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要		
				月点検	年点検	管理 運転点検						
デ ー タ 伝 送 盤	全般		動作確認 * 1	-	D	-	D	-	-	-		
			損傷の有無 * 1	-	E	-	E	-	-	-		
	盤面		発錆、汚損	-	-	E	-	E	E			
			扉の開閉、施錠	-	-	H	-	H	H			
	盤内		汚損、異物	E	E	E	-	E	E			
			絶縁抵抗 * 2	-	-	M	-	-	M	(自)		
			接地抵抗	-	-	M	-	-	M			
			シーケンスチェック	-	E	D	-	-	D			
	盤内器具		取付状態	-	-	E	E	E	E			
			配線状態	-	-	E	E	E	E	(自)		
			端子・端子台の状態	-	-	E	-	E	E			
			端子符号の脱落	-	-	E	-	-	E	(自)		
	表示器・表示灯			点灯状態	E	E	(E)	E	E	(自)		
	変換器		取付状態、汚損	-	-	E	-	-	E			
			電源電圧の確認	-	-	M	-	-	M			
			入力信号の確認	-	-	M	-	-	M			
	伝送装置		出力信号の確認	-	-	M	-	-	M			
電源電圧の確認			-	-	M	-	-	M				
信号レベルの測定			-	-	M	-	-	M				
接続部の確認			-	-	E	-	E	E				
			警報動作の確認	-	-	D	-	-	D	2ヶ月ごと		

特記事項

- * 1 致命的機器に該当する場合は実施すること。その内容は網掛け部に示すものである。
 管理運転では、操作することで正常に動作することを確認する。また、管理運転前後には取付状態や汚損などの確認を実施する。
- * 2 弱電機器には、絶縁抵抗測定禁止箇所があるので事前に確認すること。
- * 3 管理運転点検は、運転時点検で確認できる場合は省略することができる。

点検・整備チェックシート 主ポンプ (1/3) <常用系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

主ポンプ(1)
 (立 軸)

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、早急に対応すべき状態

装置 区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備										
	点検部位	施設機器 コード	点検内容	定 期 点 検			運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要			
				目視点検	管理 運転点検	年点検							
全般	主ポンプ全般		運転に支障のある異常が発生していないかを確認 *1	-	E	-	E	-	-	-	-	-	軸受温度、軸封部の封水量、油漏れなどを確認
本 体	吐出しベンド		ケーシングを主体とする本体振動	-	H	(M)	-	-	-	M	-	-	(据付部、吸込口、案内羽根を含む)
	インペラ		腐食	-	-	-	-	-	-	E	-	-	
			摩耗	-	-	-	-	-	-	E	-	-	
		欠損	-	-	-	-	-	-	E	-	-		
主 軸 及 び 軸 受	主軸及び軸継手全般		芯出し	-	-	-	-	-	M	-	-	-	
			錆	-	-	E	-	-	C	-	-	-	
			摩耗	-	-	E	-	-	M	-	-	-	
			締め具合	-	-	T	-	-	T	-	-	-	
			カップリングゴムの摩耗	-	-	E	-	-	M	-	-	-	
	外側軸受		温度	-	H	(M)	H	-	M	-	-	-	
			振動	-	H	(M)	H	-	M	-	-	-	
			摩耗	-	-	-	-	-	M	-	-	-	
			油脂量(質)	E	E	E	E	-	X	-	-	-	
			油漏れ	E	E	(E)	E	-	E	-	-	-	
	水中軸受 (セラミックス軸受)		摩耗	-	-	-	-	-	M	-	-	-	
			傷、割れ	-	-	-	-	-	M	-	-	-	
水中軸受 (ゴム軸受)		通水状況	-	E	(E)	E	-	E	-	-	-		
		摩耗	-	-	-	-	-	M	-	-	-		
グランドパッキン		フローサイト	-	-	-	C	-	C	-	-	-		
		温度	-	H	(H)	H	H	H	-	-	-		
		封水量 劣化	-	E	(E)	E	-	E	-	-	X		
無給水軸封装置		温度	-	H	(H)	H	H	H	-	-	-		
		漏水	-	E	(E)	E	-	E	-	-	-		
		劣化	-	-	-	-	-	X	-	-	-		
計 装 機 器	フロースイッチ		作動	-	E	W (M)	E	-	X	-	-	(M)は導通チェック	
	計器類 (圧力、温度、水位他)		圧力計指示	-	E	(E)	E	-	X	-	-		
			圧力計の零指針	E	E	E	-	-	X	-	-		
			温度計指示	-	E	(E)	E	-	E	-	-		
			水位計指示	E	E	(E)	E	-	A	-	-		
そ の 他	全般		塗装	-	-	-	-	-	X	-	-		
水 槽	吸込水槽		土砂の堆積	-	-	M	-	-	C	-	-		
			水位	E	E	M	E	-	M	-	-		

特記事項

- *1 全般で点検する事項は網掛け部に示す事項である。管理運転では、動作時にケーシング振動や軸受温度や封水量、油漏れなどを確認する。また、管理運転前後には油脂量などの確認を実施する。
- *2 ポンプ本体の内部状況については、設置場所の水質や環境を考慮して点検する。
- *3 管理運転点検は、運転時点検で確認できる場合は省略することができる。

点検・整備チェックシート 主ポンプ (2/3) < 常用系設備 >

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

主ポンプ(2)
 (横 軸)

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認		S				聴覚

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、早急に対応すべき状態

装置区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備							
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定期点検		年点検	運転時点検	臨時点検	定期整備	摘 要
				月点検	目視点検					
全般	主ポンプ全般		運転に支障のある異常が発生していないかを確認 *1	—	E	—	—	—	—	軸受温度、軸封部の封水量、油漏れなどを確認
	ケーシング		ケーシングを主体とする本体振動	—	H	(M)	—	—	M	(据付部、吸込口、案内羽根を含む)
	インペラ		腐食	—	—	—	—	—	E	
			摩耗	—	—	—	—	—	E	
	主軸及び軸継手全般		欠損	—	—	—	—	—	E	
			芯出し	—	—	—	—	—	M	
	外側軸受		錆	—	—	E	—	—	C	
			摩耗	—	—	E	—	—	M	
	水中軸受 (セラミックス軸受)		締り具合	—	—	T	—	—	T	
			カップリングゴムの摩耗	—	—	E	—	—	M	
	水中軸受 (すべり軸受)		温度	—	H	(M)	H	—	M	
			振動	—	H	(M)	H	—	M	
	グランドパッキン		摩耗	—	—	—	—	—	M	
			油脂量(質)	E	E	E	E	—	X	
	無給水軸封装置		油漏れ	E	E	(E)	E	—	E	
			摩耗	—	—	—	—	—	M	
	潤滑油系統		傷、割れ	—	—	—	—	—	M	
			摩耗	—	—	—	—	—	M	
	軸受用グリースポンプ		温度	—	H	(H)	H	H	H	
			封水量	—	E	(E)	E	—	E	
	呼水		劣化	—	—	—	—	—	X	
			温度	—	H	(H)	H	H	H	
	計器類 (圧力、温度、水位他)		漏水	—	E	(E)	E	—	E	
			劣化	—	—	—	—	—	X	
	その他		手動の給油	—	—	E	—	—	E	
			油脂量	E	E	E	E	—	X	
	水槽		ベルトの張具合	—	—	A	—	—	X	
			運転状況	—	E	(E)	E	—	—	
	水槽		作動	—	E	C	E	—	X	
			満水維持の確認	—	E	—	E	—	—	
	計器類 (圧力、温度、水位他)		作動	—	E	W (M)	—	—	X	(M)は導通チェック
			圧力計指示	—	E	(E)	E	—	X	
	計器類 (圧力、温度、水位他)		圧力計の零指針	E	E	E	—	—	X	
			温度計指示	—	E	(E)	E	—	E	
	計器類 (圧力、温度、水位他)		水位計指示	E	E	(E)	E	—	A	
			塗装	—	—	—	—	—	X	
	水槽		土砂の堆積	—	—	M	—	—	C	
			水位	E	E	M	E	—	M	

特記事項

- *1 全般で点検する事項は網掛け部に示す事項である。管理運転では、動作時にケーシング振動や軸受温度や封水量、油漏れなどを確認する。また、管理運転前後には油脂量などの確認を実施する。
- *2 管理運転点検は、運転時点検で確認できる場合は省略することができる。

点検・整備チェックシート 主ポンプ(3/3) <常用系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

主ポンプ(3)
(水 中)

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備								
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定 期 点 検			運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要	
				月点検	年点検	管理 運転点検					
			目視点検								
全般	主ポンプ全般		運転に支障のある異常が発生していないかを確認 *1	—	E	—	E	—	—	S	異音などを確認
水中ポンプ本体	ケーシング、インペラ		腐食	—	—	—	—	—	—	W	
			摩耗	—	—	—	—	—	—	M	
			吊り金具	—	—	—	—	—	—	E	
	メカニカルシール		油量、質	—	—	—	—	—	—	X	
			摩耗	—	—	—	—	—	—	X	
	電動機		絶縁抵抗	—	—	M	—	—	—	M	(自)盤にて測定
			接地抵抗	—	—	M	—	—	—	M	
			腐食	—	—	—	—	—	—	W	
			入力電流	—	M	(M)	M	M	M	M	
	軸受		油量、質	—	—	—	—	—	—	X	
			摩耗	—	—	—	—	—	—	X	
	軸		腐食	—	—	—	—	—	—	W	
			摩耗(スリーブ)	—	—	—	—	—	—	M	
		キャブタイヤケーブル	損傷、劣化	—	—	—	—	—	—	X	
	ケーブルホルダ	シール状態	—	—	—	—	—	—	X		
	サーマルプロテクタ	導通	—	—	M	—	—	—	X		
	浸水検知器	導通	—	—	M	—	—	—	X		
計装機器	計器類 (圧力、水位他)		圧力計指示	—	E	(E)	E	—	—	X	
			圧力計の零指針	E	E	E	—	—	—	X	
			水位計指示	E	E	(E)	E	—	—	A	
その他	全般		発錆、汚損	—	—	—	—	—	—	C	
			振動	—	—	—	—	—	—	M	
			塗装	—	—	—	—	—	—	X	
水槽	吸込水槽		土砂の堆積	—	—	M	—	—	—	C	
			水位	E	E	M	E	—	—	M	

特記事項

- *1 全般で点検する事項は網掛け部に示す事項である。管理運転では、動作時の入力電流値や異音などを確認する。
- *2 管理運転点検は、運転時点検で確認できる場合は省略することができる。

点検・整備チェックシート 吐出し弁 <常用系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

吐出し弁

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備									
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定 期 点 検			運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要		
				月点検	年点検	目視点検						
手 動 式 弁	全般		動作確認 *1	-	D	-	D	-	-	-		
			損傷の有無 *1	-	E	-	E	-	-	-		
	弁箱		水抜き	-	-	-	-	-	-	-	寒冷地実施	
			腐食	-	-	E	-	-	-	E		
			劣化	-	-	E	-	-	-	E		
			塗装	-	-	-	-	-	-	X		
	水密ゴム		劣化	-	-	-	-	-	-	X		
	グランドパッキン		水漏れ	-	-	A	-	-	-	X		
	減速機構及びスピンドル部		潤滑油量	-	-	E	-	-	-	X		
			回転体の滑らかさ	-	H	H	H	-	-	H		
電 動 式 弁	全般		動作確認 *1	-	D	-	D	-	-	-		
			損傷の有無 *1	-	E	-	E	-	-	-		
	弁箱		水抜き	-	-	-	-	-	-	-	寒冷地実施	
			腐食	-	-	E	-	-	-	E		
			劣化	-	-	E	-	-	-	E		
			塗装	-	-	-	-	-	-	X		
	水密ゴム		劣化	-	-	-	-	-	-	X		
	グランドパッキン		水漏れ	-	-	A	-	-	-	X		
	減速機構及びスピンドル部		潤滑油量	-	-	E	-	-	-	X		
			音	-	S	(S)	S	-	-	S		
	開度計		零指針	-	-	E	E	-	-	A		
			作動	-	E	(E)	-	-	-	E		
	リミットスイッチ		作動	-	E	(M)	E	-	-	X		
	トルクスイッチ		作動	-	-	-	-	-	-	X		
電動機		絶縁抵抗	-	-	M	-	-	-	M	(自)盤にて測定		
		温度	-	H	(H)	-	-	-	H			

特記事項

- *1 致命的の機器に該当する場合は実施すること。全般で点検する事項は網掛け部に示す事項である。管理運転では、操作することで正常に動作することを確認する。
- *2 管理運転点検は、運転時点検で確認できる場合は省略することができる。

点検・整備チェックシート 逆流防止弁 <常用系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

逆流防止弁

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置 区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備								
	点検部位	施設機器 コ ー ド	点検内容	定 期 点 検			運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要	
				月 点 検		年 点 検					
				目 視 点 検	管 理 運 転 点 検						
逆 流 防 止 弁	全般		動作確認 * 1	-	D	-	D	-	-	-	
			損傷の有無 * 1	-	E	-	E	-	-	-	
	弁箱		腐食	-	-	-	-	-	-	E	
			塗装	-	-	-	-	-	-	X	
	弁体		腐食	-	-	-	-	-	-	E	
			塗装	-	-	-	-	-	-	X	
			変形	-	-	-	-	-	-	E	
	弁軸		腐食	-	-	-	-	-	-	E	
			回転の滑らかさ	-	-	-	-	-	-	D	

特記事項

- * 1 致命的機器に該当する場合は実施すること。
 管理運転では、操作することで正常に動作することを確認する。
- * 2 管理運転点検は、運転時点検で確認できる場合は省略することができる。

点検・整備チェックシート 主原動機(ディーゼル機関) (1/5) <常用系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

**主原動機(1)
(ディーゼル機関)(1)**

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置 区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備							摘 要
	点検部位	施設機器 コード	点検内容	定 期 点 検		運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備		
				月 点 検	年 点 検					
全般	ディーゼル機関全般		運転に支障のある異常が発生していないかを確認 *1	—	E	—	—	—	—	異音、漏れ、センサ動作などを確認
機 本 体 係	台板		締まり具合、損傷	—	E	E	E	—	—	
	シリンダヘッド		ヘッドガスケットの劣化	—	—	—	—	—	X	
			弁の摩耗パネのへたり	—	—	—	—	—	W	
			タペットの間隙	—	—	A	—	—	A	ピストン圧縮・TOPでチェック
	クランク室		シリンダライナの摩耗	—	—	—	—	—	M	(連結棒本体、歯車、ピストンブッシュを含む)
			コンロッドメタルの摩耗	—	—	—	—	—	M	
			クランクシャフトの摩耗	—	—	—	—	—	M	
			クランクシャフトメタルの摩耗	—	—	—	—	—	M	
			ボルトの緩み	—	—	T	—	—	T	
			カム軸の摩耗	—	—	—	—	—	M	
	過給機		フィルタの状況	—	—	E	—	—	X	
			振動	—	H	(H)	H	—	H	
			音	—	S	(S)	S	—	S	
			油量 *2	E	E	E	E	—	X	油ダメ付のみ
	ピストン		本体	—	—	—	—	—	W	
		ピストンの摩耗	—	—	—	—	—	M	(ピストンピン、排気弁装置部、排気弁本体含む)	
ピストンリング		ピストンリング摩耗	—	—	—	—	—	M		
	調整		調整	—	—	—	—	W	(ガバナパネ、速度設定ハンドル、軸受け、潤滑油、燃料ラック、駆動歯車を含む)	
外部軸受		油量	E	E	E	E	—	X	(フライホイール含む)	
		振動	—	H	(H)	H	—	M		
		温度	—	H	(H)	H	—	M		
		摩耗	—	—	—	—	—	M		
遠心クラッチ		動作確認	—	E	(E)	E	—	E		
		油量	E	E	E	E	—	X	給油式の場合	
		磨耗	—	—	—	—	—	M		
内部潤滑油ポンプ		振動	—	H	(H)	H	—	H	(潤滑油系統含む)	
		作動	—	S	(S)	S	—	W		
		配管漏れ	E	E	E	E	E	E		
初期潤滑油ポンプ		作動	—	S	(S)	S	—	W	(圧力調整弁、電動機含む)	
		配管漏れ	E	E	E	E	E	E		
		絶縁抵抗	—	—	M	—	—	M		
機関オイルパン		振動	—	H	(H)	H	—	H		
		オイルパン油量 *2	E	E	E	E	—	X	油交換時はタンク内清掃のこと	
潤滑油濾過器		オイルパン内腐食	—	—	—	—	—	E		
		性状分析	—	—	M	—	—	M		
潤滑油冷却器		内部清掃	—	—	C	—	—	C		
		エレメント	—	—	—	—	—	X	ペーパータイプは油交換時に交換	
クランク軸		固着(ターニング)	—	D	—	—	—	—	(歯車、軸受けを含む)	
		潤滑油冷却器								
潤滑油冷却器		漏れ	—	E	(E)	E	—	W		
		腐食(エレメント)	—	—	—	—	—	W		
		劣化(エレメント)	—	—	—	—	—	W		
		防蝕亜鉛の消耗	—	—	E	—	—	E		
	ドレン	—	—	A	—	—	A	漏水の確認		

特記事項

- *1 全般で点検する事項は網掛け部に示す事項である。
 管理運転では、動作時に振動や異音および油漏れやセンサ類の動作などを確認する。また、管理運転前後には油量や配管漏れなどの確認を実施する。
- *2 2年毎に交換。
- *3 管理運転点検は、運転時点検で確認できる場合は省略することができる。

点検・整備チェックシート 主原動機(ディーゼル機関) (2/5) <常用系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

**主原動機(2)
 (ディーゼル機関)(2)**

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備											
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定期点検		年点検	運転時点検	臨時点検	定期整備	摘 要				
				月点検	目視点検									
燃 料 系 統	燃料噴射ポンプ		ラックの動作、継手	-	-	H	-	H	-	-	H			
			エア抜き	-	-	-	-	A	-	-	-	A	(空気混入、タペット、カム軸、燃料ラック、吸気弁本体を含む)	
			ブランジャ・吐出し弁劣化	-	-	-	-	-	-	-	-	W		
			漏れ	E	-	E	-	(E)	-	E	-	E		
			油量 * 1	E	-	E	-	E	-	E	-	X	油ダメ付のみ	
			異物混入	-	-	-	-	E	-	-	-	-	-	
			突始め調整ボルト緩み	-	-	-	-	T	-	E	-	-	T	
	燃料濾過器		噴射時期	-	-	-	-	M	-	-	M			
			内部清掃	-	-	-	-	C	-	-	-	-	水分チェック	
			エア抜き	-	-	-	-	A	-	-	-	A		
	燃料弁		エレメント	-	-	-	-	E	-	-	X	付着物点検、ペーパータイプは2年毎に交換		
			噴霧テスト	-	-	-	-	A	-	-	-	A	噴口詰り、後タレチェック	
摩耗			-	-	-	-	-	-	-	-	W			
高圧管		漏れ	-	-	E	-	(E)	-	E	-	E			
		管内エア抜き	-	-	-	-	A	-	-	-	A			
		漏れ(亀裂)	-	-	E	-	(E)	-	E	E	X			
燃料供給ポンプ配管		振動	-	-	H	-	(H)	-	H	-	H			
		摩耗	-	-	-	-	-	-	-	-	W			
		腐食	-	-	-	-	E	-	-	-	E			
		漏れ	E	-	-	-	(E)	-	E	E	E			
冷 却 水 系 統	内部冷却水ポンプ	振動	-	-	H	-	(H)	-	H	-	H			
		摩耗、劣化	-	-	-	-	-	-	-	-	W			
		配管漏れ	E	-	E	-	(E)	-	E	E	E			
		配管腐食	-	-	-	-	-	-	-	-	W			
		配管振動	-	-	H	-	(H)	-	H	-	H			
		バルブ開閉	-	-	-	-	E	-	E	-	E			
		バルブ劣化	-	-	-	-	-	-	-	-	W			
温調弁		空気抜き	-	-	E	-	(E)	-	E	-	E			
		作動	-	-	E	-	(E)	-	E	-	W			
空 気 系 統	水質検査	漏れ	-	-	E	-	(E)	-	E	-	E			
		水質 * 2	-	-	-	-	-	-	-	-	M			
		作動	-	-	E	-	(E)	-	E	-	W			
		漏れ	-	-	E	-	(E)	-	E	-	E			
		配管劣化	-	-	-	-	E	-	-	-	E			
始 動 系 統	分配弁・塞止弁・操縦弁	配管漏れ	-	-	E	-	E	-	E	-	E			
		配管腐食	-	-	-	-	E	-	-	-	E			
		作動	-	-	E	-	(E)	-	E	-	X	30k用電磁弁は年点検で分解		
		劣化	-	-	-	-	E	-	-	-	X			
始 動 系 統	電磁弁・減圧弁	エア漏れ	-	-	E	-	E	-	E	-	X			
		作動確認	-	-	-	-	W	-	-	-	W	始動15分後接続配管にて機関装着後弁棒動き確認		
		エア漏れ * 3	-	-	H	-	(H)	-	H	-	H	全シリンダ		
		TPO始動(エアラン)	-	-	-	-	D	-	-	-	D			
始 動 系 統	停止用エアピストン	作動	-	-	D	-	W	-	D	-	W			
		空気漏れ	-	-	E	-	(E)	-	E	-	E			

特記事項

- * 1 2年毎に交換。
- * 2 不凍液、腐食防止剤を使用している場合の濃度管理は1年毎。
- * 3 高温変色している場合は火傷に注意すること。
- * 4 管理運転点検は、運転時点検で確認できる場合は省略することができる。

点検・整備チェックシート 主原動機(ディーゼル機関) (3/5) <常用系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

**主原動機(3)
(ディーゼル機関)(3)**

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備									
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定 期 点 検			運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要		
				月点検	年点検	管理 運転点検						
電気 始動 系統	セルモータ		ブラシの状態	—	—	E	—	—	X			
			作動	—	E	(E)	—	—	W			
			劣化	—	—	E	—	—	E			
	予熱栓		作動	—	E	(E)	—	—	X	付属の場合		
			劣化	—	E	E	—	—	X	付属の場合		
	電磁スイッチ		作動	—	E	(E)	—	—	W	(ケーブル、切替開閉器、操作開閉器、補助継電器、限時継電器、制御電源、配線用遮断器を含む)		
			劣化	—	—	E	—	—	E			
	停止ソレノイド		作動	—	D	(D)	D	—	D			
			劣化	—	—	E	—	—	E			
	計 装 器	センサ類 (温度、圧力、流れ)		水温スイッチ作動	—	E	M	—	—	X		
油温スイッチ作動				—	E	(E)	—	—	X			
油圧スイッチ作動				—	E	M	—	—	X			
空気圧スイッチ作動				—	E	(E)	—	—	X			
フロースイッチ作動				—	E	W (M)	—	—	X			
速度スイッチ作動				—	E	A	—	—	X			
冷却水温度計指示				—	E	(E)	E	—	E			
ゲージ類 (温度、圧力、回転他)			潤滑油温度計指示	—	E	(E)	E	—	E			
			排気温度計指示	—	E	(E)	E	—	E	バラツキチェック		
			冷却水圧力計指示	—	E	(E)	E	—	X			
			冷却水圧力計の零指針	E	E	E	—	—	X			
			潤滑油圧力計指示	—	E	(E)	E	—	X			
			潤滑油圧力計のゼロ指針	E	E	E	—	—	X			
			回転計指示	—	E	(E)	E	—	M	変動チェック		
消音器 排気管			腐食	—	—	E	—	—	E			
			劣化	—	—	E	—	—	E			
			漏れ	—	E	(E)	E	—	E			
			ドレン抜き	—	—	A	—	—	A			
ラジエータ			水量	—	E	E	E	—	E			
			漏れ	—	E	E	E	—	E			
			キャップ耐圧	—	E	(E)	E	—	X	圧力キャップの場合		
			劣化	—	—	E	—	—	E			
			ホース劣化	—	—	H	—	—	X			
			ファンベルト	—	E	E	—	—	X	ベルト駆動の場合		
清水冷却器			漏れ	—	E	(E)	E	—	W			
			腐食(エレメント)	—	—	—	—	—	W			
			劣化(エレメント)	—	—	—	—	—	W			
			防蝕亜鉛の消耗	—	—	E	—	—	E			
空気冷却器			腐食、劣化	—	—	—	—	—	W			
			ドレン	—	E	(E)	E	—	E			
全般 その他			塗装	—	—	—	—	—	X			

特記事項

*1 管理運転点検は、運転時点検で確認できる場合は省略することができる。

点検・整備チェックシート 主原動機(ディーゼル機関) (4/5) <常用系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

**主原動機(4)
(ディーゼル機関)(4)**

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置 区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備									
	点検部位	施設機器 コード	点検内容	定 期 点 検			運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要		
				月点検	年点検	管理 運転点検						
作業 準備 及 び 組 立	作業準備		アイソレーションの確認	-	-	-	-	-	-	E		
			弁状態の確認	-	-	-	-	-	-	E		
			電源の確認	-	-	-	-	-	-	E		
			取替部品の確認	-	-	-	-	-	-	E		
	分解前作業		デフレクション計測	-	-	-	-	-	-	M		
			水抜きの確認	-	-	-	-	-	-	E		
			残油なしの確認	-	-	-	-	-	-	E		
			LO・FOタンク弁閉の確認	-	-	-	-	-	-	H		
	分解点検・手入れ・組立		始動空気槽元弁閉の確認	-	-	-	-	-	-	H		
			主軸受	-	-	-	-	-	-	W	代表の主軸受1ヶ所のみ	
		連接棒	-	-	-	-	-	-	W			
		給・排気弁	-	-	-	-	-	-	W			
		シリンダ安全弁	-	-	-	-	-	-	X			
		給・排気レバー	-	-	-	-	-	-	W			
運 転 準 備 及 び 運 転	整備後の確認		動弁装置	-	-	-	-	-	-	W		
			デフレクション計測	-	-	-	-	-	-	M		
			オイルパン油量の確認	-	-	-	-	-	-	E		
			LO補給タンク油量の確認	-	-	-	-	-	-	E		
			過給機潤滑油量の確認	-	-	-	-	-	-	E		
			調速機潤滑油量の確認	-	-	-	-	-	-	E		
			動弁装置への注油	-	-	-	-	-	-	E		
			シリンダヘッドの異物混入確認	-	-	-	-	-	-	E		
	整備後の運転準備		クランクケースの異物混入確認	-	-	-	-	-	-	E		
			継手部締付状況の確認	-	-	-	-	-	-	E		
			冷却水通水、エア抜き	-	-	-	-	-	-	A		
			FO通油、FO噴射ポンプの エア抜き	-	-	-	-	-	-	A		
			シリンダヘッド内の潤滑油量 の確認	-	-	-	-	-	-	E		
			カム・ピストンメタル部の ターニング装置の注油	-	-	-	-	-	-	E		
整備後の運転		グリシアップ	-	-	-	-	-	-	A			
		ガバナリング注油	-	-	-	-	-	-	A			
		始動空気槽の充気	-	-	-	-	-	-	A			
		各部漏れなしの確認	-	-	-	-	-	-	E			
		アイソレーション解除の確認	-	-	-	-	-	-	E			
		ターニングエアラン	-	-	-	-	-	-	A	LOプライミングポンプ運転		
		始動状況確認	-	-	-	-	-	-	D			
		低速摺合運転	-	-	-	-	-	-	D			
	摺合運転	-	-	-	-	-	-	D				
	各部漏れなしの確認	-	-	-	-	-	-	E				
	発熱状況の確認	-	-	-	-	-	-	H	内部点検			
	注油状況の確認	-	-	-	-	-	-	E	内部点検			
	ライナ摺動部状況の確認	-	-	-	-	-	-	E	内部点検			
	各部締付の確認	-	-	-	-	-	-	E	内部点検			

特記事項
 *1 管理運転点検は、運転時点検で確認できる場合は省略することができる。

点検・整備チェックシート 主原動機(ディーゼル機関) (5/5) <常用系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

**主原動機(5)
(ディーゼル機関)(5)**

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置 区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備									
	点検部位	施設機器 コード	点検内容	定 期 点 検				運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要	
				月 点 検		年 点 検						
				目視点検	管理 運転点検							
運 転 状 況			音	-	S	(S)		S	-		S	
			排気色	-	E	(E)		E	-		E	
			ミストの状況	-	E	(E)		E	-		E	
			給気管ドレン抜き	-	A	(A)		A	-		A	
			冷却水管エア抜き	-	A	(A)		A	-		A	
			過給機停止所要時間	-	-	(M)		-	-		M	
			燃料消費量	-	-	-		-	-		M	
			発熱	-	-	(H)		H	-		H	各ポンプ軸受部、 クランクケース等
			ラック目盛	-	M	(M)		M	-		M	全シリンダ
			振動	-	H	(H)		H	-		M	高圧配管、過給機等
況 保 護 回 路 に よ る 機 関 の 停 止 確 認			断水	-	-	D		-	-		D	
			冷却水温	-	-	D		-	-		M	
			潤滑油圧	-	-	D		-	-		M	
			過速度	-	-	D		-	-		D	単独運転にて
運 転 後 の 確 認			潤滑油プライミングポンプ運転	-	E	E		E	-		E	
			ターニングによる燃料ガスの 排出	-	A	A		A	-		A	2回転またはエアラン運転後
			クランクケース内軸受	-	-	H		H	-		M	

特記事項

*1 管理運転点検は、運転時点検で確認できる場合は省略することができる。

点検・整備チェックシート 主原動機(ガスタービン機関) (1/4) <常用系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

**主原動機(6)
(ガスタービン)(1)**

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備											
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定期点検		年点検	運転時点検	臨時点検	定期整備	摘 要				
				目視点検	管理運転点検									
全般	ガスタービン全般		運転に支障のある異常が発生していないかを確認 *1	—	E	—	—	—	—	—	異音、油漏れ、センサ動作などを確認			
パッケージ及び外観	パッケージ		表示灯の点灯	E	E	E	—	—	E					
			給気取入口の閉塞有無	E	E	E	—	—	E					
			機器配管の異常な変形	E	E	E	—	—	E					
			発錆	E	E	E	—	—	E					
			燃料漏れ	E	E	E	—	—	E					
			潤滑油漏れ	E	E	E	—	—	E					
			主要機器ボルト緩み	—	—	T	—	—	T					
ガスタービン本体	圧縮機部		ケース割れ、変形	—	—	—	—	—	E					
			静翼割れ、摩耗	—	—	—	—	—	E					
			動翼割れ、変形、摩耗	—	—	—	—	—	E					
			ディスク割れ、摩耗	—	—	—	—	—	E					
			インペラ割れ、摩耗	—	—	—	—	—	E					
			ブリード弁汚れ、損傷	—	—	—	—	—	O					
			軸受摩耗	—	—	—	—	—	E					
			軸受シール変形、摩耗	—	—	—	—	—	E					
			圧縮機タービン部			ケース割れ、変形	—	—	E	—	—	E *2		
						静翼の割れ、摩耗	—	—	E	—	—	E *2		
動翼割れ、変形、摩耗	—	—				E	—	—	E *2					
ディスク割れ、摩耗	—	—				E	—	—	E *2					
軸受摩耗	—	—				—	—	—	E					
燃焼器部			ケース割れ、変形	—	—	—	—	—	E					
			静翼の割れ、摩耗	—	—	E	—	—	E *2					
			動翼割れ、変形、摩耗	—	—	E	—	—	E *2					
出力タービン部			燃料ノズル汚れ、詰り	—	—	C *3	—	—	O					
			ケース割れ、変形	—	—	E	—	—	E					
			静翼の割れ、摩耗	—	—	E	—	—	E *2					
			動翼割れ、変形、摩耗	—	—	E	—	—	E *2					
			ディスク割れ、摩耗	—	—	—	—	—	E					
			軸受摩耗	—	—	—	—	—	E					
			軸受シール変形、摩耗	—	—	—	—	—	E					
補助減速機部			ケース割れ、変形	—	—	E	—	—	E					
			歯車割れ、変形	—	—	—	—	—	E					
			軸変形、摩耗	—	—	—	—	—	E		(各軸を含む)			
			軸受摩耗	—	—	—	—	—	E					
減速機部			ケース割れ、変形	—	—	E	—	—	E					
			歯車割れ、変形	—	—	E	—	—	E					
			軸変形、摩耗	—	—	—	—	—	E		(各歯車、軸を含む)			
			軸受摩耗	—	—	—	—	—	E					
軸継手			軸受シール変形、摩耗	—	—	—	—	—	E					
			ボルト緩みの有無	—	—	T	—	—	T					
			ゴム劣化	—	—	E	—	—	X					
			ゴム汚損	—	—	E	—	—	E					
			芯狂い	—	—	—	—	—	M					
ギヤCPパネ、またはダイヤフラムCP			グリス量、漏れ	—	E	E	—	—	X					
			締まり具合	—	—	T	—	—	T					
			摩耗	—	—	E	—	—	E					
			変形、クラック	—	—	E	—	—	E					
特記事項														
ガスタービンは、航空機転用型、産業用型等によって点検・整備項目が異なる場合があるため、点検・整備に当たっては各一の取扱説明書を参考にし決定する。														
*1 全般で点検する事項は網掛け部に示す事項である。														
*2 軽油及び灯油は5年で整備を実施。A重油の場合は運転時間300時間、起動回数150回、5年のいずれか短い時間で実施。														
*3 軽油及び灯油は年点検で実施。A重油の場合は運転時間100時間、起動回数50回で実施。														
*4 管理運転点検は、運転時点検で確認できる場合は省略することができる。														

点検・整備チェックシート 主原動機(ガスタービン機関) (2/4) <常用系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

**主原動機(7)
(ガスタービン)(2)**

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備								
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定 期 点 検			運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要	
				月点検	年点検	目視点検					
電気始動装置	セルモータ		作動	—	E	(E)	E	—	E		
			摩耗	—	—	—	—	—	W	ピニオン歯車部	
			劣化	—	—	—	—	—	W		
			ブラシの状態	—	—	E	—	—	X		
セルモータ電磁スイッチ			作動	—	E	(E)	E	—	E		
			劣化	—	—	—	—	—	W		
			作動	—	E	(E)	E	—	E		
			劣化	—	—	—	—	—	W		
空気始動装置	エアモータ		作動	—	E	(E)	E	—	E		
			焼付	—	E	(E)	E	—	W		
			摩耗	—	—	—	—	—	W		
			腐食	—	—	—	—	—	W		
			かみ合わせ	—	—	—	—	—	W		
			保油量	E	E	E	E	—	E		
	オイル (エアモータ自動給油用)			注油量	—	E	(E)	E	—	E	
				作動圧力の確認	—	—	—	—	—	E	
	安全弁 起動弁ユニット			作動	—	E	(E)	E	—	E	
				フィルタの汚れ	—	—	C	—	—	C	
				ダイヤフラム	—	—	D	—	—	X	
				腐食	—	—	E	—	—	E	
配管			漏れ	—	E	(E)	E	E	E		
			劣化	—	—	E	—	—	E		
			油量	E	E	E	E	—	E		
油圧始動装置	作動油タンク		油量	E	E	E	E	—	E		
			エレメントの汚れ	—	—	E	—	—	X		
	作動油フィルタ			性状分析	—	—	M	—	—	X	
				発熱	—	—	(H)	—	—	H	
	作動油ポンプ・モータ			オイルシール漏れ	—	—	—	—	—	X	
				ケーシング内注油	—	—	—	—	—	A	
				振動	—	H	(H)	H	—	H	
				軸受温度	—	—	H	—	—	M	
				絶縁抵抗	—	—	M	—	—	M	
				軸受注油	—	—	E	E	—	X	
油圧モータ			漏れ	E	E	E	E	E	E		
			機能確認	—	E	(E)	—	—	E		
制御装置			接地抵抗	—	—	M	—	—	M		
			絶縁抵抗	—	—	M	—	—	M	弱電機器は絶縁チェック禁止のものがあるので注意	
			作動確認	—	E	(E)	—	—	E		
ガスタービン			警報、故障の確認	—	—	E	—	—	E		
			表示灯の確認	—	E	(E)	—	—	E		
			指示計の確認	—	E	A	—	—	A		
			接地抵抗	—	—	M	—	—	M		
			絶縁抵抗	—	—	M	—	—	M	弱電機器は絶縁チェック禁止のものがあるので注意	
			作動確認	—	—	E	—	—	E		
ピニン制御盤	バックアップ制御装置		警報、故障の確認	—	—	E	—	—	E		
			表示灯の確認	—	—	E	—	—	E		
			指示計の確認	—	—	A	—	—	A		
			接地抵抗	—	—	M	—	—	M		
			絶縁抵抗	—	—	M	—	—	M	弱電機器は絶縁チェック禁止のものがあるので注意	
			潤滑油圧低下	—	—	D	—	—	D	模擬信号にて	
保護回路 (機関停止確認)			潤滑油温度高	—	—	D	—	—	D	模擬信号にて	
			排気温度高	—	—	D	—	—	D	模擬信号にて	
			始動渋滞	—	—	D	—	—	D	模擬信号にて	
			過速度	—	—	D	—	—	D	模擬信号にて	

特記事項

- * 1 ガスタービンは、航空機転用型、産業用型等によって点検・整備項目が異なる場合があるため、点検・整備に当たっては各一の取扱説明書を参考に決定する。
- * 2 管理運転点検は、運転時点検で確認できる場合は省略することができる。

点検・整備チェックシート 主原動機(ガスタービン機関) (3/4) <常用系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

**主原動機(8)
(ガスタービン)(3)**

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認		S				聴覚

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置 区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備							
	点検部位	施設機器 コード	点検内容	定 期 点 検			運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要
				月 点 検	年 点 検	目 視 点 検				
潤 滑 油 系 統	潤滑油ポンプ		発熱	-	-	(H)	H	-	H	
			オイルシール漏れ	-	E	(E)	E	-	X	
			振動	-	H	(H)	H	-	H	
			音	-	S	(S)	S	-	S	
			配管漏れ	E	E	(E)	E	E	E	
	初期潤滑油ポンプ		発熱	-	-	(H)	-	-	H	立軸ガスタービン
			オイルシール漏れ	-	E	(E)	-	-	X	立軸ガスタービン
			振動	-	H	(H)	-	-	H	立軸ガスタービン
			音	-	S	(S)	-	-	S	立軸ガスタービン
			絶縁抵抗	-	-	-	-	-	M	立軸ガスタービン
燃 料 系 統	潤滑油濾過器		エレメント汚れ	-	-	E	-	-	X	
	潤滑油冷却器		汚れ	-	-	C	-	-	C	
	調整弁		漏れ	-	E	E	-	-	E	
			保持圧力の確認	-	-	E	-	-	D	
	クーラファン		汚れ	-	-	E	-	-	C	
			振動	-	H	(H)	H	-	H	
			音	-	S	(S)	S	-	S	
	潤滑油		性状分析	-	-	M	-	-	X	
	燃料制御装置(弁)		レバー等の動き	-	-	H	-	-	H	
			漏れ	E	E	E	-	-	E	
燃 料 系 統	燃料ポンプ		発熱	-	-	(H)	H	-	H	
			オイルシール漏れ	-	E	(E)	E	-	X	
			振動	-	H	(H)	H	-	H	
			音	-	S	(S)	S	-	S	
電磁弁	配管		作動	-	E	(E)	E	-	X	
			漏れ	-	E	E	-	-	E	
			腐食	-	-	E	-	-	E	
燃 料 系 統	配管		漏れ	E	E	(E)	E	E	E	
			振動	-	H	(H)	H	-	H	
			燃料濾過器		エレメントの汚れ	-	-	E	-	-
	高圧フィルタ		エレメントの汚れ	-	-	E	-	-	X	
	点火栓		スパークの確認	-	-	D	-	-	E	
			清掃	-	-	C	-	-	X	
	エキサイタ		スパークの確認	-	-	D	-	-	X	
	安全弁		作動圧力	-	-	M	-	-	M	
	燃料配管ヒータ		作動確認	-	-	H	-	-	H	
	エアアシスト圧縮機		作動	-	E	(E)	E	-	X	
振動			-	H	(H)	H	-	M		
音			-	S	(S)	S	-	S		

特記事項

- *1 ガスタービンは、航空機転用型、産業用型等によって点検・整備項目が異なる場合があるため、点検・整備に当たっては各一の取扱説明書等を参考にし決定する。
- *2 管理運転点検は、運転時点検で確認できる場合は省略することができる。

点検・整備チェックシート 主原動機(ガスタービン機関) (4/4) <常用系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

**主原動機(9)
(ガスタービン)(4)**

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認		S	聴覚			

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備									
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定 期 点 検			運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要		
				月点検	年点検	管理 運転点検						
計 装 機 器	センサ類 (温度、圧力、回転)		潤滑油圧カススイッチ作動	-	E	M	-	-	X			
			潤滑油温度センサ作動	-	-	E	-	-	E			
			温度センサ劣化	-	-	-	-	-	X			
			潤滑油温度スイッチ作動	-	-	M	-	-	X			
			回転速度ピックアップ抵抗測定	-	-	M	-	-	M			
			同上、ギャップ計測	-	-	-	-	-	M			
			排気温度センサ	-	-	M	-	-	X			
			絶縁抵抗測定	-	-	-	-	-				
			吸込フィルタ差圧計確認	-	-	M	-	-	M			
			速度変換器特性計測	-	-	M	-	-	M			
	温度変換器特性計測	-	-	M	-	-	M					
	指示計		圧力計零指針	E	E	E	-	-	X			
			温度計指示	-	E	E	-	-	A			
			差圧計零指針	-	-	E	-	-	X			
回転速度指示計零指針			-	-	E	-	-	A				
吸 気 ・ 排 気 系 統	換気ファン		振動	-	H	(H)	H	-	H			
			音	-	S	(S)	S	-	S			
	吸気フィルタ		エレメント汚れ	-	-	E	-	-	X	差圧過大で交換		
			排気ダクト	腐食	-	-	E	-	-	E		
	排気消音器		劣化	-	-	E	-	-	E			
			漏れ	-	E	(E)	E	-	E			
腐食			-	-	E	-	-	E				
劣化			-	-	E	-	-	E				
その他		漏れ	-	E	(E)	E	-	E				
		塗装	-	-	-	-	-	X				
運 転 状 況	運転状況		振動	-	H	(H)	H	-	M			
			始動時間	-	M	(M)	-	-	M			
			停止時間	-	M	(M)	-	-	M			
			回転速度	-	E	(E)	E	-	E			
			排気温度	-	E	(E)	E	-	E			
			潤滑油温	-	E	(E)	E	-	E			
			潤滑油圧	-	E	(E)	E	-	E			
			圧縮機吐出し圧力	-	E	(E)	E	-	E			
			吸気温度	-	E	(E)	E	-	M			
			始動回数計	-	-	E	-	-	E	累積		
			運転時間計	-	-	E	-	-	E	累積		
			燃料消費量	-	-	-	-	-	M			

特記事項

* 1 ガスタービンは、航空機転用型、産業用型等によって点検・整備項目が異なる場合があるため、点検・整備に当たっては各一の取扱説明書等を参考にし決定する。

* 2 管理運転点検は、運転時点検で確認できる場合は省略することができる。

点検・整備チェックシート 主原動機(電動機) <常用系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

主原動機(10)
 (電動機)

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認		S	聴覚			

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備								
	点検部位	施設機器 コード	点検内容	定 期 点 検			運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要	
				月点検	年点検	目視点検					
電 機	電動機全般		運転に支障のある異常が発生していないかを確認 *1	-	E	-	E	-	-	-	異音、温度、振動などを確認
	電動機本体		絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)盤にて測定	
			接地抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)	
			音	-	S	(S)	S	-	S	(自)	
			電流値	-	E	(E)	E	-	E		
			固定子劣化	-	-	-	-	-	W	(自)	
			回転子劣化	-	-	-	-	-	W	(自)	
			通風装置	-	-	-	-	-	W	(自)	
	センサ類		温度スイッチ	-	-	D	-	-	X		
	軸受		温度	-	H	(H)	H	-	M	(自)	
			振動	-	H	(M)	H	-	M	(自)	
			油量	E	E	E	E	-	X		
			摩耗	-	-	-	-	-	M		
	ブラシ		摩耗	-	E	E	-	-	X	(自)	
			押しバネの状態	-	-	H	-	-	H		
			火花の状況	-	E	(E)	E	-	E		
	スリップリング		摩耗	-	E	E	-	-	X	(自)	
			荒れ	-	E	E	-	-	E		
			汚れ	-	E	C	-	-	C		
			損傷	-	-	E	-	-	E		
	始動抵抗器・制御器		動作	-	E	(E)	E	-	E	(自)	
			電解液量	-	E	E	E	-	E	(自)	
			電解液劣化	-	-	-	-	-	X	(自)液体抵抗器の場合	
		液温スイッチの動作	-	-	D	-	-	X	(自)液体抵抗器の場合		
		液面レベルスイッチの動作	-	-	D	-	-	X	(自)液体抵抗器の場合		
									(自)液体抵抗器の場合		
その他	全般		塗装	-	-	-	-	-	X		

特記事項

*1 全般で点検する事項は網掛け部に示す事項である。
 管理運転では、動作時に異音や電流値やブラシの火花の状態や温度、振動などを確認する。また、管理運転前後には油量やブラシの摩耗量などの確認を実施する。

*2 管理運転点検は、運転時点検で確認できる場合は省略することができる。

点検・整備チェックシート 減速機 (1/2) <常用系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

減速機(1)
(水 冷)

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備											
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定 期 点 検			運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要				
				目視点検	管理 運転点検	年点検								
全般	減速機全般		運転に支障のある異常が発生していないかを確認 *1	—	E	—	E	—	—	—	—	—	—	異音、配管漏れなどを確認
潤滑油系統	オイルシール		漏れ	—	E	(E)	—	—	—	X	—	—	—	
	潤滑油		量(質)	E	E	E	E	—	—	X	—	—	—	
			圧力	—	E	(E)	E	—	—	E	—	—	—	
			温度	—	E	(E)	E	—	—	E	—	—	—	
	潤滑油ポンプ		音	—	S	(S)	S	—	—	S	—	—	—	
			リリーフ弁	—	—	—	—	—	—	W	—	—	—	
		本体	—	—	E	—	—	—	E	—	—	—		
潤滑油濾過器		内部清掃	—	—	C	—	—	—	C	—	—	—		
		エレメント	—	—	—	—	—	—	X	—	—	—	ペーパータイプは油交換時に交換	
冷却水系統	配管		漏れ	E	E	(E)	E	E	E	E	—	—	—	
	冷却水		圧力	—	E	(E)	E	—	—	E	—	—	—	
			フローサイト	—	—	C	—	—	—	C	—	—	—	
	潤滑油冷却器		漏れ	—	E	(E)	E	—	—	W	—	—	—	
			腐食(エレメント)	—	—	—	—	—	—	W	—	—	—	
			劣化(エレメント)	—	—	—	—	—	—	W	—	—	—	
		防蝕亜鉛の消耗	—	—	E	—	—	—	E	—	—	—		
配管		ドレン抜き	—	—	A	—	—	—	A	—	—	—	漏水の確認	
		漏れ	E	E	(E)	E	E	E	E	—	—	—		
減速機本体	振付部		腐食(内部)	—	—	—	—	—	—	W	—	—	—	
	歯車箱		基礎ボルト、ナット、架台	—	E	E	E	—	—	E	—	—	—	
			本体損傷	—	E	E	E	—	—	E	—	—	—	
	軸受		温度	—	H	M	H	—	—	M	—	—	—	
			振動	—	H	M	H	—	—	M	—	—	—	
			摩耗	—	—	—	—	—	—	M	—	—	—	
多板クラッチ	歯車		摩耗	—	—	—	—	—	—	M	—	—	—	
			温度	—	H	(M)	H	—	—	M	—	—	—	
			振動	—	H	(M)	H	—	—	M	—	—	—	
	軸受		摩耗	—	—	—	—	—	—	M	—	—	—	
			作動	—	D	(D)	D	—	—	D	—	—	—	
			リリーフ弁	—	—	—	—	—	—	W	—	—	—	
細継手	クラッチ		本体	—	—	E	—	—	—	E	—	—	—	
			音	—	S	(S)	S	—	—	S	—	—	—	
			圧力	—	E	(E)	E	—	—	E	—	—	—	
	作動油ポンプ		配管	—	E	(E)	E	E	E	E	—	—	—	
			磨耗	—	—	E	—	—	—	T	—	—	—	
			締め具合	—	—	T	—	—	—	T	—	—	—	
計装機器	センサ類 (温度、圧力、流れ)		油圧スイッチ作動	—	E	E (M)	—	—	—	X	—	—	(M)は導通チェック	
			油温スイッチ作動	—	E	(E)	—	—	—	X	—	—		
			フロスイッチ作動	—	E	W (M)	—	—	—	X	—	—	(M)は導通チェック	
	ゲージ類 (温度、圧力他)		温度計指示	—	—	E	—	—	—	E	—	—	—	
			温度計配管	—	—	E	—	—	—	E	—	—	—	
			圧力計指示	—	E	(E)	E	—	—	X	—	—	—	
その他	全般		圧力計零指針	E	E	E	—	—	—	X	—	—	—	
			圧力計配管	—	—	E	—	—	—	E	—	—	—	
	音	—	S	(S)	—	—	—	S	—	—	—	—		
	塗装	—	—	—	—	—	—	—	X	—	—	—		

特記事項
 *1 全般で点検する事項は網掛け部に示す事項である。管理運転では、動作時に異音や配管漏れおよびセンサ類の動作や温度、振動などを確認する。
 *2 管理運転点検は、運転時点検で確認できる場合は省略することができる。

点検・整備チェックシート 減速機 (2/2) <常用系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

減速機(2)
(空 冷)

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、早急に対応すべき状態

装置 区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備									
	点検部位	施設機器 コード	点検内容	定 期 点 検			運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要		
				月 点 検	年 点 検	目 視 点 検						
全般	減速機全般		運転に支障のある異常が発生していないかを確認 *1	—	E	—	E	—	—	—	異音、配管漏れなどを確認	
潤滑油系統	オイルシール		漏れ	—	E	(E)	—	—	X			
	潤滑油		量(質)	E	E	E	E	—	X			
			圧力	—	E	(E)	E	—	E			
			温度	—	E	(E)	E	—	E			
	潤滑油ポンプ		音	—	S	(S)	S	—	S			
			リリーフ弁	—	—	—	—	—	W			
		本体	—	—	E	—	—	E				
潤滑油濾過器		内部清掃	—	—	C	—	—	C				
		エレメント	—	—	—	—	—	X	ペーパータイプは油交換時に交換			
配管		漏れ	E	E	(E)	E	E	E				
減速機本体	据付部		基礎ボルト、ナット、架台	—	E	E	E	—	E			
	歯車箱		本体損傷	—	E	E	E	—	E			
	軸受		温度	—	H	(M)	H	—	M			
			振動	—	H	(M)	H	—	M			
			摩耗	—	—	—	—	—	M			
多板クラッチ	軸受		温度	—	H	(M)	H	—	M			
			振動	—	H	(M)	H	—	M			
	クラッチ 作動油ポンプ		作動	—	D	(D)	D	—	D			
			リリーフ弁	—	—	—	—	—	W			
			本体	—	—	E	—	—	E			
軸継手	軸継手		音	—	S	(S)	S	—	S			
			圧力	—	E	(E)	E	—	E			
			配管	—	E	(E)	E	E	E			
		摩 耗	—	—	E	—	—	M				
		締め具合	—	—	T	—	—	T				
計装機器	センサ類 (温度、圧力他)		油圧スイッチ作動	—	E	E (M)	—	—	X	(M)は導通チェック		
			油温スイッチ作動	—	E	(E)	—	—	X			
	ゲージ類 (温度、圧力他)		温度計指示	—	—	E	—	—	E			
			温度計配管	—	—	E	—	—	E			
			圧力計指示	—	E	(E)	E	—	X			
			圧力計零指針	E	E	E	—	—	X			
機付ファン	ファン		圧力計配管	—	—	E	—	—	E			
			音	—	S	(S)	S	(S)	S			
			損傷	—	—	—	—	—	E			
		腐食	—	—	—	—	—	E				
	本体		腐食	—	—	E	—	—	E			
ラジエーター	ファン		漏れ	E	E	E	E	—	E			
			音	—	S	(S)	S	(S)	S			
			損傷	—	—	—	—	—	E			
その他	全般		腐食	—	—	—	—	—	E			
			音	—	S	(S)	—	—	S			
			塗装	—	—	—	—	—	X			

特記事項
 *1 全般で点検する事項は網掛け部に示す事項である。管理運転では、動作時に異音や配管漏れおよびセンサ類の動作や温度、振動などを確認する。
 *2 管理運転点検は、運転時点検で確認できる場合は省略することができる。

点検・整備チェックシート 流体継手 <常用系設備>

機 場 名：
 点検実施
 年 月 日：

流体継手

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備									
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定 期 点 検			運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要		
				目視点検	管理 運転点検	年点検						
全般	流体継手全般		運転に支障のある異常が発生していないかを確認 *1	—	E	—	E	—	—	—	異音、配管漏れなどを確認	
作動油・潤滑油系統	オイルシール		漏れ	—	E	(E)	—	—	—	X		
			油	量(質)	E	E	E	E	—	—	X	
				圧力	—	E	(E)	E	—	—	E	
	作動油ポンプ		温度	—	E	(E)	E	—	—	E		
			振動	—	H	H	H	—	—	H		
			作動	—	S	(S)	S	—	—	W		
	潤滑油濾過器		配管漏れ	E	E	E	E	E	—	E		
			内部清掃	—	—	C	—	—	—	C		
			エレメント	—	—	—	—	—	—	X	ペーパータイプは油交換時に交換	
	配管		漏れ	E	E	(E)	E	E	—	E		
充排切替弁			—	E	(E)	—	—	—	E			
劣化			—	—	—	—	—	—	X			
冷却水系統	冷却水		圧力	—	E	(E)	E	E	—	E		
			フローサイト	—	—	C	—	—	—	C		
	油冷却器		腐食劣化(エレメント)	—	—	—	—	—	—	W		
			防蝕亜鉛の消耗	—	—	E	—	—	—	E		
配管		漏れ	E	E	(E)	E	E	—	E			
		腐食(内部)	—	—	—	—	—	—	W			
流体継手本体	据付部		基礎ボルト、ナット、架台	—	—	E	E	—	—	E		
			軸受	温度	—	H	(M)	H	—	—	M	
	ブレード		振動	—	H	(M)	H	—	—	M		
			摩耗	—	—	—	—	—	—	M		
			状況	—	—	—	—	—	—	E		
計装機器	センサ類 (圧力、流れ他)		油圧スイッチ作動	—	E	E (M)	—	—	—	X	(M)は導通チェック	
			フロースイッチ作動	—	E	W (M)	—	—	—	X	(M)は導通チェック	
	ゲージ類 (温度、圧力他)		温度計指示	—	—	E	—	—	—	E		
			温度計配管	—	—	E	—	—	—	E		
その他	全般		圧力計指示	—	E	(E)	E	—	—	X		
			音	—	S	(S)	—	—	—	S		
			塗装	—	—	—	—	—	—	X		

特記事項

*1 全般で点検する事項は網掛け部に示す事項である。管理運転では、動作時に異音や配管漏れおよびセンサ類の動作や温度、振動などを確認する。

*2 管理運転点検は、運転時点検で確認できる場合は省略することができる。

点検・整備チェックシート 系統機器 (1/6) <常用系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

系統機器設備(1)
 (燃料系統)(1)

点検方法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判定基準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点検整備		設備区分 I : 待機系設備										
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定期点検			運転時点検	臨時点検	定期整備	摘要			
				月点検	年点検	目視点検							
全般	燃料系統全般		動作確認 * 1	-	D	-	D	-	-				
			損傷の有無 * 1	-	E	-	E	-	-				
本体上部スラブ			亀裂	-	-	E	-	E	E	(消)			
			崩没	-	-	E	-	E	E	(消)			
			不等沈下	-	-	E	-	E	E	(消)			
タンク本体			漏洩の有無	-	-	E	-	E	E	(消)			
			通気管	位置固定の良否	-	-	E	-	E	E	(消)		
			腐食	-	-	E	-	-	E	(消)			
損傷			損傷	-	-	E	-	E	E	(消)			
			引火防止網の脱落	-	-	E	-	E	E	(消)			
			腐食	-	-	E	-	-	E	(消)			
目づまり			目づまり	-	-	E	-	-	E	(消)			
			計量口			蓋の閉鎖状況	-	-	E	-	E	E	(消)機能試験
						変形	-	-	E	-	E	E	(消)機能試験
損傷	-	-				E	-	E	E	(消)機能試験			
油面計			油量(漏れ) * 2	E	E	E	E	E	E	(消)			
			取付部の緩み	-	-	T	-	T	T	(消)			
			損傷	-	-	E	-	E	E	(消)			
汚れ			汚れ	-	-	-	-	-	C	(消)			
			指示状況	-	E	E	E	-	E	(消)			
			漏洩検知管			変形	-	-	E	-	E	E	(消)
損傷	-	-				E	-	E	E	(消)			
土砂等の堆積	-	-				-	-	-	E	(消)			
注入口			蓋の開閉状況	-	-	E	-	E	E	(消)			
			変形	-	-	E	-	E	E	(消)			
			損傷	-	-	E	-	E	E	(消)			
注入ロピット			損傷	-	-	E	-	E	E	(消)			
			亀裂	-	-	E	-	E	E	(消)			
			滯油、滯水	-	-	E	-	-	E	(消)			
土砂等の堆積			土砂等の堆積	-	-	E	-	-	E	(消)			
			油種別表示の有無	-	-	E	-	-	E	(消)			
			配管			漏洩の有無	-	-	E	-	E	E	(消)
変形	-	-				E	-	E	E	(消)			
損傷	-	-				E	-	E	E	(消)			
塗装状況			塗装状況	-	-	E	-	-	E	(消)			
			腐食	-	-	E	-	-	E	(消)			
			固定の適否	-	-	E	-	E	E	(消)			
損傷			損傷	-	-	E	-	E	E	(消)			
			漏れ	-	-	E	-	E	E	(消)			
			損傷	-	-	E	-	E	E	(消)			
開閉機能の適否			開閉機能の適否	-	-	D	-	E	D	(消)			
			配管用電気防食設備			端子箱の損傷	-	-	E	-	E	E	(消)
						土砂の堆積	-	-	E	-	-	E	(消)
端子の緩み	-	-				E	-	E	E	(消)			
接地			損傷	-	-	E	-	E	E	(消)			
			結合部の緩み	-	-	E	-	-	E	(消)			
			接地抵抗値の適否	-	-	M	-	-	M	(消)			
標識表示板			記載事項の適否	-	-	E	-	-	E	(消)			
			損傷	-	-	E	-	E	E	(消)			
			汚損	-	-	E	-	E	E	(消)			
消火器			位置	-	-	E	-	-	E				
			設置数	-	-	E	-	-	E				
			外観的機能の適否	-	-	E	-	E	E				

特記事項
 * 1 致命的機器に該当する場合は実施すること。その内容は網掛け部に示すものである。
 管理運転では、操作することで正常に動作することを確認する。また、管理運転前後には油量や漏れなどの確認を実施する。
 * 2 燃料貯槽については日常量の記録を要する。 * 3 屋外・屋内タンクは地下タンクに準ずる。
 * 4 管理運転点検は、運転時点検で確認できる場合は省略することができる。

点検・整備チェックシート 系統機器 (2/6) <常用系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

系統機器設備(2)
 (燃料系統)(2)

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置 区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備									
	点検部位	施設機器 コード	点検内容	定 期 点 検			運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要		
				目視点検	管理 運転点検	年点検						
燃料 小出槽	本体		ドレン抜き	-	-	A	-	-	A	(ストレーナ、燃料流量計を含む)		
			漏れ	E	E	E	E	E	E			
			腐食	-	-	E	-	-	E			
			油量	E	E	E	E	E	E			
			内部清掃	-	-	-	-	-	E			
	油面計			取付部の緩み	-	-	T	-	T	T		
				損傷	-	-	E	-	E	E		
				汚れ	-	-	-	-	-	C		
				指示状況	-	E	E	E	-	E		
	配管・弁			漏れ	-	-	E	-	E	E	(消)	
				腐食	-	-	E	-	-	E	(消)	
				劣化	-	-	E	-	-	E	(消)	
塗装				-	-	E	-	-	X	(消)		
燃料 移 送 ポン プ	ポンプ・電動機 (軸継手、接地を含む)		ケーシング内注油	-	-	-	-	-	A			
			漏れ	-	E	E	E	E	E	(消)		
			振動	-	H	(H)	H	-	H	(消)		
			音	-	S	(S)	S	-	S	(消)		
			軸受温度	-	-	(H)	-	-	M			
			圧力計	-	E	(E)	E	-	X	(消)		
			吐出し量	-	-	E	-	-	E			
			回転の滑らかさ	-	H	H	-	-	H			
			固定ボルトの腐食及び緩み	-	-	E	-	-	E	(消)		
			絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)盤にて測定		
			腐食	-	-	E	-	-	E	(消)		
			塗装	-	-	E	-	-	X	(消)		
			全般	-	E	E	E	-	W	(消)		
			軸継手締り具合	-	-	T	-	-	T			
			軸継手カップリングゴムの摩耗	-	-	E	-	-	M			
			接地線の断線有無	-	-	E	-	E	E	(消)		
			接地取付部の緩み等の有無	-	-	T	-	T	T	(消)		
接地抵抗	-	-	M	-	-	M	(消)					
囲い・床・ためます・ 油分離槽			損傷	-	-	E	-	E	E	(消)		
			亀裂	-	-	E	-	E	E	(消)		
			滞水、滞油	-	-	E	-	-	E	(消)		
			土砂堆積	-	-	E	-	-	E	(消)		
建築及び付属設備			屋根・壁・床・防火戸等損傷	-	-	E	-	E	E	(消)		
			換気・排出設備の損傷	-	-	(E)	-	E	E	(消)		
			機能の適否									
その他			損傷	-	-	E	-	E	E	(消)		
			滞水、滞油	-	-	E	-	-	E	(消)		
			土砂の堆積	-	-	E	-	-	E	(消)		

特記事項

*1 管理運転点検は、運転時点検で確認できる場合は省略することができる。

点検・整備チェックシート 系統機器 (3/6) <常用系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

系統機器設備(3)
 (冷却水系統) (1)

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備								
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定 期 点 検			運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要	
				目視点検	管理 運転点検	年点検					
全般	冷却水系統全般		動作確認 *1	-	D	-	D	-	-		
			損傷の有無 *1	-	E	-	E	-	-		
管内クーラ	全般		異物のつまり	-	-	E	-	-	E		
			漏れ	-	E	(E)	E	E	E		
			伝熱管腐食	-	-	-	-	-	E	E	
			伝熱管劣化(エレメント)	-	-	-	-	-	E	E	
			伝熱管清掃	-	-	-	-	-	-	C	
			塗装	-	-	-	-	-	-	X	
クーリングタワー	本体		汚れ	-	-	C	-	-	C		
			ボールタップ	-	-	C	-	-	X		
	配管・弁		漏れ	-	-	E	-	E	E		
			腐食	-	-	E	-	-	E		
電動機		劣化	-	-	E	-	-	E			
		塗装	-	-	E	-	-	X			
		音	-	S	(S)	S	-	S			
水槽類	本体		絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)盤にて測定	
			振動	-	H	(H)	H	-	H		
			塗装	-	-	E	-	-	X		
	液面計		腐食	-	-	E	-	-	E		
			劣化	-	-	E	-	-	E		
			汚れ	-	-	-	-	-	C		
			ドレン抜き	-	-	A	-	-	A		
	水中ポンプ	ポンプ・電動機		取付部の緩み	-	-	T	-	T	T	
				損傷	-	-	E	-	-	E	
				汚れ	-	-	C	-	-	C	
配管・弁			指示状況	-	E	E	E	-	E		
			絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)盤にて測定	
			メカニカルシールの摩耗	-	-	-	-	-	X		
その他		締切圧力	-	-	(E)	-	-	E			
		塗装	-	-	-	-	-	X			
		水中ケーブルの劣化	-	-	-	-	-	X			
		漏れ	-	-	E	-	-	E			
立軸ポンプ	ポンプ・電動機 (軸継手を含む)		腐食	-	-	E	-	-	E		
			劣化	-	-	E	-	-	E		
			塗装	-	-	E	-	-	X		
			吸込水槽水位の確認	E	E	E	E	-	E		
			潤滑油量	E	E	E	E	-	X		
			振動	-	H	(H)	H	-	H		
			音	-	S	(S)	S	-	S		
			軸受温度	-	H	(H)	H	-	M		
			グランド温度	-	H	(H)	-	-	X		
			締切圧力	-	-	(E)	-	-	E		
	回転の滑らかさ	-	H	H	-	-	H	(自)盤にて測定			
	配管・弁		絶縁抵抗	-	-	-	-	-	M		
			全般	-	E	E	E	-	W		
			軸継手締り具合	-	-	T	-	-	T		
軸継手カップリングゴムの摩耗			-	-	E	-	-	M			
計器		漏れ	-	-	E	-	E	E			
		腐食	-	-	E	-	-	E			
		劣化	-	-	E	-	-	E			
		塗装	-	-	E	-	-	X			
その他		圧力計	-	-	E	-	-	X			
		吸込水槽水位の確認	E	E	E	E	-	E			

特記事項

- *1 致命的機器に該当する場合は実施すること。その内容は網掛け部に示すものである。
 管理運転では、操作することで正常に動作することを確認する。また、管理運転前後には潤滑油量などの確認を実施する。
- *2 管理運転点検は、運転時点検で確認できる場合は省略することができる。

点検・整備チェックシート 系統機器 (4/6) < 常用系設備 >

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

系統機器設備(4)
 (冷却水系統) (2)

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置 区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備							
	点検部位	施設機器 コード	点検内容	定 期 点 検			運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要
				月 点 検	年 点 検	管 理 運 転 点 検				
			目 視 点 検							
横 軸 ポン プ	ポンプ・電動機 (軸継手を含む)		潤滑油量	E	E	E	E	-	X	
			振動	-	H	(H)	H	-	H	
			音	-	S	(S)	S	-	S	
			軸受温度	-	H	(M)	H	-	M	
			グランド温度	-	H	A	-	-	X	
			締切圧力	-	-	(E)	-	-	E	
			回転の滑らかさ	-	H	H	H	-	H	
			絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)盤にて測定
			全般	-	E	E	E	-	W	
			軸継手締り具合	-	-	T	-	-	T	
		軸継手カップリングゴムの摩耗	-	-	E	-	-	M		
	配管・弁		漏れ	-	-	E	-	E	E	
			腐食	-	-	E	-	-	E	
			劣化	-	-	E	-	-	E	
計器		塗装	-	-	E	-	-	X		
		圧力計	-	-	E	-	-	X		
その他		真空計	-	-	E	-	-	X		
		吸込水槽水位	E	E	E	E	-	E		
	呼水状況	-	E	(E)	E	-	E			
オ ー ト ス ト レ ー ナ	本体		塗装	-	-	E	-	-	X	
			腐食	-	-	E	-	-	W	
			劣化(エレメント)	-	-	-	-	-	X	
			作動	-	E	(E)	E	-	E	
		汚れ	-	-	C	-	-	C		
	電動機	絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)盤にて測定	
電 磁 弁	逆洗弁		作動	-	E	(E)	E	-	X	
			腐食	-	-	E	-	-	E	
			絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	
電 動 弁	本体		作動	-	E	(E)	E	-	X	
			腐食	-	-	E	-	-	E	
			絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	

特記事項

*1 管理運転点検は、運転時点検で確認できる場合は省略することができる。

点検・整備チェックシート 系統機器 (5/6) <常用系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

系統機器設備(5)
 (始動空気系統)

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置 区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備									
	点検部位	施設機器 コード	点検内容	定 期 点 検			運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要		
				目視点検	管理 運転点検	年点検						
全 般	始動空気系統全般		動作確認 * 1	—	D	—	D	—	—	—		
			損傷の有無 * 1	—	E	—	E	—	—	—		
空 気 圧 縮 機	圧縮機・電動機 (エンジンを含む)		潤滑油量 * 2	E	E	E	E	—	—	X		
			冷却水	—	E	E	E	—	—	E	水冷の場合	
			フィルタ	—	—	C	—	—	—	—	X	
			Vベルト	—	—	A	—	—	—	—	X	
			アンローダ弁	—	D	A	D	—	—	—	X	
			安全弁	—	—	A	—	—	—	—	A	
			振動	—	H	(H)	H	—	—	—	H	
			音	—	S	(S)	S	—	—	—	S	
			圧力	—	E	(E)	E	—	—	—	E	
			充填時間	—	—	M	—	—	—	—	M	
			自動ON-OFF圧力スイッチ	—	—	E	—	—	—	—	X	
			絶縁抵抗	—	—	M	—	—	—	—	M	(自) 盤にて測定
			全般	—	E	E	E	—	—	—	W	
			計器		圧力計	—	—	E	—	—	—	X
配管・弁		漏れ	—	—	E	—	—	E	E			
		腐食	—	—	E	—	—	—	E			
		劣化	—	—	E	—	—	—	E			
		塗装	—	—	E	—	—	—	X			
本 体		漏れ	—	—	E	—	E	E	E			
		腐食	—	—	E	—	—	—	E			
		塗装	—	—	E	—	—	—	X			
		ドレン抜き	—	A	A	A	—	—	A			
		損傷	—	—	E	E	—	—	X	(劣)		
		ふたの締付ボルトの磨耗	—	—	E	—	—	—	E	(劣)		
		計器		圧力計	—	E	E	—	—	X		
		圧力スイッチ	—	E	(M)	—	—	X				
配管・弁		漏れ	—	—	E	—	E	E	E			
		損傷	—	—	E	—	—	—	E	(劣)		
		腐食	—	—	E	—	—	—	E			
		塗装	—	—	E	—	—	—	X			

特記事項

- * 1 致命的機器に該当する場合は実施すること。その内容は網掛け部に示すものである。
 管理運転では、操作することで正常に動作することを確認する。また、管理運転前後には潤滑油量などの確認を実施する。
- * 2 2年毎に交換。
- * 3 管理運転点検は、運転時点検で確認できる場合は省略することができる。

点検・整備チェックシート 系統機器 (6/6) <常用系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

系統機器設備(6)
 (満水系統)

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備									
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定期点検			運転時点検	臨時点検	定期整備	摘 要		
				目視点検	管理運転点検	年点検						
全般	満水系統全般		動作確認 * 1	-	D	-	D	-	-	-		
			損傷の有無 * 1	-	E	-	E	-	-	-		
真空ポンプ	ポンプ・電動機 (軸継手を含む)		潤滑油量	E	E	E	E	-	-	X		
			振動	-	H	H	H	-	-	H		
			音	-	S	S	S	-	-	S		
			軸受温度	-	H	M	-	-	-	M		
			グランド温度	-	E	A	-	-	-	X		
			最大真空度	-	-	E	-	-	-	E		
			回転の滑らかさ	-	H	H	-	-	-	H		
			絶縁抵抗	-	-	M	-	-	-	M	(自)盤にて測定	
			真空計	-	-	E	-	-	-	E		
			塗装	-	-	E	-	-	-	E		
			全般	-	E	E	E	-	-	W		
			軸継手締め具合	-	-	T	-	-	-	T		
			軸継手カップリングゴムの摩耗	-	-	E	-	-	-	M		
			配管・弁			漏れ	-	-	E	-	-	E
腐食	-	-				E	-	-	E			
劣化	-	-				E	-	-	E			
塗装	-	-				E	-	-	X			
全般	-	-				E	-	-	X			
電磁弁	本体		作動	-	E	E	E	-	X			
			腐食	-	-	-	-	-	E			
			絶縁抵抗	-	-	-	-	-	M			
補給水槽	本体		水位	E	E	E	E	-	E			
			ボールタップの損傷	-	-	E	-	-	X			
			ボールタップの汚れ	-	-	C	-	-	C			
			水槽内部の汚れ	-	-	-	-	-	C			
			水槽の腐食	-	-	E	-	-	E			
			塗装	-	-	E	-	-	X			

特記事項

- * 1 致命的機器に該当する場合は実施すること。その内容は網掛け部に示すものである。
 管理運転では、操作することで正常に動作することを確認する。また、管理運転前後には潤滑油量などの確認を実施する。
- * 2 管理運転点検は、運転時点検で確認できる場合は省略することができる。

点検・整備チェックシート 自家発電設備(自家発電機盤) <常用系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

自家発電設備(1)
 (自家発電機盤)

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備								
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定 期 点 検			運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要	
				月点検	年点検	目視点検					
全般			動作確認 *1	-	D	-	D	-	-	-	
			損傷の有無 *1	-	E	-	E	-	-	-	-
盤面			発錆、汚損	-	-	E	-	E	E		
			扉の開閉、施錠	-	-	H	-	H	H		
盤内			汚損、異物、変色	E	E	E	-	E	E		
			温度、湿度	-	-	(M)	-	M	M		
			絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)	
			接地抵抗	-	-	M	-	-	M		
盤内器具			取付状態	-	-	E	E	E	E		
			配線状態	-	-	E	E	E	E		
			端子 端子台の状態	-	-	E	-	E	E		
			端子符号の脱落	-	-	E	-	-	E		
操作スイッチ			動作確認	-	H	(H)	H	-	H	(自)	
			取付状態、汚損	-	-	E	-	-	E		
指示計			動作確認(零点及び指示)	-	E	A (2年毎)	E	-	A	(自)	
			取付状態、汚損	-	-	E	-	-	A		
表示器・表示灯			点灯状態	-	E	(E)	E	E	E	(自)	
			取付状態、汚損	-	-	E	-	-	E		
保護装置			保護リレーの動作	-	-	D (2年毎)	-	-	D	(自)	
			警報装置の異常	-	E	E	-	E	E	(自)	
			センサの動作	-	-	D	-	-	D		
遮断器			遮断器の汚損、発錆	-	E	E	-	E	E	(自)	
			端子ひび割れ(外部)	-	E	E	-	E	E	(自)	
			遮断器の油洩れ(外部)	-	E	E	-	E	E	(自)油入りの場合	
			接触子の接触面状態	-	-	E	-	-	E	(自)	
			油量、油の汚れ	-	-	E	-	-	E	(自)油入りの場合	
			遮断動作速度	-	-	M (3年毎)	-	-	M	(自)	
			絶縁油耐圧	-	-	-	-	-	M	(自)油入りの場合	
真空度	-	-	-	-	-	M	(自)真空式の場合				
配線・漏電用遮断器			開閉動作	-	-	(D)	-	D	(自)		
計器用変成器			発錆、汚損	-	-	E	-	E	E	(自)	
			過熱	-	H	H	-	H	H	(自)	
			音響	-	S	S		S	S		
AVR			設定器・リレー等	-	-	(D)	-	-	D	(自)	
全般			接触部の確認								
			動作試験	-	D	(D)	-	-	-	(自)	

特記事項

- *1 管理運転では、操作することで正常に動作することを確認する。また、管理運転前後には取付状態や汚損などの確認を実施する。
- *2 管理運転点検は、運転時点検で確認できる場合は省略することができる。

点検・整備チェックシート 自家発電設備(ディーゼル機関) (1/5) <常用系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

**自家発電設備(2)
 (ディーゼル機関)(1)**

点検方法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S			聴覚

判定基準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点検整備		設備区分 I : 待機系設備							摘要	
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定期点検		年点検	運転時点検	臨時点検	定期整備		
				目視点検	管理運転点検						
全般	ディーゼル機関全般		運転に支障のある異常が発生していないかを確認 *1	-	E	-	E	-	-	-	異音、漏れ、センサ動作などを確認
機 本 体 係	台板		締まり具合、損傷	-	E	E	E	-	-	-	
	シリンダヘッド		ヘッドガスケットの劣化	-	-	-	-	-	-	X	
			弁の摩耗パネのへたり	-	-	-	-	-	-	W	
			タペットの間隙	-	-	A	-	-	-	A	ピストン圧縮・TOPでチェック
	クランク室		シリンダライナの摩耗	-	-	-	-	-	-	M	(連結棒本体、歯車、ピストンブッシュを含む)
			コンロッドメタルの摩耗	-	-	-	-	-	-	M	
			クランクシャフトの摩耗	-	-	-	-	-	-	M	
			クランクシャフトメタルの摩耗	-	-	-	-	-	-	M	
			ボルトの緩み	-	-	T	-	-	-	T	
			カム軸の摩耗	-	-	-	-	-	-	M	
	過給機		フィルタの状況	-	-	E	-	-	-	X	
			振動	-	H	(H)	H	-	-	H	
			音	-	S	(S)	S	-	-	S	
			油量 *2	E	E	E	E	-	-	X	油ダメ付のみ
	ピストン		本体	-	-	-	-	-	-	W	
		ピストンの摩耗	-	-	-	-	-	-	M	(ピストンピン、排気弁装置部、排気弁本体含む)	
	ピストンリング摩耗	-	-	-	-	-	-	M			
调速機		調整	-	-	-	-	-	-	W	(ガバナパネ、速度設定ハンドル、軸受け、潤滑油、燃料ラック、駆動歯車を含む)	
外部軸受		油量	E	E	E	E	-	-	X		
		振動	-	H	(H)	H	-	-	M	(フライホイール含む)	
		温度	-	H	(H)	H	-	-	M		
		摩耗	-	-	-	-	-	-	M		
遠心クラッチ		動作確認	-	E	(E)	E	-	-	E		
		油量	E	E	E	E	-	-	X	給油式の場合	
		磨耗	-	-	-	-	-	-	M		
内部潤滑油ポンプ		振動	-	H	(H)	H	-	-	H	(潤滑油系統含む)	
		作動	-	S	(S)	S	-	-	W		
		配管漏れ	-	E	E	E	E	E	E		
初期潤滑油ポンプ		作動	-	S	(S)	S	-	-	W	(圧力調整弁、電動機含む)	
		配管漏れ	-	E	E	E	E	E	E		
		絶縁抵抗	-	-	M	-	-	-	M		
機関オイルパン		振動	-	H	(H)	H	-	-	H		
		オイルパン油量 *2	E	E	E	E	-	-	X	油交換時はタンク内清掃のこと	
潤滑油濾過器		オイルパン内腐食	-	-	-	-	-	-	E		
		性状分析	-	-	M	-	-	-	M		
潤滑油冷却器		内部清掃	-	-	C	-	-	-	C		
		エレメント	-	-	-	-	-	-	X	ペーパータイプは油交換時に交換	
クランク軸		固着(ターニング)	-	D	-	-	-	-	-	(歯車、軸受けを含む)	
潤滑油冷却器		漏れ	E	E	(E)	E	-	-	W		
		腐食(エレメント)	-	-	-	-	-	-	W		
		劣化(エレメント)	-	-	-	-	-	-	W		
		防蝕亜鉛の消耗	-	-	E	-	-	-	E		
	ドレン	-	-	A	-	-	-	A	漏水の確認		

特記事項

- *1 全般で点検する事項は網掛け部に示す事項である。
 管理運転では、動作時に振動や異音および油漏れやセンサ類の動作などを確認する。また、管理運転前後には油量や配管漏れなどの確認を実施する。
- *2 2年毎に交換。
- *3 管理運転点検は、運転時点検で確認できる場合は省略することができる。

点検・整備チェックシート 自家発電設備(ディーゼル機関) (2/5) <常用系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

**自家発電設備(3)
 (ディーゼル機関)(2)**

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置 区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備							摘 要		
	点検部位	施設機器 コード	点検内容	定 期 点 検		運 転 時 間 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備				
				月 点 検	年 点 検							
燃 料 系 統	燃料噴射ポンプ		ラックの動作、継手	—	H	H	H	—	H	(空気混入、タペット、カム軸、燃料ラック、吸気弁本体を含む)		
			エア抜き	—	—	A	—	—	A			
			ブランジャ・吐出し弁劣化	—	—	—	—	—	—		W	
			漏れ	E	E	(E)	E	—	—		E	
			油量 *1	E	E	E	E	—	—		X	油ダメ付のみ
			異物混入	—	—	E	—	—	—		—	—
			突始め調整ボルト緩み	—	—	T	—	—	—		T	—
	燃料濾過器		内部清掃	—	—	C	—	—	—	水分チェック		
	エア抜き		—	—	A	—	—	—	A	—		
	エレメント		—	—	E	—	—	—	X	付着物点検、ペーパータイプは2年毎に交換		
	燃料弁		噴霧テスト	—	—	A	—	—	—	A	噴口詰り、後タレチェック	
			摩耗	—	—	—	—	—	—	—	W	
	高圧管		漏れ	—	E	(E)	E	—	—	E	—	
			管内エア抜き	—	—	A	—	—	—	—	A	—
	燃料供給ポンプ 配管		漏れ(亀裂)	—	E	(E)	E	E	—	X	—	
振動			—	H	(H)	H	—	—	—	H		
摩耗			—	—	—	—	—	—	—	—	W	
冷 却 水 系 統	内部冷却水ポンプ		腐食	—	—	E	—	—	—	E	—	
			漏れ	E	E	(E)	E	E	—	E	—	
			振動	—	H	(H)	H	—	—	—	H	
			ドレン量	—	—	E	—	—	—	—	E	多ければ測定
			振動	—	H	(H)	H	—	—	—	H	
温調弁		摩耗、劣化	—	—	—	—	—	—	—	W		
		作動	—	E	(E)	E	—	—	—	W		
空 気 系 統	水質検査		漏れ	—	E	(E)	E	—	—	E	—	
			水質 *2	—	—	—	—	—	—	—	M	
			作動	—	E	(E)	E	—	—	—	W	
			漏れ	—	E	(E)	E	—	—	—	E	
			配管劣化	—	—	E	—	—	—	—	E	
始 動 系 統	分配弁・塞止弁・操縦弁		配管漏れ	—	E	E	E	E	—	E	—	
			配管腐食	—	—	E	—	—	—	—	E	
			作動	—	E	(E)	E	—	—	—	X	30k用電磁弁は年点検で分解
電磁弁・減圧弁			劣化	—	—	E	—	—	—	X	—	
			エア漏れ	—	E	E	E	—	—	—	X	
			作動確認	—	—	W	—	—	—	—	W	始動15分後接続配管にて 機関装着後弁棒動き確認
始動弁			エア漏れ *3	—	H	(H)	H	—	—	H	始動15分後接続配管にて 機関装着後弁棒動き確認	
			TPO始動(エアラン)	—	—	D	—	—	—	—	D	全シリンダ
停止用エアピストン			作動	—	D	W	D	—	—	W	—	
			空気漏れ	—	E	(E)	E	—	—	—	E	

特記事項

- *1 2年毎に交換。
- *2 不凍液、腐食防止剤を使用している場合の濃度管理は1年毎。
- *3 高温変色している場合は火傷に注意すること。
- *4 管理運転点検は、運転時点検で確認できる場合は省略することができる。

点検・整備チェックシート 自家発電設備(ディーゼル機関) (3/5) <常用系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

**自家発電設備(4)
(ディーゼル機関)(3)**

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備									
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定 期 点 検			運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要		
				月点検	年点検	目視点検						
電気始動系統	セルモータ		ブラシの状態	—	—	E	—	—	X			
			作動	—	E	(E)	E	—	W			
			劣化	—	—	E	—	—	E			
	予熱栓		作動	—	E	(E)	—	—	X	付属の場合		
			劣化	—	E	(E)	—	—	X	付属の場合		
	電磁スイッチ		作動	—	E	(E)	E	—	W	(ケーブル、切替開閉器、操作開閉器、補助継電器、限時継電器、制御電源、配線用遮断器を含む)		
			劣化	—	—	E	—	—	E			
	停止ソレノイド		作動	—	D	(D)	D	—	D			
			劣化	—	—	E	—	—	E			
	計装機器	センサ類 (温度、圧力、流れ)		水温スイッチ作動	—	E	M	—	—	X		
油温スイッチ作動				—	E	(E)	—	—	X			
油圧スイッチ作動				—	E	M	—	—	X			
空気圧スイッチ作動				—	E	(E)	—	—	X			
フロースイッチ作動				—	E	W (M)	—	—	X			
速度スイッチ作動				—	E	A	—	—	X			
ゲージ類 (温度、圧力、回転他)				冷却水温度計指示	—	E	(E)	E	—	E		
	潤滑油温度計指示			—	E	(E)	E	—	E			
	排気温度計指示			—	E	(E)	E	—	E	バラツキチェック		
	冷却水圧力計指示			—	E	(E)	E	—	X			
消音器・排気管	消音器		腐食	—	—	E	—	—	E			
			劣化	—	—	E	—	—	E			
			漏れ	—	E	(E)	E	—	E			
			ドレン抜き	—	—	A	—	—	A			
	排気管			腐食	—	—	E	—	—	E		
				劣化	—	—	E	—	—	E		
				漏れ	—	E	(E)	E	—	E		
冷却装置	ラジエータ		水量	—	E	E	E	—	E			
			漏れ	—	E	E	E	—	E			
			キャップ耐圧	—	E	(E)	E	—	X	圧力キャップの場合		
			劣化	—	—	E	—	—	E			
	清水冷却器			ホース劣化	—	—	H	—	—	X		
				ファンベルト	—	E	E	—	—	X	ベルト駆動の場合	
				漏れ	—	E	(E)	E	—	W		
空気冷却器			腐食(エレメント)	—	—	—	—	—	W			
			劣化(エレメント)	—	—	—	—	—	W			
その他	全般		防蝕亜鉛の消耗	—	—	E	—	—	E			
			腐食、劣化	—	—	—	—	—	W			
			ドレン	—	E	(E)	E	—	E			
その他	全般		塗装	—	—	—	—	—	X			

特記事項
 *1 管理運転点検は、運転時点検で確認できる場合は省略することができる。

点検・整備チェックシート 自家発電設備(ディーゼル機関) (4/5) <常用系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

**自家発電設備(5)
 (ディーゼル機関)(4)**

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置 区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備									
	点検部位	施設機器 コード	点検内容	定 期 点 検			運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要		
				月点検	年点検	管理 運転点検						
作業 準備 及 び 組 立	作業準備		アイソレーションの確認	-	-	-	-	-	-	E		
			弁状態の確認	-	-	-	-	-	-	E		
			電源の確認	-	-	-	-	-	-	-	E	
			取替部品の確認	-	-	-	-	-	-	-	E	
	分解前作業		デフレクション計測	-	-	-	-	-	-	M		
			水抜きの確認	-	-	-	-	-	-	-	E	
			残油なしの確認	-	-	-	-	-	-	-	E	
			LO・FOタンク弁閉の確認	-	-	-	-	-	-	-	H	
	分解点検・手入れ・組立		始動空気槽元弁閉の確認	-	-	-	-	-	-	H		
			主軸受	-	-	-	-	-	-	W	代表の主軸受1ヶ所のみ	
連接棒			-	-	-	-	-	-	-	W		
給・排気弁			-	-	-	-	-	-	-	W		
シリンダ安全弁			-	-	-	-	-	-	-	X		
給・排気レバー			-	-	-	-	-	-	-	W		
整備後の確認		動弁装置	-	-	-	-	-	-	W			
		デフレクション計測	-	-	-	-	-	-	-	M		
		オイルパン油量の確認	-	-	-	-	-	-	-	E		
		LO補給タンク油量の確認	-	-	-	-	-	-	-	E		
		過給機潤滑油量の確認	-	-	-	-	-	-	-	E		
		调速機潤滑油量の確認	-	-	-	-	-	-	-	E		
		動弁装置への注油	-	-	-	-	-	-	-	E		
		シリンダヘッドの異物混入確認	-	-	-	-	-	-	-	E		
		クランクケースの異物混入確認	-	-	-	-	-	-	-	E		
		継手部締付状況の確認	-	-	-	-	-	-	-	E		
運転 準備 及 び 運 転		冷却水通水、エア抜き	-	-	-	-	-	-	-	A		
		FO通油、FO噴射ポンプの エア抜き	-	-	-	-	-	-	-	A		
		シリンダヘッド内の潤滑油量 の確認	-	-	-	-	-	-	-	E		
		カム・ピストンメタル部の ターニング装置の注油	-	-	-	-	-	-	-	E		
		グリスアップ	-	-	-	-	-	-	-	A		
		ガバナリング注油	-	-	-	-	-	-	-	A		
		始動空気槽の充気	-	-	-	-	-	-	-	A		
		各部漏れなしの確認	-	-	-	-	-	-	-	E		
		アイソレーション解除の確認	-	-	-	-	-	-	-	E		
		整備後の運転		ターニングエアラン	-	-	-	-	-	-	A	LOプライミングポンプ運転
始動状況確認	-			-	-	-	-	-	-	D		
低速摺合運転	-			-	-	-	-	-	-	D		
摺合運転	-			-	-	-	-	-	-	D		
各部漏れなしの確認	-			-	-	-	-	-	-	E		
発熱状況の確認	-			-	-	-	-	-	-	H	内部点検	
注油状況の確認	-			-	-	-	-	-	-	E	内部点検	
ライナ摺動部状況の確認	-			-	-	-	-	-	-	E	内部点検	
各部締付の確認	-	-	-	-	-	-	-	E	内部点検			

特記事項
 *1 管理運転点検は、運転時点検で確認できる場合は省略することができる。

点検・整備チェックシート 自家発電設備(ディーゼル機関) (5/5) <常用系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

**自家発電設備(6)
 (ディーゼル機関)(5)**

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置 区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備							
	点検部位	施設機器 コード	点検内容	定 期 点 検			運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要
				月点検	年点検	目視点検				
運 転 状 況	運転状況		音	-	S	(S)	S	-	S	
			排気色	-	E	(E)	E	-	E	
			ミストの状況	-	E	(E)	E	-	E	
			給気管ドレン抜き	-	A	(A)	A	-	A	
			冷却水管エア抜き	-	A	(A)	A	-	A	
			過給機停止所要時間	-	-	(M)	-	-	M	
			燃料消費量	-	-	-	-	-	M	
			発熱	-	-	(H)	H	-	H	各ポンプ軸受部、 クランクケース等
			ラック目盛	-	M	(M)	M	-	M	全シリンダ
			振動	-	H	(H)	H	-	M	高圧配管、過給機等
保 護 回 路 に よ る 機 関 の 停 止 確 認	保護回路による機関の 停止確認		断水	-	-	D	-	-	D	
			冷却水温	-	-	D	-	-	M	
			潤滑油圧	-	-	D	-	-	M	
			過速度	-	-	D	-	-	D	単独運転にて
運 転 後 の 確 認	運転後の確認		潤滑油プライミングポンプ運転	-	E	E	E	-	E	
			ターニングによる燃料ガスの 排出	-	A	A	A	-	A	2回転またはエアラン運転後
			クランクケース内軸受	-	-	H	H	-	M	

特記事項

*1 管理運転点検は、運転時点検で確認できる場合は省略することができる。

点検・整備チェックシート 自家発電設備(ガスタービン)(1/4) <常用系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

**自家発電設備(7)
(ガスタービン)(1)**

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S			聴覚

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備											
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定期点検		年点検	運転時点検	臨時点検	定期整備	摘 要				
				目視点検	管理運転点検									
全般	ガスタービン全般		運転に支障のある異常が発生していないかを確認 *1	—	E	—	—	—	—	—	異音、油漏れ、センサ動作などを確認			
パッケージ及び外観	パッケージ		表示灯の点灯	E	E	E	—	—	E					
			給気取入口の閉塞有無	E	E	E	—	—	E					
			機器配管の異常な変形	E	E	E	—	—	E					
			発錆	E	E	E	—	—	E					
			燃料漏れ	E	E	E	—	—	E					
			潤滑油漏れ	E	E	E	—	—	E					
			主要機器ボルト緩み	—	—	T	—	—	T					
ガスタービン本体	圧縮機部		ケース割れ、変形	—	—	—	—	—	E					
			静翼割れ、摩耗	—	—	—	—	—	E					
			動翼割れ、変形、摩耗	—	—	—	—	—	E					
			ディスク割れ、摩耗	—	—	—	—	—	E					
			インペラ割れ、摩耗	—	—	—	—	—	E					
			ブリード弁汚れ、損傷	—	—	—	—	—	O					
			軸受摩耗	—	—	—	—	—	E					
			軸受シール変形、摩耗	—	—	—	—	—	E					
			圧縮機タービン部			ケース割れ、変形	—	—	E	—	—	E *2		
						静翼の割れ、摩耗	—	—	E	—	—	E *2		
動翼割れ、変形、摩耗	—	—				E	—	—	E *2					
ディスク割れ、摩耗	—	—				E	—	—	E *2					
軸受摩耗	—	—				—	—	—	E					
燃焼器部			ケース割れ、変形	—	—	—	—	—	E					
			静翼の割れ、摩耗	—	—	E	—	—	E *2					
			動翼割れ、変形、摩耗	—	—	E	—	—	E *2					
出力タービン部			ライナ汚れ、変形、割れ	—	—	E	—	—	O *2					
			出口ダクト変形、割れ	—	—	E	—	—	E *2					
			燃料ノズル汚れ、詰り	—	—	C *3	—	—	O					
			ケース割れ、変形	—	—	E	—	—	E					
			静翼の割れ、摩耗	—	—	E	—	—	E *2					
			動翼割れ、変形、摩耗	—	—	E	—	—	E *2					
			ディスク割れ、摩耗	—	—	—	—	—	E					
排気ケーシング部			軸受摩耗	—	—	—	—	—	E					
			軸受シール変形、摩耗	—	—	—	—	—	E					
			補助減速機部			ケース割れ、変形	—	—	E	—	—	E		
						歯車割れ、変形	—	—	—	—	—	E		
減速機部			軸変形、摩耗	—	—	—	—	—	E	(各軸を含む)				
			軸受摩耗	—	—	—	—	—	E					
			軸受シール変形、摩耗	—	—	—	—	—	E					
			ケース割れ、変形	—	—	E	—	—	E					
軸継手			歯車割れ、変形	—	—	E	—	—	E	(各歯車、軸を含む)				
			軸変形、摩耗	—	—	—	—	—	E					
			軸受摩耗	—	—	—	—	—	E					
			軸受シール変形、摩耗	—	—	—	—	—	E					
			ボルト緩みの有無	—	—	T	—	—	T					
ギヤCPパネ、またはダイヤフラムCP			ゴム劣化	—	—	E	—	—	X					
			ゴム汚損	—	—	E	—	—	E					
			芯狂い	—	—	—	—	—	M					
			グリス量、漏れ	—	E	E	—	—	X					
			締まり具合	—	—	T	—	—	T					
モーター			摩耗	—	—	E	—	—	E					
			変形、クラック	—	—	E	—	—	E					

特記事項
 ガスタービンは、航空機転用型、産業用型等によって点検・整備項目が異なる場合があるため、点検・整備に当たっては各一の取扱説明書を参考にし決定する。
 *1 全般で点検する事項は網掛け部に示す事項である。
 *2 軽油及び灯油は5年で整備を実施。A重油の場合は運転時間300時間、起動回数150回、5年のいずれか短い時間で実施。
 *3 軽油及び灯油は年点検で実施。A重油の場合は運転時間100時間、起動回数50回で実施。
 *4 管理運転点検は、運転時点検で確認できる場合は省略することができる。

点検・整備チェックシート 自家発電設備(ガスタービン)(2/4) < 常用系設備 >

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

**自家発電設備(8)
(ガスタービン)(2)**

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備								
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定 期 点 検			運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要	
				目視点検	管理 運転点検	年点検					
電気始動装置	セルモータ		作動	—	E	(E)	E	—	E		
			摩耗	—	—	—	—	—	W	ピニオン歯車部	
			劣化	—	—	—	—	—	W		
			ブラシの状態	—	—	E	—	—	X		
セルモータ電磁スイッチ			作動	—	E	(E)	E	—	E		
			劣化	—	—	—	—	—	W		
			作動	—	E	(E)	E	—	E		
			劣化	—	—	—	—	—	W		
空気始動装置	エアモータ		作動	—	E	(E)	E	—	E		
			焼付	—	E	(E)	E	—	W		
			摩耗	—	—	—	—	—	W		
			腐食	—	—	—	—	—	W		
			かみ合わせ	—	—	—	—	—	W		
	オイル (エアモータ自動給油用)			保油量	—	E	E	E	—	E	
				注油量	—	E	(E)	E	—	E	
	安全弁 起動弁ユニット			作動圧力の確認	—	—	—	—	—	E	
				作動	—	E	(E)	E	—	E	
				フィルタの汚れ	—	—	C	—	—	C	
配管			ダイヤフラム	—	—	D	—	—	X		
			腐食	—	—	E	—	—	E		
			漏れ	—	E	(E)	E	E	E		
油圧始動装置	作動油タンク		油量	E	E	E	E	—	E		
			エレメントの汚れ	—	—	E	—	—	X		
	作動油フィルタ			性状分析	—	—	M	—	—	X	
				発熱	—	—	(H)	—	—	H	
	作動油ポンプ・モータ			オイルシール漏れ	—	—	—	—	—	X	
				ケーシング内注油	—	—	—	—	—	A	
				振動	—	H	(H)	H	—	H	
				軸受温度	—	—	H	—	—	M	
				絶縁抵抗	—	—	M	—	—	M	
	油圧モータ			軸受注油	—	—	E	—	X		
配管・付属品			漏れ	E	E	E	E	E	E		
			機能確認	—	E	(E)	—	—	E		
ガスタービン制御盤	制御装置		接地抵抗	—	—	M	—	—	M		
			絶縁抵抗	—	—	M	—	—	M	弱電機器は絶縁チェック禁止のものがあるので注意	
			作動確認	—	E	(E)	—	—	E		
	盤			警報、故障の確認	—	—	E	—	—	E	
				表示灯の確認	—	E	(E)	—	—	E	
				指示計の確認	—	E	A	—	—	A	
バックアップ制御装置	バックアップ制御装置		接地抵抗	—	—	M	—	—	M		
			絶縁抵抗	—	—	M	—	—	M	弱電機器は絶縁チェック禁止のものがあるので注意	
			作動確認	—	—	E	—	—	E		
	保護回路 (機関停止確認)			警報、故障の確認	—	—	E	—	—	E	
				表示灯の確認	—	—	E	—	—	E	
				指示計の確認	—	—	A	—	—	A	
保護回路 (機関停止確認)			接地抵抗	—	—	M	—	—	M		
			絶縁抵抗	—	—	M	—	—	M	弱電機器は絶縁チェック禁止のものがあるので注意	
			潤滑油圧低下	—	—	D	—	—	D	模擬信号にて	
			潤滑油温度高	—	—	D	—	—	D	模擬信号にて	
保護回路 (機関停止確認)			排気温度高	—	—	D	—	—	D	模擬信号にて	
			始動渋滞	—	—	D	—	—	D	模擬信号にて	
保護回路 (機関停止確認)			過速度	—	—	D	—	—	D	模擬信号にて	

特記事項

- * 1 ガスタービンは、航空機転用型、産業用型等によって点検・整備項目が異なる場合があるため、点検・整備に当たっては各一の取扱説明書等を参考にし決定する。
- * 2 管理運転点検は、運転時点検で確認できる場合は省略することができる。

点検・整備チェックシート 自家発電設備(ガスタービン)(3/4) <常用系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

**自家発電設備(9)
(ガスタービン)(3)**

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、早急に対応すべき状態

装置 区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備								
	点検部位	施設機器 コード	点検内容	定 期 点 検			運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要	
				月 点 検	年 点 検	目 視 点 検					
潤 滑 油 系 統	潤滑油ポンプ		発熱	—	—	(H)	H	—	H		
			オイルシール漏れ	—	E	(E)	E	—	X		
			振動	—	H	(H)	H	—	H		
			音	—	S	(S)	S	—	S		
			配管漏れ	E	E	(E)	E	E	E		
	初期潤滑油ポンプ		発熱	—	—	(H)	—	—	H	立軸ガスタービン	
			オイルシール漏れ	—	E	(E)	—	—	X	立軸ガスタービン	
			振動	—	H	(H)	—	—	H	立軸ガスタービン	
			音	—	S	(S)	—	—	S	立軸ガスタービン	
			絶縁抵抗	—	—	—	—	—	M	立軸ガスタービン	
	潤滑油濾過器		配管漏れ	E	E	(E)	E	E	E	立軸ガスタービン	
			エレメント汚れ	—	—	E	—	—	X		
			潤滑油冷却器	汚れ	—	—	C	—	—	C	
			調整弁	漏れ	—	E	E	—	—	E	
				保持圧力の確認	—	—	E	—	—	D	
クーラファン		汚れ	—	—	E	—	—	C			
		振動	—	H	(H)	H	—	H			
		音	—	S	(S)	S	—	S			
潤滑油		性状分析	—	—	M	—	—	X			
燃 料 系 統	燃料制御装置(弁)		レバー等の動き	—	—	H	—	—	H		
			漏れ	—	E	E	—	—	E		
	燃料ポンプ		発熱	—	—	(H)	H	—	H		
			オイルシール漏れ	—	E	(E)	E	—	X		
			振動	—	H	(H)	H	—	H		
	電磁弁		音	—	S	(S)	S	—	S		
			作動	—	E	(E)	E	—	X		
			漏れ	—	E	E	—	—	E		
	配管		腐食	—	—	E	—	—	E		
			漏れ	E	E	(E)	E	E	E		
			振動	—	H	(H)	H	—	H		
	燃料濾過器		エレメントの汚れ	—	—	E	—	—	X		
	高圧フィルタ		エレメントの汚れ	—	—	E	—	—	X		
	点火栓		スパークの確認	—	—	D	—	—	E		
			清掃	—	—	C	—	—	X		
エキサイタ		スパークの確認	—	—	D	—	—	X			
安全弁		作動圧力	—	—	M	—	—	M			
燃料配管ヒータ		作動確認	—	H	H	—	—	H			
エアアシスト圧縮機		作動	—	E	(E)	E	—	X			
		振動	—	H	(H)	H	—	M			
		音	—	S	(S)	S	—	S			

特記事項

- * 1 ガスタービンは、航空機転用型、産業用型等によって点検・整備項目が異なる場合があるため、点検・整備に当たっては各一の取扱説明書等を参考にし決定する。
- * 2 管理運転点検は、運転時点検で確認できる場合は省略することができる。

点検・整備チェックシート 自家発電設備(ガスタービン)(4/4) <常用系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

**自家発電設備(10)
(ガスタービン)(4)**

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備									
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定 期 点 検			運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要		
				月点検	年点検	目視点検						
計 装 機 器	センサ類 (温度、圧力、回転)		潤滑油圧カススイッチ作動	-	E	M	-	-	X			
			潤滑油温度センサ作動	-	-	E	-	-	E			
			温度センサ劣化	-	-	-	-	-	X			
			潤滑油温度スイッチ作動	-	-	M	-	-	X			
			回転速度ピックアップ抵抗測定	-	-	M	-	-	M			
			同上、ギャップ計測	-	-	-	-	-	M			
			排気温度センサ	-	-	M	-	-	X			
			絶縁抵抗測定	-	-	-	-	-				
			吸込フィルタ差圧計確認	-	-	M	-	-	M			
			速度変換器特性計測	-	-	M	-	-	M			
	温度変換器特性計測	-	-	M	-	-	M					
	指示計		圧力計零指針	E	E	E	-	-	X			
			温度計指示	-	E	E	-	-	A			
			差圧計零指針	-	-	E	-	-	X			
回転速度指示計零指針			-	-	E	-	-	A				
吸 気 ・ 排 気 系 統	換気ファン		振動	-	H	(H)	H	-	H			
			音	-	S	(S)	S	-	S			
	吸気フィルタ		エレメント汚れ	-	-	E	-	-	X	差圧過大で交換		
			排気ダクト	腐食	-	-	E	-	-	E		
	排気消音器		劣化	-	-	E	-	-	E			
			漏れ	-	E	(E)	E	-	E			
腐食			-	-	E	-	-	E				
劣化			-	-	E	-	-	E				
その他		漏れ	-	E	(E)	E	-	E				
		塗装	-	-	-	-	-	X				
運 転 状 況	運転状況		振動	-	H	(H)	H	-	M			
			始動時間	-	M	(M)	-	-	M			
			停止時間	-	M	(M)	-	-	M			
			回転速度	-	E	(E)	E	-	E			
			排気温度	-	E	(E)	E	-	E			
			潤滑油温	-	E	(E)	E	-	E			
			潤滑油圧	-	E	(E)	E	-	E			
			圧縮機吐出し圧力	-	E	(E)	E	-	E			
			吸気温度	-	E	(E)	E	-	M			
			始動回数計	-	-	E	-	-	E	累積		
			運転時間計	-	-	E	-	-	E	累積		
			燃料消費量	-	-	-	-	-	M			

特記事項

* 1 ガスタービンは、航空機転用型、産業用型等によって点検・整備項目が異なる場合があるため、点検・整備に当たっては各一の取扱説明書等を参考にし決定する。

* 2 管理運転点検は、運転時点検で確認できる場合は省略することができる。

点検・整備チェックシート 自家発電設備(発電機) <常用系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

自家発電設備(11)
 (発電機)

点検方法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認		S				聴覚

判定基準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点検整備		設備区分 I : 待機系設備											
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定期点検		年点検	運転時点検	臨時点検	定期整備	摘要				
				月点検	目視点検									
全般	発電機全般		運転に支障のある異常が発生していないかを確認 *1	-	E	-	-	-	-	-	-	-	-	異音、温度、振動などを確認
発電機	発電機本体		絶縁抵抗	-	-	M	-	-	-	M	(自)盤にて測定			
			接地抵抗	-	-	M	-	-	-	M	(自)			
			音	-	S	(S)	-	-	-	S	(自)			
			固定子劣化	-	-	-	-	-	-	W	(自)			
			回転子劣化	-	-	-	-	-	-	W	(自)			
			通風装置	-	-	-	-	-	-	W	(自)			
			フレーム・ブラケット各部の変形、錆の有無	-	E	E	-	-	-	E	(自)			
			カップリング・基礎締付ボルトの緩み	-	E	E	-	-	-	E	(自)			
			保護カバー通風口の状態	-	E	E	-	-	-	E	(自)			
			塵埃、油等の付着の有無	-	E	E	-	-	-	E	(自)			
		絶縁診断	-	-	-	-	-	-	M	(自)3KV以上の発電機				
		温度スイッチ	-	-	D	-	-	-	X	(自)				
		温度計等付属品の取付状態	-	-	E	-	-	-	E	(自)				
		軸受		温度	-	H	(M)	-	-	M	(自)			
				振動	-	H	(H)	-	-	H	(自)			
				油量	E	E	E	-	-	X				
				摩耗	-	-	-	-	-	M				
		ブラシ		摩耗	-	E	E	-	-	X	(自)			
				押しバネの状態	-	-	H	-	-	H				
				火花の状況	-	E	E	-	-	E				
	スリップリング		摩耗	-	E	E	-	-	X	(自)				
			荒れ	-	E	E	-	-	E					
			汚れ	-	E	C	-	-	C					
	端子		口出線の劣化、汚損、損傷の有無	-	-	E	-	-	E	(自)				
			端子箱・保護カバーの取付状態	-	-	E	-	-	E	(自)				
			接続部・ケーブルヘッド絶縁処理の状態	-	-	E	-	-	E	(自)				
その他	全般		塗装	-	-	-	-	-	X					

特記事項

- *1 致命的機器に該当する場合は実施すること。その内容は網掛け部に示すものである。
 管理運転では、動作時に異音やブラシの火花の状態や温度、振動などを確認する。また、管理運転前後には油量やブラシの摩耗量などの確認を実施する。
- *2 管理運転点検は、運転時点検で確認できる場合は省略することができる。

点検・整備チェックシート 電源設備(1/11) <常用系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

電源設備(1)
 (特高圧受変電)(1)

点検方法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判定基準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点検整備		設備区分 I : 待機系設備							
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定期点検			運転時点検	臨時点検	定期整備	摘要
				月点検	年点検	目視点検				
全般	電源設備全般		動作確認 * 1	-	D	-	D	-	-	
			損傷の有無 * 1	-	E	-	E	-	-	
受電部	引込ブッシング 断路器(特高)		汚損、破損状態	-	E	E	-	E	C	
			接触部状態	-	E	E	-	E	C	(自)
			碍子汚損、破損状態	-	E	E	-	E	C	(自)
			開閉操作	-	-	D	-	-	D	(自)
			接続部	-	-	T	-	E	T	
			空気操作機構部	-	-	-	-	-	X	
	遮断器(特高)		絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)
			碍子汚損、破損状態	-	E	E	-	E	C	(自)
			表示灯点灯状態	-	E	(E)	E	E	E	(自)
			油量、油汚損状態	-	E	E	-	E	E	(自)油入りの場合
			開閉操作	-	-	D	-	-	D	(自)
			接続部	-	-	T	-	E	T	(自)
			絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)
			接地抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)
			遮断動作速度	-	-	M (3年毎)	-	-	M	(自)
			開極・投入時の最小動作電流及び電圧	-	-	M (3年毎)	-	-	M	(自)
	避雷器(特高)		絶縁油耐圧	-	-	M (3年毎)	-	-	M	(自)油入りの場合
			遮断部	-	-	-	-	-	W	(自)油入りの場合
			碍子汚損、破損状態	-	E	E	-	E	C	(自)
			接続部	-	-	T	-	E	T	(自)
		動作表示部	-	E	E	-	E	X	動作後交換	
		絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)	
		接地抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)	
		漏れ電流	-	-	-	-	-	M		
ガス絶縁開閉装置			碍子汚損、破損状態	-	E	E	-	E	C	(自)
			ガス圧	-	E	E	-	-	E	
		開閉操作	-	-	D	-	E	D	(自)	
		絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)	
		接地抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)	
		遮断動作速度	-	-	M (3年毎)	-	-	M	(自)	
		開極・投入時の最小動作電流及び電圧	-	-	M (3年毎)	-	-	M	(自)	
		ガス分析	-	-	-	-	-	M		
		ガス充填部腐食劣化	-	-	E	-	-	E	(自)(労)	
	変電部	変圧器(特高)		碍子汚損、破損状態	-	E	E	E	E	E
			油量、油汚損状態	-	E	E	E	E	E	(自)油入りの場合
			騒音、振動状態	-	E	E	E	E	E	(自)
			絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)
			接地抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)
			乾燥剤劣化	-	E	E	-	-	E	(自)
			絶縁油耐圧	-	-	-	-	-	M	(自)
			油中ガス分析	-	-	-	-	-	M	(自)
			接続部	-	-	T	-	E	T	
計器用変成器(特高)				碍子汚損、破損状態	-	E	E	-	E	C
		油量、油汚損状態	-	E	E	-	E	E	油入りの場合	
		接続部	-	-	T	-	E	T		
		絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)	
		接地抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)	
	鉄構		母線緩み状態	-	-	E	-	E	E	(自)
		碍子汚損、破損状態	-	-	E	-	E	C	(自)	
	絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)		

特記事項
 * 1 致命的機器に該当する場合は実施すること。全般で点検する事項は網掛け部に示す事項である。
 管理運転では、動作時に正常に状態表示されることなどを確認する。また、管理運転前後には汚損や劣化状態などの確認を実施する。
 * 2 管理運転点検は、運転時点検で確認できる場合は省略することができる。

点検・整備チェックシート 電源設備(2/11) <常用系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

電源設備(2)
 (特高圧受変電)(2)

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認		S				聴覚

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装 置 区 分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備								
	点検部位	施設機器 コード	点検内容	定 期 点 検			運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要	
				月点検	年点検	目視点検					
変 電 部	圧縮空気発生装置 (圧縮空気槽)		騒音	-	S	S	S	-	S		
			圧力	-	E	E	E	-	E		
			ドレン抜き	-	A	A	A	-	A		
			圧力計	-	E	E	E	-	X		
			本体の損傷	-	-	E	-	-	E	(自)(労)	
			蓋の締付ボルト摩耗	-	-	E	-	-	E	(自)(労)	
			弁・管の損傷	-	-	E	-	-	E	(自)(労)	
	電力用コンデンサ			碍子汚損、破損状態	-	E	E	-	E	C	(自)
				絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)
				接続部	-	-	T	-	E	T	
				tan δ 容量測定	-	-	-	-	-	M	
	変圧器二次盤			盤面の状態	-	-	E	-	E	E	
				扉の開閉施錠	-	-	H	-	H	H	
				メータの零点	E	E	A	E	-	A	(自)
				メータの汚れ	-	-	E	-	-	E	
				表示灯点灯状態	-	E	(E)	E	E	E	(自)
				配線取付状態	-	-	E	E	E	E	(自)
				主回路導体の状態	-	E	E	-	E	E	
				配線端子符号の脱落	-	-	E	-	-	E	(自)
				ケーブル端子の状態	-	-	E	-	E	E	
				警報装置の異常	-	-	E	-	-	E	(自)
				接続部	-	-	T	-	E	T	
				絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)
				接地抵抗	-	-	M	-	-	M	
				保護継電器の動作	-	-	D (2年毎)	-	-	D	(自)
				計器校正	-	-	A (2年毎)	-	-	A	(自)
	遮断器(高圧)			汚損、発錆(外部)	-	E	E	-	E	E	(自)
				碍子ひび割れ(外部)	-	E	E	-	E	E	(自)
				油漏れ(外部)	-	E	E	-	E	E	(自)
				機器外箱の接地	-	E	E	-	E	E	(自)
				接触子の接触面状態	-	-	E	-	-	E	(自)
				接触子の油漏れ	-	-	E	-	-	E	(自)油入りの場合
				付属装置の状態	-	-	E	-	-	E	(自)
				遮断動作速度	-	-	M (3年毎)	-	-	M	(自)
				開極・投入時の最小動作 電流及び電圧	-	-	M (3年毎)	-	-	M	(自)
				絶縁油耐圧	-	-	-	-	-	M	(自)油入りの場合
				真空度	-	-	-	-	-	M	(自)真空式の場合
				操作機構	-	-	D	-	-	D	(自)
				計器用変成器(高圧)			汚損、腐食、過熱	-	E	E	-
	音響、ヒューズの異常	-	E				E	-	E	E	(自)
接地線の状態	-	E	E				-	E	E	(自)	
接続部	-	-	T				-	E	T	(自)	
発錆、配線状態	-	-	E				-	E	E		
絶縁抵抗	-	-	M				-	-	M	(自)	
接地抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)				

特記事項

*1 管理運転点検は、運転時点検で確認できる場合は省略することができる。

点検・整備チェックシート 電源設備(3/11) <常用系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

電源設備(3)
 (特高圧受変電)(3)

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備							
	点検部位	施設機器 コード	点検内容	定 期 点 検			運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要
				月点検	年点検	管理 運転点検				
			目視点検							
受 電 設 備	高圧配電盤		盤面の状態	-	-	E	-	E	E	
			扉の開閉施錠	-	-	H	-	H	H	
			メータの零点	E	E	A	E	-	A	(自)
			メータの汚れ	-	-	E	-	-	E	
			表示灯点灯状態	-	E	(E)	E	E	E	(自)
			配線取付状態	-	-	E	E	E	E	(自)
			主回路導体の状態	-	E	E	-	E	E	
			配線端子符号の脱落	-	-	E	-	-	E	(自)
			ケーブル端子の状態	-	-	E	-	E	E	
			警報装置の異常	-	-	E	-	-	E	(自)
			接続部	-	-	T	-	E	T	
			絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)
			接地抵抗	-	-	M	-	-	M	
			保護継電器の動作	-	-	D (2年毎)	-	-	D	(自)
		計器校正	-	-	A (2年毎)	-	-	A	(自)	
	遮断器(高圧)		汚損、発錆(外部)	-	E	E	-	E	E	(自)
			碍子ひび割れ(外部)	-	E	E	-	E	E	(自)
			油漏れ(外部)	-	E	E	-	E	E	(自)油入りの場合
			機器外箱の接地	-	E	E	-	E	E	(自)
			表示灯	-	E	(E)	E	E	E	(自)
			接触子の接触面状態	-	-	E	-	-	E	(自)
			油量、油汚れ	-	-	E	-	-	E	(自)油入りの場合
			付属装置の状態	-	-	E	-	-	E	(自)
			遮断動作速度	-	-	M (3年毎)	-	-	M	(自)
			開極・投入時の最小動作	-	-	M (3年毎)	-	-	M	(自)
			電流及び電圧	-	-	-	-	-	-	
			絶縁油耐圧	-	-	-	-	-	M	(自)油入りの場合
			真空度	-	-	-	-	-	M	(自)真空式の場合
			操作機構	-	-	D	-	-	D	(自)
	計器用変成器(高圧)		絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)
			接地抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)
			接続部	-	-	T	-	E	T	
			汚損、腐食、過熱	-	E	E	-	E	E	(自)
		音響、ヒューズの異常	-	E	E	-	E	E	(自)	
		接地線の状態	-	E	E	-	E	E	(自)	
	発錆、配線状態	-	-	E	-	E	E			
	絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)		
	接地抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)		

特記事項

* 1 管理運転点検は、運転時点検で確認できる場合は省略することができる。

点検・整備チェックシート 電源設備(4/11) <常用系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

電源設備(4)
 (特高圧受変電)(4)

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備								
	点検部位	施設機器 コード	点検内容	定 期 点 検			運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要	
				月点検	年点検	目視点検					
変 圧 器	変圧器盤		盤面の状態	-	-	E	-	E	E		
			扉の開閉施錠	-	-	H	-	H	H		
			メータの零点	E	E	A	E	-	A	(自)	
			メータの汚れ	-	-	E	-	-	E		
			表示灯点灯状態	-	E	(E)	E	E	E	(自)	
			配線取付状態	-	-	E	E	E	E	(自)	
			主回路導体の状態	-	E	E	-	E	E		
			配線端子符号の脱落	-	-	E	-	-	E	(自)	
			ケーブル端子の状態	-	-	E	-	E	E		
			警報装置の異常	-	-	E	-	-	E	(自)	
			接続部	-	-	T	-	E	T		
			絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)	
			接地抵抗	-	-	M	-	-	M		
			保護継電器の動作	-	-	D (2年毎)	-	-	D	(自)	
			計器校正	-	-	A (2年毎)	-	-	A	(自)	
	変圧器(高圧)			外部点検 (汚損、油漏れ、振動、音響、過熱)	-	E	E	E	E	E	(自)
				機器外箱の接地	-	-	E	E	E	E	(自)
				乾燥剤の劣化	-	E	E	-	-	E	(自)油入で密封してないもの
				各部の損傷、腐食、発錆 緩み、汚損	-	E	E	-	E	E	(自)
				接続部	-	-	T	-	E	T	
内部点検(油の汚れ)				-	-	-	-	-	E	(自)	
内部点検(切換タップ)				-	-	-	-	-	E	(自)	
内部点検(リード線)				-	-	-	-	-	E	(自)	
内部点検(鉄心)				-	-	-	-	-	E	(自)	
内部点検(油量)				-	-	-	-	-	E	(自)油入りの場合	
絶縁油耐圧				-	-	-	-	-	M	(自)油入りの場合	
配線用遮断器の状態				-	E	E	-	-	E		
配線用遮断器の開閉動作				-	-	D	-	D	D		
接地抵抗				-	-	M	-	-	M	(自)	
気中開閉器(高低圧)						受と刃の接触、変色、緩み	-	E	E	-	E
	碍子の汚損、ひび割れ、発錆	-	E			E	-	E	E	(自)	
	接地線の緩み、断線	-	E			E	-	E	E		
	操作機構	-	-			D	-	-	D	(自)止め装置機能含む	
	接続部	-	-			T	-	E	T		
	絶縁抵抗	-	-			M	-	-	M	(自)	
	接地抵抗	-	-			M	-	-	M		
配 電 設 備	低圧配電盤(共通)		盤面の状態	-	-	E	-	E	E		
			扉の開閉施錠	-	-	H	-	H	H		
			メータの零点	E	E	A	E	-	A	(自)	
			メータの汚れ	-	-	E	-	-	E		
			表示灯点灯状態	-	E	E	E	E	E	(自)	
			計器・切換開閉器	-	E	E	-	-	E	(自)	
			操作機構	-	D	D	-	D	D	(自)	
			配線取付状態	-	-	E	E	E	E	(自)	
			主回路導体の状態	-	E	E	-	E	E		
			配線端子符号の脱落	-	-	E	-	-	E	(自)	
			ケーブル端子の状態	-	-	E	-	E	E		
			警報装置の異常	-	-	E	-	-	E	(自)	
			接続部	-	-	T	-	E	T		
			絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)	
			接地抵抗	-	-	M	-	-	M		
			保護継電器の動作	-	-	D (2年毎)	-	-	D	(自)	
			計器校正	-	-	A (2年毎)	-	-	A	(自)	

特記事項
 *1 管理運転点検は、運転時点検で確認できる場合は省略することができる。

点検・整備チェックシート 電源設備(5/11) <常用系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

電源設備(5)
 (特高圧受変電)(5)

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認		S	聴覚			

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備							
	点検部位	施設機器 コ ー ト	点検内容	定 期 点 検			運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要
				月 点 検	年 点 検	年 点 検				
直 流 電 源 設 備	盤面		発錆、汚損	—	—	E	—	E	E	
			扉の開閉、施錠	—	—	H	—	H	H	
	盤内		汚損、異物	E	E	E	—	E	E	
			温度、湿度	—	—	(M)	—	M	M	
			絶縁抵抗	—	—	M	—	—	M	(自)
			接地抵抗	—	—	M	—	—	M	(自)
	盤内器具		取付状態	—	—	E	E	E	E	
			配線状態	—	—	E	E	E	E	
			端子・端子台の状態	—	—	E	—	E	E	
	操作スイッチ		端子符号の脱落	—	—	E	—	—	E	
			動作確認	—	H	(H)	H	—	H	(自)
	指示計		取付状態、汚損	—	—	E	—	—	E	
			動作確認(零点及び指示)	—	E	A (2年毎)	E	—	A	(自)
	表示器・表示灯		取付状態、汚損	—	—	E	—	—	A	(自)
			点灯状態	—	E	(E)	E	E	E	(自)
	保護装置		取付状態、汚損	—	—	E	—	—	E	
			保護リレーの動作	—	—	D (2年毎)	—	—	D	(自)
			警報装置の異常	—	E	E	—	E	E	(自)
	蓄電池		センサの動作チェック	—	—	D	—	—	D	
			端子の汚損、緩み、蓄電池液面、沈殿物、極板の汚損、脱落	—	E	E	—	E	E	(自)
			セパレータの破損	—	E	E	—	E	E	(自)
			均等充電	—	A	A	—	—	A	均等充電実施
			支持台の腐食、損傷、耐酸塗装のはくり	—	—	E	—	E	E	(自)
蓄電池比重、液面、端子電圧			—	M	M	—	—	M	(自)代表電池	
充電装置ヒューズ			—	E	E	—	—	E	(自)	
部屋床面の腐食、損傷			—	—	E	—	—	E	(自)	
充電装置の動作			—	—	D	—	—	D	(自)	
電解コンデンサ			—	—	E	E	E	X		
無 停 電 源 設 備		変圧器、リアクトル外観	—	—	E	E	E	E		
		冷却ファン振動	—	—	E	E	E	E		
		盤面の状態	—	—	E	—	E	E		
		扉の開閉施錠	—	—	H	—	H	H		
		メータの零点	E	E	A	E	—	A	(自)	
		メータの汚れ	—	—	E	—	—	E		
		表示灯点灯状態	—	E	(E)	E	E	E	(自)	
		配線取付状態	—	—	E	E	E	E	(自)	
		主回路導体の状態	—	E	E	—	E	E		
		配線端子符号の脱落	—	—	E	—	—	E	(自)	
		ケーブル端子の状態	—	—	E	—	E	E		
		接続部	—	—	T	—	E	T		
		絶縁抵抗	—	—	M	—	—	M	(自)	
		接地抵抗	—	—	M	—	—	M		
		保護回路、警報回路の動作	—	—	D	—	—	D	(自)	
計器校正	—	—	A (2年毎)	—	—	A	(自)			
蓄電池		端子の汚損、緩み、蓄電池液面、沈殿物、極板の損傷、脱落	—	E	E	—	E	E	(自)	
		セパレータの破損	—	E	E	—	E	E	(自)	
		均等充電	—	A	A	—	—	A		
		支持台の腐食、損傷	—	—	E	—	E	E	(自)	
		蓄電池比重、液面、端子電圧	—	M	M	—	—	M	(自)	
		電解液にごり	—	E	E	—	E	E		

特記事項

*1 管理運転点検は、運転時点検で確認できる場合は省略することができる。

点検・整備チェックシート 電源設備(6/11) <常用系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

電源設備(6)
 (高圧受変電)(1)

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備									
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定 期 点 検			運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要		
				目視点検	管理 運転点検	年点検						
全般	電源設備全般		動作確認 * 1	-	D	-	D	-	-	-		
			損傷の有無 * 1	-	E	-	E	-	-	-		
受電部	引込柱		汚損、ひび割れ	E	E	E	-	E	E			
			傾斜	E	E	E	-	E	E			
			腕金発錆、変形、腐食	E	E	E	-	E	E			
			碍子の汚損、ひび割れ	E	E	E	-	E	E			
			玉碍子の破損	E	E	E	-	E	E			
			支持クリップの脱落	-	-	E	-	E	E			
			支持の緩み	-	-	H	-	H	H			
	電線・支持物		電線の高さ及び他工作物と樹木との離隔距離	-	-	E	-	E	E	(自)		
			標識・保護柵の状況	-	-	E	-	E	E	(自)		
			支線グリップの脱落	-	-	E	-	E	E	(自)		
ケーブル		電柱・腕木・碍子・支線	-	-	E	-	E	E	(自)			
		保護柵等の損傷、腐食	-	-	E	-	E	E	(自)			
		電線の碍子捕縛状況	-	-	E	-	E	E	(自)			
		絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)			
		ヘッド等端末部の腐食、損傷	-	E	E	-	E	E	(自)			
		コンパウンド油漏れ	-	E	E	-	E	E	(自)			
		露出部の腐食、亀裂、損傷	-	-	E	-	E	E	(自)			
		ピット内浸水、小動物侵入防	-	-	E	-	E	E				
		絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)			
		母線		たるみ	-	-	E	-	E	E	(自)	
他との離隔距離	-			-	E	-	E	E	(自)			
接続部クランプ類の腐食、損傷、過熱	-			-	E	-	E	E	(自)			
碍子類の緩み	-			-	E	-	E	E	(自)			
支持物の腐食	-			-	E	-	E	E	(自)			
母線の損傷、変形、緩み	-			-	E	-	E	E	(自)			
絶縁抵抗	-			-	M	-	-	M	(自)			
高圧引込盤				盤面の状態	-	-	E	-	E	E		
				扉の開閉施錠	-	-	H	-	H	H		
				メータの零点	E	E	A	E	-	A	(自)	
		メータの汚れ	-	-	E	-	E	E				
		表示灯点灯状態	-	E	(E)	E	-	E	(自)			
		配線取付状態	-	-	E	E	E	E	(自)			
		主回路導体の状態	-	E	E	-	E	E				
		配線端子符号の脱落	-	-	E	-	-	E	(自)			
		ケーブル端子の状態	-	-	E	-	E	E				
		警報装置の異常	-	-	E	-	-	E	(自)			
		接続部	-	-	T	-	E	T				
		絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)			
		接地抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)			
		保護継電器の動作	-	-	D (2年毎)	-	-	D	(自)			
		計器校正	-	-	A (2年毎)	-	-	A	(自)			
断路器		受と刃の接触、変形、緩み	-	E	E	-	E	E	(自)			
		碍子の汚損、ひび割れ	-	E	E	-	E	E	(自)			
		止め装置の機能	-	-	D	-	-	D	(自)			
		操作機能	-	-	D	-	-	D	(自)			
		絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)			
避雷器		接続部	-	-	T	-	E	T				
		外部点検(損傷、亀裂、汚損)	-	E	E	-	E	E	(自)			
		絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)			
			接地抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)		

特記事項

- * 1 致命的機器に該当する場合は実施すること。全般で点検する事項は網掛け部に示す事項である。
 管理運転では、動作時に正常に状態表示されることなどを確認する。また、管理運転前後には汚損や劣化状態などの確認を実施する。
- * 2 管理運転点検は、運転時点検で確認できる場合は省略することができる。

点検・整備チェックシート 電源設備(7/11) <常用系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

電源設備(7)
 (高圧受変電)(2)

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置 区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備							
	点検部位	施設機器 コード	点検内容	定 期 点 検			運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要
				月 点 検	年 点 検	目 視 点 検				
受 電 設 備	高圧受電盤		盤面の状態	-	-	E	-	E	E	
			扉の開閉施錠	-	-	H	-	H	H	
			メータの零点	E	E	A	E	-	A	(自)
			メータの汚れ	-	-	E	-	-	E	
			表示灯点灯状態	-	E	(E)	E	E	E	(自)
			配線取付状態	-	-	E	E	E	E	
			主回路導体の状態	-	E	E	-	E	E	
			配線端子符号の脱落	-	-	E	-	-	E	(自)
			ケーブル端子の状態	-	-	E	-	E	E	
			警報装置の異常	-	-	E	-	-	E	(自)
			接続部	-	-	T	-	E	T	
			絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)
			接地抵抗	-	-	M	-	-	M	
			保護継電器の動作	-	-	D (2年毎)	-	-	D	(自)
	計器校正	-	-	A (2年毎)	-	-	A	(自)		
	遮断器		汚損、発錆(外部)	-	E	E	-	E	E	(自)
			磚子ひび割れ(外部)	-	E	E	-	E	E	(自)
			油漏れ(外部)	-	E	E	-	E	E	(自)油入りの場合
			機器外箱の接地	-	E	E	-	E	E	(自)
			表示灯	-	E	E	-	E	E	(自)
			接触子の接触面状態	-	-	E	-	-	E	(自)
			油量、油汚れ	-	-	E	-	-	E	(自)油入りの場合
			付属装置の状態	-	-	E	-	-	E	(自)
			遮断動作速度	-	-	M (3年毎)	-	-	M	(自)
			開極、投入時の最小動作	-	-	M (3年毎)	-	-	M	(自)
			電流及び電圧	-	-	-	-	-	-	
			絶縁油耐圧	-	-	-	-	-	M	(自)油入りの場合
			真空度	-	-	-	-	-	M	(自)真空式の場合
			操作機構	-	-	D	-	-	D	(自)
			絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)
接地抵抗			-	-	M	-	-	M	(自)	
接続部	-	-	T	-	E	T				
計器用変成器		汚損、腐食、過熱	-	E	E	-	E	E	(自)	
		音響、ヒューズの異常	-	E	E	-	E	E	(自)	
		接地線の状態	-	-	E	-	E	E	(自)	
		接続部	-	-	T	-	E	T	(自)	
		発錆、配線状態	-	-	E	-	E	E		
		絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)	
接地抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)			

特記事項

*1 管理運転点検は、運転時点検で確認できる場合は省略することができる。

点検・整備チェックシート 電源設備(8/11) <常用系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

電源設備(8)
 (高圧受変電)(3)

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備										
	点検部位	施設機器 コード	点検内容	定 期 点 検			運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要			
				月点検	年点検	目視点検							
変 圧 器	変圧器盤		盤面の状態	-	-	E	-	E	E				
			扉の開閉施錠	-	-	H	-	H	H				
			メータの零点	E	E	A	E	-	A	(自)			
			メータの汚れ	-	-	E	-	-	E				
			表示灯点灯状態	-	E	(E)	E	E	E	(自)			
			配線取付状態	-	-	E	E	E	E	(自)			
			主回路導体の状態	-	E	E	-	E	E				
			配線端子符号の脱落	-	-	E	-	-	E	(自)			
			ケーブル端子の状態	-	-	E	-	E	E				
			警報装置の異常	-	-	E	-	-	E	(自)			
			接続部	-	-	T	-	E	T				
			絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)			
			接地抵抗	-	-	M	-	-	M				
	保護継電器の動作	-	-	D (2年毎)	-	-	D	(自)					
	計器校正	-	-	A (2年毎)	-	-	A	(自)					
	変圧器			外部点検 (汚損、油漏れ、振動、音響、過熱)	-	E	E	E	E	E	(自)		
				機器外箱の接地	-	E	E	E	E	E	(自)		
				乾燥剤の劣化	-	E	E	-	-	E	(自) 油入で密封してないもの		
				各部の損傷、腐食、発錆 緩み、汚損	-	E	E	-	E	E	(自)		
				接続部	-	-	T	-	E	T			
内部点検(油の汚れ)				-	-	-	-	-	E	(自)			
内部点検(切換タップ)				-	-	-	-	-	E	(自)			
内部点検(リード線)				-	-	-	-	-	E	(自)			
内部点検(鉄心)				-	-	-	-	-	E	(自)			
内部点検(油量)				-	-	-	-	-	E	(自) 油入りの場合			
絶縁油耐圧				-	-	-	-	-	M	(自) 油入りの場合			
配線用遮断器の状態				-	E	E	-	-	E				
配線用遮断器の開閉作動				-	-	D	-	D	D				
絶縁抵抗				-	-	M	-	-	M	(自)			
接地抵抗				-	-	M	-	-	M	(自)			
気中開閉器						受と刃物の接触	-	E	E	-	E	E	(自)
						碍子の汚損、ひび割れ、発錆	-	E	E	-	E	E	(自)
	接地線の緩み、断線	-	-			E	-	E	E	(自)			
	操作機構	-	-			D	-	-	D	(自) 止め装置機能含む			
	接続部	-	-			T	-	E	T				
	絶縁抵抗	-	-			M	-	-	M	(自)			
	接地抵抗	-	-			M	-	-	M	(自)			
低圧配電盤(共通)			盤面の状態	-	-	E	-	E	E				
			扉の開閉施錠	-	-	H	-	H	H				
			メータの零点	E	E	A	E	-	A	(自)			
			メータの汚れ	-	-	E	-	-	E				
			表示灯点灯状態	-	E	(E)	E	E	E	(自)			
			計器・切換開閉器	-	E	E	-	-	E	(自)			
			操作機構	-	D	D	-	D	D	(自)			
			配線取付状態	-	-	E	E	E	E	(自)			
			主回路導体の状態	-	E	E	-	E	E				
			配線端子符号の脱落	-	-	E	-	-	E	(自)			
			ケーブル端子の状態	-	-	E	-	E	E				
			警報装置の異常	-	-	E	-	-	E	(自)			
			接続部	-	-	T	-	E	T				
			絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)			
			接地抵抗	-	-	M	-	-	M				
			保護継電器の動作	-	-	D (2年毎)	-	-	D	(自)			
計器校正	-	-	A (2年毎)	-	-	A	(自)						

特記事項
 *1 管理運転点検は、運転時点検で確認できる場合は省略することができる。

点検・整備チェックシート 電源設備(9/11) <常用系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

電源設備(9)
 (高圧受変電) (4)

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備									
	点検部位	施設機器 コード	点検内容	定 期 点 検			運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要		
				月点検	年点検	目視点検						
直 流 電 源 設 備	盤面		発錆、汚損	—	—	E	—	E	E			
			扉の開閉、施錠	—	—	H	—	H	H			
	盤内		汚損、異物	E	E	E	—	E	E			
			温度、湿度	—	—	(M)	—	M	M			
			絶縁抵抗	—	—	M	—	—	M	(自)		
			接地抵抗	—	—	M	—	—	M	(自)		
	盤内器具		取付状態	—	—	E	E	E	E			
			配線状態	—	—	E	E	E	E			
			端子・端子台の状態	—	—	E	—	E	E			
	操作スイッチ		端子符号の脱落	—	—	E	—	—	E			
			動作確認	—	H	(H)	H	—	H	(自)		
	指示計		取付状態、汚損	—	—	E	—	—	E			
			動作確認(零点及び指示)	—	E	A (2年毎)	E	—	A	(自)		
	表示器・表示灯		取付状態、汚損	—	—	E	—	—	A	(自)		
			点灯状態	—	E	(E)	E	E	E	(自)		
	保護装置		取付状態、汚損	—	—	E	—	—	E			
			保護リレーの動作	—	—	D (2年毎)	—	—	D	(自)		
			警報装置の異常	—	E	E	—	E	E	(自)		
	蓄電池		センサの動作チェック	—	—	D	—	—	D			
			端子の汚損、緩み、蓄電池液面、沈殿物、極板の汚損、脱落	—	E	E	—	E	E	(自)		
			セパレータの破損	—	E	E	—	E	E	(自)		
			均等充電	—	A	A	—	—	A	均等充電実施		
			支持台の腐食、損傷、耐酸塗装のはくり	—	—	E	—	E	E	(自)		
蓄電池比重、液面、端子電圧			—	M	M	—	—	M	(自)代表電池			
充電装置ヒューズ			—	E	E	—	—	E	(自)			
部屋床面の腐食、損傷			—	—	E	—	—	E	(自)			
充電装置の動作			—	—	D	—	—	D	(自)			
電解コンデンサ			—	—	E	E	E	X				
無 停 電 源 設 備		変圧器、リアクトル外観	—	—	E	E	E	E				
		冷却ファン振動	—	—	E	E	E	E				
		盤面の状態	—	—	E	—	E	E				
		扉の開閉施錠	—	—	H	—	H	H				
		メータの零点	E	E	A	E	—	A	(自)			
		メータの汚れ	—	—	E	—	—	E				
		表示灯点灯状態	—	E	(E)	E	E	E	(自)			
		配線取付状態	—	—	E	E	E	E	(自)			
		主回路導体の状態	—	E	E	—	E	E				
		配線端子符号の脱落	—	—	E	—	—	E	(自)			
		ケーブル端子の状態	—	—	E	—	E	E				
		接続部	—	—	T	—	E	T				
		絶縁抵抗	—	—	M	—	—	M	(自)			
		接地抵抗	—	—	M	—	—	M				
		保護回路、警報回路の動作	—	—	D	—	—	D	(自)			
計器校正	—	—	A (2年毎)	—	—	A	(自)					
蓄電池		端子の汚損、緩み、蓄電池液面、沈殿物、極板の損傷、脱落	—	E	E	—	E	E	(自)			
		均等充電	—	A	A	—	—	A				
		支持台の腐食、損傷、耐酸塗装のはくり	—	—	E	—	E	E	(自)			
		蓄電池比重、液面、端子電圧	—	M	M	—	—	M	(自)			
		電解液にごり	—	E	E	—	E	E				

特記事項

*1 管理運転点検は、運転時点検で確認できる場合は省略することができる。

点検・整備チェックシート 電源設備(10/11) <常用系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

電源設備(10)
 (低圧受変電)(1)

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備									
	点検部位	施設機器 コード	点検内容	定 期 点 検			運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要		
				目視点検	管理 運転点検	年点検						
全般	電源設備全般		動作確認 * 1	-	D	-	D	-	-			
			損傷の有無 * 1	-	E	-	E	-	-			
受電部	引込柱		汚損、ひび割れ	-	-	E	-	E	E			
			傾斜	-	-	E	-	E	E			
			腕金発錆、変形、腐食	-	-	E	-	E	E			
			碍子の汚損、ひび割れ	-	-	E	-	E	E			
			玉碍子の破損	-	-	E	-	E	E			
			支持クリップの脱落	-	-	E	-	E	E			
			支持の緩み	-	-	H	-	H	H			
電線部	電線・支持物		電線の高さ及び他工作物と樹木との離隔距離	-	-	E	-	E	E	(自)		
			標識・保護柵の状況	-	-	E	-	E	E	(自)		
			支線グリップの脱落	-	-	E	-	E	E	(自)		
			電柱・腕木・碍子・支線保護柵等の損傷、腐食	-	-	E	-	E	E	(自)		
			電線の碍子捕縛状況	-	-	E	-	E	E	(自)		
			絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)		
			ケーブル	露出部の腐食、亀裂、損傷	-	-	E	-	E	E	(自)	
	絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)				
配電設備	低圧配電盤(共通)		盤面の状態	-	-	E	-	E	E			
			扉の開閉施錠	-	-	H	-	H	H			
			メータの零点	E	E	A	E	-	A	(自)		
			メータの汚れ	-	-	E	-	-	E			
			表示灯点灯状態	-	E	(E)	E	E	E	(自)		
			計器・切換開閉器	-	E	E	-	-	E	(自)		
			操作機構	-	D	D	-	D	D	(自)		
			配線取付状態	-	-	E	E	E	E	(自)		
			主回路導体の状態	-	E	E	-	E	E			
			配線端子符号の脱落	-	-	E	-	-	E	(自)		
			ケーブル端子の状態	-	-	E	-	E	E			
			警報装置の異常	-	-	E	-	-	E	(自)		
			接続部	-	-	T	-	E	T			
			絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)		
			接地抵抗	-	-	M	-	-	M			
保護継電器の動作	-	-	D (2年毎)	-	-	D	(自)					
計器校正	-	-	A (2年毎)	-	-	A	(自)					

特記事項

- * 1 致命的機器に該当する場合は実施すること。全般で点検する事項は網掛け部に示す事項である。
 管理運転では、動作時に正常に状態表示されることなどを確認する。また、管理運転前後には汚損や劣化状態などの確認を実施する。
- * 2 管理運転点検は、運転時点検で確認できる場合は省略することができる。

点検・整備チェックシート 電源設備(11/11) <常用系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

電源設備(11)
 (低圧受変電)(2)

点検方法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認		S	聴覚			

判定基準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点検整備		設備区分 I : 待機系設備									
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定期点検			運転時点検	臨時点検	定期整備	摘要		
				月点検	年点検	目視点検						
直 流 電 源 設 備	盤面		発錆、汚損	-	-	E	-	E	E			
			扉の開閉、施錠	-	-	H	-	H	H			
	盤内		汚損、異物	E	E	E	-	E	E			
			温度、湿度	-	-	(M)	-	M	M			
			絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)		
			接地抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)		
	盤内器具		取付状態	-	-	E	E	E	E			
			配線状態	-	-	E	E	E	E			
			端子・端子台の状態	-	-	E	-	E	E			
	操作スイッチ		端子符号の脱落	-	-	E	-	-	E			
			動作確認	-	H	(H)	H	-	H	(自)		
	指示計		取付状態、汚損	-	-	E	-	-	E			
			動作確認(零点及び指示)	-	E	A (2年毎)	E	-	A	(自)		
	表示器・表示灯		取付状態、汚損	-	-	E	-	-	A	(自)		
			点灯状態	-	E	(E)	E	E	E	(自)		
	保護装置		取付状態、汚損	-	-	E	-	-	E			
			保護リレーの動作	-	-	D (2年毎)	-	-	D	(自)		
			警報装置の異常	-	E	E	-	E	E	(自)		
	蓄電池		センサの動作チェック	-	-	D	-	-	D			
			端子の汚損、緩み、蓄電池液面、沈殿物、極板の汚損、脱落	-	E	E	-	E	E	(自)		
			セパレータの破損	-	E	E	-	E	E	(自)		
			均等充電	-	A	A	-	-	A	均等充電実施		
			支持台の腐食、損傷、耐酸塗装のはくり	-	-	E	-	E	E	(自)		
蓄電池比重、液面、端子電圧			-	M	M	-	-	M	(自)代表電池			
充電装置ヒューズ			-	E	E	-	-	E	(自)			
部屋床面の腐食、損傷			-	-	E	-	-	E	(自)			
充電装置の動作			-	-	D	-	-	D	(自)			
電解コンデンサ			-	-	E	E	E	X				
無 停 電 源 設 備		変圧器、リアクトル外観	-	-	E	E	E	E				
		冷却ファン振動	-	-	E	E	E	E				
		盤面の状態	-	-	E	-	E	E				
		扉の開閉施錠	-	-	H	-	H	H				
		メータの零点	E	E	A	E	-	A	(自)			
		メータの汚れ	-	-	E	-	-	E				
		表示灯点灯状態	-	E	(E)	E	E	E	(自)			
		配線取付状態	-	-	E	E	E	E	(自)			
		主回路導体の状態	-	E	E	-	E	E				
		配線端子符号の脱落	-	-	E	-	-	E	(自)			
		ケーブル端子の状態	-	-	E	-	E	E				
		接続部	-	-	T	-	E	T				
		絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)			
		保護回路、警報回路の動作	-	-	D	-	-	D	(自)			
		計器校正	-	-	A (2年毎)	-	-	A	(自)			
蓄電池		端子の汚損、緩み、蓄電池液面、沈殿物、極板の損傷、脱落	-	E	E	-	E	E	(自)			
		セパレータの破損	-	E	E	-	E	E	(自)			
		均等充電	-	A	A	-	-	A				
		支持台の腐食、損傷	-	-	E	-	E	E	(自)			
		耐酸塗装のはくり	-	-	E	-	E	E	(自)			
		蓄電池比重、液面、端子電圧	-	M	M	-	-	M	(自)			
電解液にごり	-	E	E	-	E	E						

特記事項

*1 管理運転点検は、運転時点検で確認できる場合は省略することができる。

点検・整備チェックシート 除塵設備 (1/4) < 常用系設備 >

機 場 名 : _____
 点検実施
 年 月 日 : _____

除塵設備(1)

点検方法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判定基準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、早急に対応すべき状態

装置区分	点検整備		設備区分 I : 待機系設備									
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定期点検			運転時点検	臨時点検	定期整備	摘要		
				目視点検	管理運転点検	年点検						
スクリーン	全般		運転に支障のある異常が発生していないかを確認 *1	-	E	-	E	-	-	-	-	腐食、変形などを確認
	スクリーン		塗装	E	E	E	-	-	X			
			腐食	E	E	E	-	-	E			
			変形	E	E	E	E	E	E			
除塵機	全般		運転に支障のある異常が発生していないかを確認 *2	-	E	-	E	-	-	-	-	温度、振動、異音などを確認
	減速機		潤滑油量	E	E	E	-	-	X			
			油漏れ	E	E	E	-	-	E			
			軸受温度	-	H	(H)	H	-	M			
			振動	-	H	(H)	H	-	M			
	電動機		フレーム温度	-	H	(H)	H	-	M			
			軸受温度	-	H	(H)	H	-	M			
			振動	-	H	(M)	H	-	M			
			絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M		(自)	
			接地抵抗	-	-	M	-	-	M		(自)	
			電流値	-	E	(E)	E	-	E			
			運転音	-	S	(S)	S	-	S			
	伝導チェーン・スプロット		給油	-	E	E	-	-	A			
			摩耗	-	-	E	-	-	M			
		伸び	-	-	A	-	-	A				
		屈曲	-	-	E	-	-	E				
		損傷	-	-	E	-	-	E				
粉体継手		起動時スリップ	-	E	(E)	-	-	E				
		温度	-	H	(H)	H	-	M				
		振動	-	H	(H)	H	-	M				
流体継手		作動油	-	E	E	-	-	X				
		油漏れ	-	E	(E)	-	-	E				
		温度	-	H	(H)	H	-	M				
		振動	-	H	(H)	H	-	M				
巻上ワイヤ		変形	-	E	E	-	-	E				
		摩耗	-	-	E	-	-	M				
		損傷	-	-	E	-	-	E				
チェーン・スプロケット		伸び	-	-	A	-	-	A				
		摩耗	-	-	E	-	-	M				
		損傷	-	-	E	-	-	E				
スクリューテークアップ		作動	-	-	E	-	-	E				
		腐食	-	-	E	-	-	E				
レーキ及びローラ		変形	-	E	E	-	E	E				
		摩耗	-	-	E	-	-	M				
レーキ開閉機構		開閉状況	-	-	E	(E)	-	E				

特記事項

- *1 致命的機器に該当する場合は実施すること。全般で点検する事項は網掛け部に示す事項である。管理運転前後に腐食や変形などの確認を実施する。
- *2 致命的機器に該当する場合は実施すること。全般で点検する事項は網掛け部に示す事項である。管理運転では、動作時に異音や振動、温度などを確認する。また、管理運転前後には油量やレーキ類の変形などの確認を実施する。
- *3 管理運転点検は、運転時点検で確認できる場合は省略することができる。

点検・整備チェックシート 除塵設備 (2/4) < 常用系設備 >

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

除塵設備(2)

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置 区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備							
			定 期 点 検			運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要	
	点検部位	施設機器 コード	点検内容	月 点 検						年 点 検
				目視点検	管理 運転点検					
除	パワーシリンダ		作動	—	E	(E)	—	—	E	
			油漏れ	—	—	(E)	—	—	E	
	油圧ユニット		作動油	—	E	E	—	—	X	
			油圧	—	—	(E)	E	—	E	
			油圧ポンプ	—	—	(E)	E	—	E	
油圧計	—	—	(E)	—	—	X				
シャーペン		錆	—	—	E	—	—	X		
塵	リミットスイッチ		作動	—	E	(D)	—	—	X	
	集中給油装置		グリース	—	E	E	—	—	X	
機			作動	—	E	(E)	—	—	E	
			漏れ	—	E	(E)	—	—	E	
	ワイパー		作動	—	E	(E)	—	—	X	
	フレーム及び盲板		腐食、変形、欠損状態	—	E	E	E	—	E	
	その他構造材		腐食、変形、欠損状態	—	E	E	E	—	E	
その他		塗装	—	—	E	—	—	X		

特記事項

* 1 管理運転点検は、運転時点検で確認できる場合は省略することができる。

点検・整備チェックシート 除塵設備 (3/4) <常用系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

除塵設備(3)

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置 区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備									
	点検部位	施設機器 コード	点検内容	定期点検			運転時 点 検	臨時点検	定期整備	摘 要		
				月点検		年点検						
				目視点検	管理 運転点検							
搬 送 設 備	全般		運転に支障のある異常が発生していないかを確認 *1	—	E	—	E	—	—	—	温度、振動、異音などを確認	
	減速機		潤滑油量	E	E	E	—	—	X			
			油漏れ	E	E	(E)	—	—	E			
			軸受温度	—	H	(H)	H	—	M			
			振動	—	H	(H)	H	—	M			
	電動機		フレーム温度	—	H	(H)	H	—	M			
			軸受温度	—	H	(H)	H	—	M			
			振動	—	H	(H)	H	—	M			
			絶縁抵抗	—	—	M	—	—	M	(自)		
			接地抵抗	—	—	M	—	—	M	(自)		
			電流値	—	E	(E)	E	—	E			
			運転音	—	S	(S)	S	—	S			
	伝導チェーン・スプロット		給油	—	E	E	—	—	A			
			摩耗	—	—	E	—	—	M			
			伸び	—	—	A	—	—	A			
			屈曲	—	—	E	—	—	E			
			損傷	—	—	E	—	—	E			
	フレーム		変形	—	—	E	—	E	E			
		ベルト		伸び	—	—	A	—	—	A		
				摩耗	—	—	E	—	—	E		
				損傷	—	—	E	—	—	E		
			回転状況	—	E	(E)	E	—	E			
	各ブリー・軸受		汚れ付着	E	E	E	E	—	E			
			摩耗	—	—	E	—	—	E			
			軸受温度	—	H	(H)	H	—	H			
			腐食	—	—	E	—	—	E			
			変形	—	—	E	—	—	E			
			給油	—	—	E	—	—	E			
			回転状況	—	E	(E)	E	—	E			
	各ローラ・軸受		汚れ付着	—	E	E	E	—	E			
		腐食	—	—	E	—	—	E				
		摩耗	—	—	E	—	—	E				
		劣化	—	—	E	—	—	E				
		回転状況	—	E	(E)	E	—	E				
スカートゴム		変形	—	—	E	—	—	E				
		作動	—	E	(E)	—	—	E				
スクリーテークアップ		劣化	—	—	E	—	—	E				
		作動	—	—	E	—	—	E				
カバー		腐食	—	—	E	—	—	E				
		変形	—	—	E	—	—	E				
その他		腐食	—	—	E	—	—	E				
		塗装	—	—	E	—	—	X				
		総合作動確認	—	D	(D)	D	—	D				

特記事項

- *1 致命的機器に該当する場合は実施すること。全般で点検する事項は網掛け部に示す事項である。
 管理運転では、動作時に異音や振動、温度などを確認する。また、管理運転前後には油量などの確認を実施する。
- *2 管理運転点検は、運転時点検で確認できる場合は省略することができる。

点検・整備チェックシート 除塵設備 (4/4) < 常用系設備 >

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

除塵設備(4)

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置 区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備							摘 要	
	点検部位	施設機器 コード	点検内容	定 期 点 検			運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備		
				目視点検	管理 運転点検	年点検					
貯 留 設 備	全般		運転に支障のある異常が発生していないかを確認 *1	—	E	—	E	—	—	—	温度、振動、異音などを確認
	ホッパ		変形	—	—	E	—	E	E		
			腐食	—	—	E	—	—	E		
	カットゲート		給油	—	—	A	—	—	A		
			作動	—	E	(E)	—	—	E		
			変形	—	E	E	—	—	E		
	パワーシリンダ		作動	—	E	(E)	—	—	E		
			油漏れ	—	—	(E)	—	—	E		
	油圧ユニット		作動油	—	E	E	—	—	X		
			油圧	—	E	(E)	E	—	E		
			油圧ポンプ	—	E	(E)	E	—	E		
			油圧計	—	—	(E)	—	—	X		
	電動機		フレーム温度	—	H	(H)	—	—	M		
			軸受温度	—	H	(H)	—	—	M		
			振動	—	H	(H)	—	—	M		
		絶縁抵抗	—	—	M	—	—	M	(自)		
		接地抵抗	—	—	M	—	—	M	(自)		
		電流値	—	—	E	—	—	E			
		運転音	—	S	(S)	S	—	S			
その他		塗装	—	—	E	—	—	X			
操 作 制 御 設 備	全般		動作確認 *2	—	D	—	D	—	—		
			損傷の有無 *2	—	E	—	E	—	—		
	機側操作盤		単独の作動確認	—	D	(D)	—	—	D		
			動作表示の確認	—	E	(E)	—	E	E		
			故障表示の確認	—	E	E	—	E	E		
			絶縁抵抗	—	—	M	—	—	M	(自)	
			接地抵抗	—	—	M	—	—	M	(自)	
			タイマの動作確認	—	E	M	—	—	M		
		タイマの設定値	—	—	E	—	—	E			

- *1 致命的機器に該当する場合は実施すること。全般で点検する事項は網掛け部に示す事項である。
 管理運転では、操作することで正常に動作することを確認する。また、管理運転前後には油量などの確認を実施する。
- *2 致命的機器に該当する場合は実施すること。全般で点検する事項は網掛け部に示す事項である。
 管理運転では、操作することで正常に動作することを確認する。また、管理運転前後には表示などの確認を実施する。
- *3 管理運転点検は、運転時点検で確認できる場合は省略することができる。

点検・整備チェックシート 付属設備 <常用系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

付属設備

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備									
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定 期 点 検			運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要		
				目視点検	管理 運転点検	年点検						
角 落 し 設 備	角落し設備		保管状況	-	-	E	-	-	E			
天 井 ク レ ー ン	全般		運転状況	-	-	E	-	-	E	(労)		
			荷重試験	-	-	D	-	-	D	(労)*		
	安全装置		過巻防止装置	-	-	D	-	-	D	(労)		
			横行・走行 リミットスイッチ	-	-	D	-	-	D	(労)		
			過負荷警報装置	-	-	D	-	-	D	(労)		
			ブレーキ装置	-	-	E	-	-	E	(労)		
			クラッチ装置	-	-	E	-	-	E	(労)		
	機構部		ワイヤロープの損傷	-	-	E	-	-	E	(労)		
			フックの損傷	-	-	E	-	-	E	(労)		
			ランウェイガータ 及びサドルの状態	-	-	E	-	-	E	(労)		
			横行レールの状態	-	-	E	-	-	E	(労)		
			ロープリンクの装置	-	-	E	-	-	E	(労)		
	電気関係		配線	-	-	E	-	-	E	(労)		
			集電装置	-	-	E	-	-	E	(労)		
			配電盤	-	E	D (2年毎)	-	-	D	(労)、(自)		
開閉器			-	-	E	-	-	E	(労)			
コントローラ			-	-	E	-	-	E	(労)			
絶縁抵抗			-	-	M	-	-	M	(労)盤にて測定			
換 気 設 備	換気扇 換気ファン		運転状況	-	-	E	-	-	E			
			振動	-	-	H	-	-	M			
			温度	-	-	H	-	-	M			
			絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)		
			接地抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)		
照 明 設 備	全般		開閉器・点滅器・照明器具 コンセント等の損傷、過熱	-	-	E	-	-	E	(自)		
			器具固定部緩み	-	-	T	-	-	T	(自)		
			電線被覆の損傷	-	-	E	-	-	E	(自)		
			配線箇所の湿気、塵埃	-	-	E	-	-	E	(自)		
			絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)盤にて測定		

特記事項

* 1 管理運転点検は、運転時点検で確認できる場合は省略することができる。

点検・整備チェックシート ゲート設備(1/2) <常用系設備>

機 場 名: _____
 点検実施
 年 月 日: _____

吐出しゲート設備(1)

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備								
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定期点検		年点検	運転時点検	臨時点検	定期整備	摘 要	
				月点検	目視点検						
全般	ゲート設備全般		運転に支障のある異常が発生していないかを確認 *1	—	E	—	E	—	—	—	振動、異音、温度などを確認
吐 出 し ゲ ー ト 設 備	扉体		構造全体の振動	—	E	(E)	E	—	E		
			構造全体の異常音	—	S	(S)	S	—	S		
			溶接部の割れ	—	—	E	—	—	E		
			ボルト・ナットの緩み、脱落	—	—	E	—	—	T		
			桁の腐食、板厚の測定	—	—	M	—	—	M		
			スキンプレートの腐食、板厚の測定	—	—	M	—	—	M		
	支 承 部		主ローラの給油状態	—	E	E	—	—	A		
			主ローラの作動	—	E	(E)	E	—	E		
			主ローラの異常音	—	S	(S)	S	—	S		
			主ローラの損傷、摩耗	—	—	E	—	—	E		
			補助ローラの給油状態	—	E	E	—	—	A		
			補助ローラの損傷	—	—	E	—	—	E		
	水 密 部		ゴム又はメタルの漏水	—	E	E	—	E	E		
			ゴム又はメタルの変形、損傷	—	—	E	—	—	X		
			ゴム取付ボルト・ナットの緩み、損傷	—	—	E	—	—	T		
			ゴム取付ボルト・ナットの脱落	—	—	E	—	—	E		
	戸 当 た り		障害物	—	E	E	—	E	E		
			戸当たりの損傷、変形	—	—	E	—	E	E		
			主ローラレールの損傷、磨耗	—	—	E	—	—	E		
			補助ローラレールの損傷、磨	—	—	E	—	—	E		
巻 上 式 (ス ピ ン ド ル 式)		スピンドルの変形	—	—	E	—	E	E			
		スピンドルの摩耗	—	—	E	—	—	M			
		減速機潤滑油量	—	E	E	—	—	X			
		減速機振動	—	H	(H)	H	—	H			
		減速機音	—	S	(S)	S	—	S			
		塗装	—	—	E	—	—	X			
		電動機の絶縁抵抗	—	—	M	—	—	M	(自)		
		電動機の接地抵抗	—	—	M	—	—	M	(自)		
		電動機の温度	—	H	(H)	H	—	M			
		電動機の温度	—	H	(H)	H	—	M			
巻 上 式 (ラ ック 式)		ラックの変形	—	—	E	—	E	E			
		ラックの摩耗	—	—	E	—	—	M			
		減速機潤滑油量	—	E	E	—	—	X			
		減速機振動	—	H	(H)	H	—	H			
		減速機音	—	S	(S)	S	—	S			
		塗装	—	—	E	—	—	X			
		電動機の絶縁抵抗	—	—	M	—	—	M	(自)		
		電動機の接地抵抗	—	—	M	—	—	M	(自)		
		電動機の温度	—	H	(H)	H	—	M			
		電動機の温度	—	H	(H)	H	—	M			

特記事項

- *1 致命的機器に該当する場合は実施すること。全般で点検する事項は網掛け部に示す事項である。管理運転では、動作時に振動や異音、温度などを確認する。また、管理運転前後には油量などの確認を実施する。
- *2 管理運転点検は、運転時点検で確認できる場合は省略することができる。

点検・整備チェックシート ゲート設備(2/2) <常用系設備>

機 場 名：
 点検実施
 年 月 日：

吐出しゲート設備(2)

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備									
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定期点検		年点検	運転時点検	臨時点検	定期整備	摘 要		
				月点検	目視点検							
吐 出 し ゲ ー ト 設 備	開閉装置 (ワイヤロープウインチ式)		ワイヤロープの摩耗	—	—	M	—	—	X			
		ワイヤロープの変形	—	E	E	—	—	E				
		ロープ端末	—	E	E	—	—	E				
		シーブの摩耗	—	—	E	—	—	M				
		シーブ軸の変形	—	—	E	—	—	E				
		シーブ軸受の摩耗	—	—	E	—	—	M				
		ワイヤドラム	—	E	(E)	E	—	E				
		ギヤの摩耗	—	—	—	—	—	M				
		ブレーキシューの摩耗	—	—	—	—	—	M				
		ブレーキドラムの摩耗	—	—	—	—	—	M				
		ブレーキ作動	—	E	(E)	E	—	E				
		各軸受の温度	—	H	(H)	H	—	M				
		各軸受の摩耗	—	—	E	—	—	E				
		フレキシブル軸継手の摩耗	—	—	E	—	—	M				
		減速機潤滑油量	—	E	E	—	—	X				
		減速機振動	—	H	(H)	H	—	H				
		減速機軸受温度	—	H	(H)	H	—	M				
		リミットスイッチ	—	E	(D)	E	—	X				
		電動機の絶縁抵抗	—	—	M	—	—	M	(自)			
		電動機の接地抵抗	—	—	M (2年毎)	—	—	M	(自)			
		電動機の温度	—	H	(H)	H	—	M				
		吐 出 し ゲ ー ト 設 備	操作・制御設備		設備全般の外観、清掃状態	—	E	E	—	—	C	
				設備全般の表示ランプ・ヒューズ類	—	E	E	E	E	E	E	
				設備全般の計測器の指示計指示値	—	E	E	E	E	E	E	
				設備全般の異常音	—	—	S	S	S	S	S	
				盤内の湿気、乾燥状態、塵埃	—	—	E	—	—	E		
				盤内のコネクタ接続部、電線被覆	—	—	E	—	—	E		
操作機能確認	—			—	D	—	—	D				
制御機能確認	—			—	D	—	—	D				
水位計	—			—	E	—	—	A				
自記記録計	—			—	E	—	—	A				
水位計のセンサと変換器の連動	—			—	E	—	—	D				
水位計コネクタ接続部、端子	—			—	E	—	—	E				
水位計と量水標との水位比較	—			—	E	—	—	A				
開度計のセンサと変換器の連動	—			—	E	—	—	D				
開度計コネクタ接続部・端子	—			—	E	—	—	E				
機器据付状態	—			—	E	—	—	E				
接地状況	—			—	E	E	—	E				
絶縁抵抗	—			—	M	—	—	M	(自)			
接地抵抗	—			—	M	—	—	M	(自)			
各部電圧・電流の測定	—			—	M	—	—	M				
電動機の軸受部・整流子ブラシ・スリップリング	—			—	E	E	—	E				
電動機の伝達機構、起動制御装置	—			—	E	—	—	E				
電熱乾燥装置	—			—	E	—	—	E				
照明器具	—			—	E	—	—	E				
その他					塗装	—	—	X				

特記事項

*1 管理運転点検は、運転時点検で確認できる場合は省略することができる。